

萬寶山事件
起る

七月 二日 滿洲萬寶山に於て支那暴民と朝鮮農民との間に大衝突事件起る○米國飛行家ボスト、ゲツティは八日十五時間五十一分を以て晝期的世界一週飛行に成功し、紐育に歸還す

七月 三日 滿洲萬寶山事件に關し、支那官憲は不法にも朝鮮農民五十名を捕縛して吉林に護送し、我國の輿論囂々として沸騰す○男爵南部光臣逝去年六十七

七月 四日 皇后、復興せる帝都を御巡覽あり○京城に於て萬寶山事件に激昂せる朝鮮人と支那人の衝突事件各所に起り、形勢不穩となる

朝鮮騷擾
全國勞農大衆黨成る

七月 五日 平壤に萬寶山事件の報復騷擾起り、遂に鮮人、大舉して支那街を襲撃し、死者八十二名、負傷者三百餘名に達し、全市大混亂に陥る○勞農、大衆、社會民衆三黨の合同成立して全國勞農大衆黨と稱す○書家丹羽海鶴歿す年六十九

七月 六日 平壤の鮮支人衝突事件、漸く鎮靜に歸す

七月 七日 朝鮮安東、新義州に鮮支人衝突事件起る○支那國民政府は朝鮮人の支那人虐殺事件の正式抗議を提出し、損害賠償を要求す

七月 八日 英國特命全權大使リンドレイ參内して信任狀を捧呈す○米國飛行家ロビンス・ジョーンズはシャトルを出發し、太平洋無著陸横斷の途に上る

七月 十日 蠶絲業組合法施行規則を公布す○米國太平洋横斷機、ノーム北方ソロモンに不時著陸し、失敗に終る

七月 十一日 天皇、皇后、葉山に行幸啓あり○獨逸の英佛兩國より融通交渉不可能となるや外國側の債權回收殺到し、遂に各國へ財政的援助を要求す

七月 十二日 上海市各團體は朝鮮事件の報復として對日經濟斷交を決議す○米國各銀行は獨逸救済を聲明す

七月 十三日 バーゼルに於て國際決済銀行會議を開き、獨逸援助を決議す

七月 十四日 農學博士町田咲吉歿す年六十二

七月 十五日 帝國政府は支那國民政府の抗議に對して回答を發す○僧田村智範寂す年六十六

七月 十六日 佛國政府も獨逸救済を決意す○支那、閩錫山は山西軍將領に擧兵の通電を發し石友三軍之に應ず

七月 十七日 行政制度整理案成る○支那鄭州に於て奉天軍、石友三軍と開戦す

七月 十八日 支那各地に排日貨運動起る○俳人峯青嵐歿す年七十四 俳句資料解釋、應用心理學

七月 十九日 民政黨東北大會を秋田市に開く○新史學者木村鷹太郎歿す年六十三 日本太古史、東洋倫理學史、綜

七月 廿三日 支那石友三軍、定州を占領し奉天軍敗走す

七月 廿四日 支那廣東政府外交部長陳友仁、來朝す

七月 廿六日 小説家北村兼子歿す年二十八 女浪人行進曲、婦人記者職業記、字頃の蛇、表皮は動く、子は實なりや、ひげ、情熱的論理

七月 廿七日 米國飛行家リンドバーク大佐夫妻、紐育を出發し訪日飛行の途に就く

七月 廿九日 支那石友三軍、保定を占領す

七月 三十日 織田萬を京城帝國大學總長と爲す○支那廣東政府外交部長陳友仁、秘かに外相

抵當證券法
實施

八月 一日 幣原喜重郎と會見し、日支提携を求む
抵當證券法を實施す○陸軍大將菱刈隆を軍事參議官に、中將渡邊錠太郎、緒方勝一を大將に、眞崎甚三郎を臺灣軍司令官に、本庄繁を關東軍司令官に、林仙之を第一師團長に、西義一を第八師團長に、廣瀨壽助を第十師團長に、坂本政右衛門を第六師團長に、佐藤子之助を第七師團長に、少將外山豊三、深見新之助、中島虎吉、香椎浩平、梅崎延太郎、渡邊良三、畑俊六、鈴木吉一、小倉可夫、蒲穆、奏眞次、原田敬一、郷田兼安、安田郷輔、小磯國昭、牛島貞雄を中將と爲す

人見絹枝歿

八月 二日 運動家人見絹枝歿す年二十五 女子陸上競技法、ゴールに入る、スパイクの跡、戦ふまで、女子スポーツを語る、女子と運動競技
八月 四日 畫家都路華香歿す年六十二
八月 五日 政友會北信大會を金澤市に開く
八月 六日 重光葵を特命全權公使と爲し、中華民國に駐劄せしむ○訪日英國女流飛行家ジョンソン、及び米國飛行家バングボーン、ハーンドン、立川に飛來す○政治家則元由庸歿す年七十
八月 七日 次田大三郎を内務次官に、潮田惠之輔、織田萬を貴族院議員と爲す○日米對抗水上競技大會を神宮プールに開く
八月 八日 東京白鬚橋の開通式を行ふ
八月 九日 統制委員會官制を公布す

小橋一太無罪

八月 十日 救護法施行令を公布す○東京控訴院にて越鐵山手急行兩私鐵事件の小橋一太を無罪に、佐竹三吾等四名に有罪の判決あり○貴族院議員湯地幸平逝去年六十二
八月 十四日 訪日ニュージールランド飛行家チチェスター、紀州勝浦に到着す○太刀洗にて飛行機空中衝突し、木下文吉大尉、島崎統一軍曹、慘死す○米國飛行家リンドバーク夫妻、ノームを出發し北太平洋横斷の壯途に上る
政友會東海大會を岐阜市に開く

中村大尉虐殺事件發表

八月 十五日 政友會東海大會を岐阜市に開く
八月 十七日 支那官兵の中村震太郎大尉虐殺事件發表され、重大問題起る
八月 十八日 青島に於て支那人二千餘名は日本國粹會を襲撃し、負傷者五十餘名を出す○男爵九鬼隆一逝去年八十○陸軍中將關谷連三逝去年五十四
八月 十九日 淺間山大噴火す
八月 廿一日 天皇、皇后、支那武漢の水害に對し、在留邦人に金一萬圓を賜ひ、民國罹災民に内帑金十萬圓を御贈與あらせらる
八月 廿二日 霞ヶ浦にて飛行機墜落し、澁谷誠馬中尉外二名慘死す○陸軍中將大橋顧四郎逝去年五十六

北太平洋横斷成る
濱口雄幸薨す

八月 廿三日 貴族院議員湯川寛一逝去年六十四○理學博士矢部吉禎歿す年五十六 南滿洲植物目錄、植物學教科書
八月 廿四日 米國飛行家リンドバーク、北太平洋横斷飛行に成功して根室に到着す○露佛不侵略條約成る
八月 廿六日 前首相濱口雄幸薨す年六十二○歌人坂正臣歿す年七十七 昭憲皇太后集、三抽集、稅所篤子、外六人集、文の山口、詞の五くさ

八月廿八日 子爵櫻井忠胤逝去去年五十一
女子教科國語讀本、女子習字帖、女用文章、小倉百人一首
色紙帖、かなかきぶり、かな帖、女子消息帖、女子書壁

八月廿九日 日比谷公園に於て故濱口雄幸の黨葬を行ふ、會葬者十五萬人に達す○訪日獨逸
女流飛行家エツツドルフ、羽田に到着す

八月三十日 東京市主催のリンクパーク大佐夫妻市民歡迎會を日比谷公園に行ふ
九月一日 違警罪即決例を改正公布す○政府は地方金融緩和の爲め、五千萬圓の低資融通
を聲明す

一戸兵衛逝

九月二日 陸軍大將一戸兵衛逝去去年七十八

九月三日 政友會關東大會を宇都宮市に開く○支那國民政府外交部長王正廷は中村震太郎
大尉虐殺事件は事實無根なりと聲明す

九月四日 軍縮會議帝國全權首席松平恒雄、佐藤尙武、松井石根、永野修身に決定す○支
那側は中村大尉事件の回答を遷延し、再調査を主張す

九月五日 横濱港に於て特務艦能登呂の揮發油庫爆發し、即死九名、重輕傷者廿四名を出
す○支那國民政府外交部長王正廷、再び中村大尉事件は無根にして不良日本人
の宣傳なりと聲明す

三浦周行歿

九月六日 貴族院議員上田兵吉逝去去年六十三○文學博士三浦周行歿す年六十一 古代賤民考、徳
時代概観、縁坐法論、法制史の研究、日本史の研究、續法制史の研究、現代の史観、日本國民史、町人の都、日本史講
義、國史上の社會問題、鎌倉時代史、國體觀念の歴史的發達、日本商人史、足利時代の徳政、新制の研究、法制雜考、
土一探

天皇、皇后、那須より還幸啓あり○支那南京政府首席蔣介石は、日本は廣東政
府に武器を提供し、内亂を助長せしむるものなり、と演説して、我國の激昂を
買ふ○白虎隊の勇士水島純歿す年八十八

九月八日 米國飛行家アレン・モイル、淋代を出發し太平洋無著陸横斷飛行の途に上り、
消息不明となる

九月九日 農林審議會官制を公布す

九月十日 鐵道大臣江木翼、辭表を提出す○内閣總理大臣若槻禮次郎に拓務大臣を兼しめ
拓務大臣原脩次郎を鐵道大臣と爲す○帝國政府は中村大尉虐殺事件に對し、奉
天側に正式通牒を手交す、(一)奉天當局の正式陳謝、(二)責任者の嚴罰、(三)
生命財産の損害賠償、(四)將來の保證の四項目なり

對支通牒手
交

九月十一日 閣議にて日本、エチオピア國との修好通商條約を決定す○久保田敬一を鐵道次
官と爲す○陸軍中將沖原光孚逝去去年八十四○法學博士吾孫子勝歿す年五十六

九月十二日 米國人ボラーは日、英、米、佛、伊五國に對し海軍建造五ヶ年休日案を提唱す
債權法要論、口語六法、民
法篇、商法通義、競賣法

○實業家堤清六歿す年五十二

九月十三日 首相若槻禮次郎、御殿場に西園寺公望を訪問し、重要政策の諒解を求む○墺國
に國粹派の反亂起る○工學博士黒川勇熊歿す年八十

九月十四日 海軍大將有馬良橋を明治神宮宮司と爲す○奉天軍參謀長榮臻、遂に中村大尉虐
殺

殺事件の事實なるを言明す

九月十五日 民政黨近畿大會を大阪に開く○支那側より萬寶山の朝鮮人農民全部に撤退を要求す○政治家降旗元太郎歿す年六十八

九月十六日 大阪米穀取引所にて、全國最初の米の銘柄清算取引を開始す○太平洋横斷飛行の途次、行方不明となりしアレン、モイル兩名はベーリング海の無人島に不時著陸し、生存發見さる

九月十七日 交流理論、波動振動及避震、變壓器及誘導電動機 ボルトガルに海軍暴動起る○工學博士鳳秀太郎歿す年六十
九月十八日 支那正規兵、我が滿鐵線柳條溝を爆發し、遂に日支兩兵開戦し、滿洲事變勃發す

奉天占據

九月十九日 我軍は奉天城、北大營、東大營、寬城子、南嶺等各地を占據し、倉本茂大尉以下六十三名戦死す○陸軍省より滿洲事變は支那兵の不法行爲に對し、正當防衛なる旨を聲明す○朝鮮第二十師團、滿洲に出動す○支那南京政府は帝國政府に對し、正式に停戦並に占領地撤退を要求す

吉林占據

九月二十日 我軍、撫順城、昌圖を占據す○能樂家林喜右衛門歿す年四十三
九月廿一日 政府は日支兩軍衝突事件は之を事變と看なす事に方針を決す○關東地方に激震あり、埼玉縣倒壊家屋百六戸、死者九名、群馬縣倒壊家屋十三戸、死者五名を出す○我軍、吉林を占據す○全國府縣會議員の選舉を開始す○英國政府は金輸出禁止を斷行す

松平里子歿す

九月廿二日 關東軍司令部より滿洲事變發生の原因經過を發表す○ジュネーヴ國際聯盟緊急理事會を開き、滿洲事變に關し「事件の擴大防止の爲め、兩國の撤兵を望む」の日支紛争解決勸告案を決議し、兩國へ通告す○デンマークは金輸出を禁止す○音樂家松平里子歿す年三十八

九月廿三日 支那南京政府は我が水害救濟慰問品の受取を拒絶す
九月廿四日 帝國政府は滿洲事變に關し、既得權益擁護の外、滿洲に領土的野心なき旨を中外に聲明す

洮南占據

九月廿五日 我軍、洮南を占據す○米國政府は滿洲事變に對し、圓曲に撤兵を勸告せる對日通牒を發す○南支香港の反日暴動悪化する

九月廿六日 暹羅皇帝ブラジャデイボツク、再び米國より來朝せらる○支那國民政府は我が排日取締要求を拒絶す

滿蒙獨立運動起る

九月廿七日 滿蒙獨立運動起る○ノールウエー、瑞典、共に金輸出禁止を斷行す

九月廿八日 暹羅皇帝ブラジャデイボツク、横濱解纜歸國せらる○帝國政府は對米回答を發す○閣議に於て拓務省廢止に決定す○大阪對支經濟聯盟成る○遼寧省、獨立を宣言す

九月廿九日 帝國政府は滿洲獨立運動に對し不干涉に決す○黑龍江省、コロンバイル、各獨立を宣言す

九月三十日 東京市大疑獄事件の判決あり

國立公園法
實施
小堀鞆音歿す

十月 一日 國立公園法、小兒保險法を各實施す○陸軍中將厚東篤太郎を第十一師團長と爲す○畫家小堀鞆音歿す年六十八

十月 二日 佐上信一を北海道長官に、黒崎眞也を京都府知事と爲す

十月 三日 滿洲に宣統帝擁立運動起る○僧塚原大應寂す年六十九

十月 四日 關東軍司令官本庄繁は、惡逆舊軍憲を斥け、新樂土の建設を望む旨を聲明す○米國飛行家バングボーン、ハインドン、淋代を出發し太平洋無著陸横斷の壯途

十月 五日 中華民特命全權公使蔣作賓、參内して信任狀を捧呈す○支那國民政府より帝國政府に對し、滿洲地方撤兵要求の通牒來る○東京商科大学に學生紛争事件起る

十月 六日

米國飛行家バングボーン、ハインドン、四千六百哩を四十一時間にて突破し、遂に太平洋無著陸横斷飛行に成功して米國ウエナツチに到着す○東京商科大学生、警官隊と衝突し、重輕傷三十名を出す

太平洋無著陸横斷成る

十月 七日 支那南京政府と廣東政府の和平條件妥協成る

十月 八日 我が飛行機、錦州兵營を爆撃す○陸相南次郎、參謀總長金谷範三、教育總監武藤信義は陸相官邸に會議を開き、諸懸案を一舉に解決すべく對滿方針を決す○商科大學紛争事件解決す○工學博士三浦耀歿す年四十一

十月 九日

帝國政府は、支那國民政府に對し、滿洲治安回復まで、我軍は撤兵せざる旨の回答を發す○國際聯盟理事會議長レルーは、日支兩國政府に對し、改めて事態惡化防止に就いて注意喚起の通告を發す○電氣時計發明者阿部彦七歿す年六十八

八月 十日 米國飛行家リンドバーク大佐、支那より再び來朝す

十月 十一日 全國養鶏組合大會を姫路に開く○米國飛行家リンドバーク、横濱より歸國す○陸軍中將小池安之助逝去年六十八○南洋廳長官横田郷助歿す年五十三

十月 十二日

首相若槻禮次郎は、時局重大なるに鑑み政策遂行上、國論統一のため重臣山本權兵衛、清浦奎吾を歴訪す○堀口滿貞を南洋廳長官と爲す

若槻首相重臣歴訪

十月 十三日 首相若槻禮次郎、閣議に於て滿洲事變に關し、米國及び國際聯盟等、第三者の干渉は斷然拒絶する旨を言明す○首相若槻禮次郎は政友會總裁犬養毅、高橋是清を歴訪し、重大時局を説明し、政府の所信を披瀝して諒解を求む○ジュネーヴに於て日支紛争緊急國際聯盟理事會を開く、ブリアン、議長と爲る

十月 十四日

國際聯盟に於て、米國を日支紛争解決の理事會に参加せしむる事に決定す

十月 十五日

天皇、皇后、帝展に行幸啓あり○國際聯盟理事會にて米國傍聽者問題に關する日本側の反對主張は十三對一にて否決さる○我國最初の發明品市場を名古屋市に開く

發明品市場を開く

十月 十六日 帝國政府は、國際聯盟理事會の聯盟規約違反に考慮要求を聲明す○國際聯盟理事會、遂に米國へ招請狀を電送す○二府三十七縣の府縣會議員選舉終る

警視廳行幸

十月十八日 陸軍大將白川義則を滿洲に派遣す○國際聯盟日本代表芳澤謙吉は、我軍の撤退は不可能なる旨を發表す○上海の排日運動暴動化し、我陸戰隊上陸す○世界的發明王トーマス・エヂソン逝く年八十四

十月二十日 天皇、警視廳に行幸あり

十月廿一日 天皇、海軍技術研究所に行幸あり○出動軍人軍屬給與令を公布す○新ロマン派開祖埃國文豪シュニツラー逝く年七十

十月廿二日 國際聯盟理事會議長ブリアンは期限付撤兵後の直接交渉決議案を提出す○山田三良を京城帝國大學總長と爲す○數學者宮本久太郎歿す年六十七幾何學平面之部 新式代數學

國際聯盟理事會を開く

十月廿三日 國際聯盟理事會を開く、日本代表芳澤謙吉は滿洲の現状にては撤兵時期明示し難きを演説す

十月廿四日 國際聯盟理事會にて期限付撤兵勸告案を十三對一にて可決す

十月廿五日 洋畫家伊東函嶺歿す年七十

十月廿六日 帝國政府は日支直接交渉の基本的原則たる撤兵前提條件に關する聲明書を發表す○東京市電氣局火く○前代議士田中善立、愛知中鐵不正事件にて收容さる○貴族院議員富安保太郎逝去年六十八

十月廿七日 首相若槻禮次郎は興津に西園寺公望を訪ひ、時局の重要報告をなす

十月廿九日 ソヴェート政府、正式に對滿不干涉を聲明す○青木亮貫(滋賀)補缺衆議院議員に當選す

仙石貢逝く

十月三十日 天皇、東京高等師範學校に行幸あり○前滿鐵總裁仙石貢逝去年七十五○タンクの發明者ウイールヘルム・ゲーベル逝く

牧野法公布

十月卅一日 牧野法を公布す○入營者職業保障法施行令を公布す

十月 中 北海道、青森縣地方大飢饉に悩む

十一月 一日 入營者職業保障法を實施す○帝展開設廿五週年記念式を東京美術學校に行ふ

十一月 二日 天皇、皇后、東京科學博物館に行幸啓あり○佐郷屋留雄、松木良勝に係る濱口首相狙撃事件の第一回公判を開く○東京三井銀行に社會青年同盟員百餘名、ドル買に憤慨して殺到す

片山國嘉歿す

十一月 三日 我軍、北滿に出動す○我國法醫學の始祖片山國嘉歿す年七十七法醫學大成、最新法醫學講義、法醫學圖譜

十一月 四日 駐日支那公使蔣作賓は帝國政府に對し、十一月十六日迄に撤兵を要求し、其引繼交渉開始を提議す○我軍、嫩江方面に於て馬占山軍と激戦を開始す

十一月 五日 殖民地學位令を公布す○答禮特派大使エチオピア外相ヘルイ、神戸に來朝す

エチオピア外相來朝

十一月 六日 皇太后、帝展に行啓あり○特派大使エチオピア外務大臣プラテン・ゲタ・ヘルイ、入京し、直に參内謁見す○馬占山軍、遂に昂々溪へ總退却す、我軍の死傷者百八十名に達す○遼寧省、獨立を宣言す○皮膚病學の泰斗土肥慶藏歿す年六十六日本皮膚病毒癩譜、皮膚科學、彩色皮膚病癩譜、世界皮膚病毒癩譜、皮膚科より見たる理學的療法、外科現論、癩毒新論

土肥慶藏歿す

十一月 七日 東京科學博物館を開館す○國際聯盟理事會議長ブリアン、更に日支兩國に對し

交戦防止方につき、各軍司令官に訓令を要求する旨の重大通牒をなす○貴族院議員大島富士太郎逝去去年六十七○陸軍中將山内長人逝去去年八十二
 十一月 八日 天皇、熊本に行幸あり○帝國政府は國際聯盟理事會に對し、支那側より戰鬪行為に出でざる限り事態擴大の恐れなき旨の回答を發す○法制局長官武内作平逝去去年六十五

國際聯盟に抗議

昂々溪の戦

十一月 九日 帝國政府は、國際聯盟事務總長ドラモンドに對し、何等事件の真相を正確に検討せずして、直に最高機關を通じ、日本に干涉的處置に出で、支那側の宣傳機關と化したるは斷じて許容し得べからざる非行なりと抗議す○我軍、昂々溪附近の激戦を開始す○齋藤隆夫を法制局長官と爲す○支那天津に反張學良派の暴動起り、大混亂に陥る

十一月 十日 來る十二月廿三日を以て、帝國議會召集の詔書を公布す○政友會議員總會を開き、金輸出再禁止を決議す、藏相井上準之助、直に反駁聲明をなす

澁澤榮一逝

十一月 十一日 天皇、佐世保に御上陸あり○新潟放送局を開設す○對外時局國民大會を東京に開く○大阪中央卸賣市場を開設す○天津の支那軍、日本租界を砲撃す、我軍、應戦して之を退く○宣統廢帝、天津を脱出す○實業家澁澤榮一逝去去年九十二

十一月 十二日 皇后、學習院に行啓あり○帝國政府は支那政府に對し、天津事變の正式抗議を提出す○南洋廳長官堀口滿貞、辭表を提出す

青洲百話、世渡りの修養、世に出る青年へ、徳川慶喜公傳、實験論語處世談、論語と算盤、官版立會略則、航西日記

十一月 十三日 能樂家手塚亮太郎歿す年六十六

十一月 十四日 舉國一致各派聯合會主催の國民大會を東京芝公園に開く○宣統廢帝、奉天に入る

日本エチオピア條約成

十一月 十五日 日本、エチオピア修好通商條約の調印成る○天津事變に關する日支協定の調印成る○日蓮宗管長岡田日歸寂す年六十八

十一月 十六日 第三次國際聯盟理事會を巴里に開く○外相幣原喜重郎は支那公使蔣作賓に對し撤兵、引繼交渉提議を反駁せる回答文を手交す

十一月 十七日 天皇、阿蘇山に御登山あり○海軍中將武富邦鼎逝去去年八十

チチハル占據

十一月 十八日 我軍、昂々溪に於て馬占山軍の挑戦により總攻撃を開始し、遂にチチハルに入城す

十一月 十九日 天皇、鹿兒島に行幸あり

十一月 二十日 皇后、女子學習院に行啓あり○第二師團長多門次郎、チチハルに入城す

安達内相聲明書發表

十一月 廿一日 天皇、還幸あり○内相安達謙藏は協力内閣を主張せる聲明書を發表し、政界に大波紋を描く○田原和男を南洋廳長官と爲す○國際聯盟理事會を開く、日本代表芳澤謙吉、各國調査委員の派遣案を提議す

十一月 廿二日 内相安達謙藏は首相若槻禮次郎と會見し、協力内閣問題に關して懇談す、不得要領に終る

民政黨動搖

十一月 廿三日 民政黨の聯立、非聯立兩派、對抗して政界益々不安となる○實業家寺田甚與歿

す年七十九

十一月廿四日 首相若槻禮次郎を除く與黨閣僚懇談會を開き、内相安達謙藏の協力内閣問題に對し、一まづ現状維持の申合せ成る○錦州方面の形勢急迫し、我陸戰隊、秦皇島に上陸す

十一月廿五日 我軍、新民縣に入城す○正木直彦を帝國美術院長と爲す

十一月廿六日 天皇、皇后、新宿御苑に行幸啓あり、觀菊御會に臨み給ふ○天津の支那軍、再び日本兵營を砲撃し、我軍之に應戰す

十一月廿七日 天皇、海軍大學校に行幸あり○關東軍司令官本庄繁、北寧線前進部隊に引揚命令を發し、錦州攻撃を中止す○我軍、打虎山を占據す○天津の日本駐屯軍、支那側に最後の要求を提出す

打虎山占據

十一月廿八日 天皇、陸軍大學校に行幸あり

十一月廿九日 天津の支那軍、日本陣地に猛撃を開始し、事態重大化する

十一月三十日 天津の支那軍、撤退し平穩に歸す○日、支兩代表は日本軍漸次撤退並に支那調査委員任命に關する理事會決議案の受諾可能を宣言す

他國の干渉拒否を聲明

十二月一日 陸軍省は、他國の日本軍に對する干渉は絶対拒否を聲明す○海軍大將山本英輔大角岑生を軍事參議官に、中將山梨勝之進を吳鎮守府司令長官に、小林躋造を第一艦隊司令長官兼聯合艦隊司令長官に、野村吉三郎を橫須賀鎮守府司令長官に、中村良三を佐世保鎮守府司令長官に、末次信正を第二艦隊司令長官に、左

近司政三を海軍次官と爲す○海軍少將濱野英次郎、白井國、伊地知清弘、松浦松見、松山茂、湯地秀生、重岡信治郎、吉岡保貞、入谷清長を中將と爲す○南京、廣東兩政府の妥協成立す

花井卓藏歿す

十二月三日 畫家尾竹越堂歿す年六十四○法曹界の元老花井卓藏歿す年六十四 新刑法評論、人生と犯罪、刑法俗論、刑法總論、自教權論、平和之觀、附帶犯罪、疑々明明、空前の疑獄、非常國際法、争應記、訟庭論草、滿鐵事件、京都縣事件、シーメンス事件、陪審法案、軍國議會史要、鷄肋集

十二月四日 全國勞農大衆黨第一回大會を東京協調會館に開く

十二月五日 海軍中將秋山藤吉逝去年六十九

馬占山歸順

十二月七日 海倫の馬占山は日本軍使板垣大佐、駒井徳三と會見して、遂に滿洲國に歸順す

○僧大野法音寂す年七十六

十二月八日 硫酸、アンモニア輸出入の許可令を公布す○淺間山爆發す

十二月九日 國際觀光協會を設立す○松平恒雄、佐藤尙武、松井石根、永野修身をジュネーブ軍縮會議の帝國全權委員と爲す○日支紛争問題審議の國際聯盟理事會を巴里に開く

十二月十日 國際聯盟理事會は決定的に日本の主張を認めて閉會す○民政黨顧問富田幸次郎は首相若槻禮次郎を訪問して、協力内閣を進言し、政府、遂に危局に立つ

若槻内閣總辭職

十二月十一日 内相安達謙藏は藏相井上準之助、文相田中隆三の現状維持並に單獨辭職の勸告を拒絶す○内閣總理大臣若槻禮次郎、内閣不統一の責を負ひ、參内して總辭表を捧呈す

十二月十二日 元老西園寺公望、參内して後繼内閣の御下問に奉答す○政友會總裁犬養毅を召し、後繼内閣組織の命下る○次田大三郎、岩田宙造、阿部房次郎を貴族院議員と爲す○陸軍少將瀨川章友、柳川平助、入江仁六郎を中將と爲す○福井、人絹取引所を設置す

金輸出再禁止令公布
犬養内閣成る

安達謙藏民
政黨脱黨

十二月十三日

金輸出再禁止令を公布し、即日、實施さる○犬養毅を内閣總理大臣兼外務大臣に、中橋徳五郎を内務大臣に、高橋是清を大藏大臣に、大角岑生を海軍大臣に、荒木貞夫を陸軍大臣に、鈴木喜三郎を司法大臣に、鳩山一郎を文部大臣に、山本悌二郎を農林大臣に、前田米藏を商工大臣に、三土忠造を逓信大臣に、床次竹二郎を鐵道大臣に、秦豊助を拓務大臣と爲す○陸軍大將南次郎、海軍大將安保清種を軍事參議官と爲す○長延連を警視總監に、河原田稼吉を内務次官と爲す○安達謙藏、富田幸次郎、中野正剛、民政黨を脱黨す○美術團體槐樹社を解散す

十二月十四日

全國株式各市場大混亂に陥る○黒田英雄を大藏次官に、石黒忠篤を農林次官と爲す

十二月十五日

輸出入絹織物検査を實施す○岩城隆徳を外務政務次官に、高橋熊次郎を同參與官に、松野鶴平を内務政務次官に、藤井達也を同參與官に、堀切善兵衛を大藏政務次官に、太田正孝を同參與官に、若宮貞夫を陸軍政務次官に、土岐章を同參與官に、堀田正恒を海軍政務次官に、西村茂生を同參與官に、熊谷直太を司

法政務次官に、名川侃市を同參與官に、安藤正純を文部政務次官に、山下谷次を同參與官に、砂田重政を農林政務次官に、今井健彦を同參與官に、中島知久平を商工政務次官に、加藤鏖五郎を同參與官に、内田信也を逓信政務次官に、坂井大輔を同參與官に、若尾璋八を鐵道政務次官に、野田俊作を同參與官に、加藤条四郎を拓務政務次官に、牧野賤男を同參與官と爲す○ジュネーヴ軍縮會議帝國全權永野修身、佐藤尙武、松井石根、東京を出發す○支那南京政府主席蔣介石、遂に下野を聲明す○張學良は陸海空軍副司令を辭す

十二月十六日

關東軍司令官本庄繁、滿洲の治安を妨害する者に對し、斷固たる處置をとる旨聲明す○工學博士立原任歿す年五十九

十二月十七日

金貨兌換停止令を公布す○滿洲派兵に決す○栗屋謙を文部次官に、岸本正雄を樺太廳長官と爲す○農學博士片山外美歿す年五十五

十二月十八日

滿洲事變に際し、迫害を受けたる朝鮮人に救恤金二萬圓を下賜さる○地方長官の大更迭を發表す○長谷川久一を東京府知事に、横山助成を京都府知事に、齋藤宗宣を大阪府知事と爲す

十二月十九日

我軍、滿鐵沿線の兵賊徹底的討伐を開始す○貴族院議員伊東祐弘逝去年五十二

十二月二十日

前陸相南次郎、滿洲視察に赴く
吉野信次を商工次官に、和仁貞吉を大審院長は、皆川治廣を司法次官と爲す○

十二月廿一日

東京小石川豊山中學校火く

金貨兌換停止令公布

御庫門占據

十二月廿二日 我軍、兵匪を撃退して通江口及び法庫門を占據す○エチオピア特派大使外相へ
ルイ、東京出發、歸國す○衆議院副議長小山松壽、辭表を提出す○モスコーに
て日露國交破壊を目的とせるチエツコ國使臣の駐露日本大使廣田弘毅暗殺陰謀
事件發覺す○文學博士兒島猷吉郎歿す年六十六日本外史鈔本、論孟鈔本、文章軌範鈔本、女
史記鈔本、支那文學史綱、十八史略鈔本、小
學鈔本、唐宋八大家文鈔本、支那文學概論

載仁親王參謀總長就任

牛莊占據

十二月廿三日 第六十回帝國議會を召集す○閑院宮載仁親王を參謀總長に、陸軍大將金谷範三
を軍事參議官と爲す○英佛兩國より錦州に於ける日支形勢に關し、注意喚起を
通達し來る○中村啓次郎を衆議院議長に、増田義一を副議長と爲す○我軍、田
庄臺、牛莊を占據す
十二月廿四日 米國、更に帝國政府に對し錦州の事態に關して形勢重大に陥らぬやう、注意喚
起の覺書を寄す
十二月廿六日 天皇、親臨して帝國議會の開院式を行ひ給ふ○關東軍諸部隊、遼西へ出動を開
始す○有馬良橋、原嘉道を樞密顧問官と爲す

池田桂仙歿す

十二月廿七日 帝國政府は米、英、佛三國に對し、錦州問題に關して、日本の眞意に信賴し、
傍觀的態度希望の回答を發す○(貴、衆)在滿將士感謝決議案を可決す○畫家池
田桂仙歿す年六十九
十二月廿八日 我軍、大窪驛を占據す○工學博士原田鎮治歿す年七十二
十二月廿九日 我軍、盤山を占據す○舞踊家西川喜州歿す年五十七

盤山占據

石川舜臺寂す

十二月三十日 我軍、溝帮子、打虎山を占據す○張學良は錦州東北軍に即時關内撤退を命ず
十二月卅一日 僧石川舜臺寂す年九十一教行信證、破壇論駁言、教示章解、眞宗安心之根本義、地獄と極樂、
眞宗大義、改悔文解説、眞宗の正しき安心、佛敎社會觀序説

昭和七年 壬申 皇紀二五九二年 西曆一九三二年

正月 一日 勞働者災害扶助法を實施す○佐賀縣唐津町、福岡縣飯塚町に市制を施行す○關
東軍司令官本庄繁、内地の陸相荒木貞夫等と交換放送を行ふ○政友會幹事長久
原房之助、解散不可避を聲明す

錦州占據

正月 二日 嘉村旅團の主力山縣聯隊、遂に錦州に入る
正月 三日 第二十師團長室兼次、錦州城に入る○京都發奈良行急行電車、西大寺、油坂間
にて奈良自動車會社の銀バスと衝突し、死者十五名、重輕傷者十一名を生ず○
印度政廳對全印國民會議派の關係極度に切迫し、會議派總帥ガンヂ、遂に宣戰
布告を爲し、反英抗爭を開始す

東郷平八郎放送

正月 四日 軍人勅諭の五十週年記念日に、詔勅を陸海軍々人に下し給ふ○我軍、連山を占
據す○元帥東郷平八郎は軍人勅諭奉戴五十週年記念講演を放送す○東京、横濱
神戸従業員組合協議會の結成大會を大阪に擧げ、對市鬭争の共同戦線成る○錦
州を奉天省管下の自治體となすことに決定す○印度國民運動の指導者エム・ケ
ー・ガンヂ、青年印度の總帥シヤワハラル・ネール等、相次で捕縛さる

綏中占據

正月 五日 我軍、綏中及び葫蘆島を占據す○國際聯盟支那調査委員決定す
正月 六日 黑龍江省主席張景惠、チチハルに入城し、獨立を聲明す○印度國民會議派本部

櫻田門外大逆事件起る

警官隊に占領され、領袖四十五名捕縛さる

正月 七日

正月 八日

天皇、代々木練兵場に行幸あり、陸軍始觀兵式を行ひ給ふ、還御の途次、鮮人逆徒李奉昌、警視廳前に於て鹵簿に手投彈を投ず、御料車其他に御異情なく、犯人は直ちに逮捕さる○首相犬養毅、参内して總辭表を捧呈し、罪を闕下に謝し奉る○關東軍に優渥なる勅語を賜ふ○米國は新滿蒙新國家の形成に關し、不戰條約を引用して、果然強硬通牒を我國に送致し、同時に九箇國條約に基き共同干渉を企圖す

犬養内閣留任

正月 九日

古賀聯隊長戰死
獨逸償金不拂を宣言

新興力士團成る

正月 十日

首相犬養毅に、時局重大の際なるを以て留任せよ、との優詔を賜ひ、總辭表を却下さる○陸軍中將眞崎甚三郎を參謀次長に、阿部信行を臺灣軍司令官に、寺内壽一を第四師團長に、二宮治重を第五師團長に、若山善太郎を第三師團長と爲す○錦西に於て騎兵聯隊長古賀傳八郎中佐以下十九名戰死す○英國政府は、米國と共同して對日通牒の要なしと聲明す○錦西東方の杜家屯にて輻重兵部隊松尾秀治少尉以下二十七名全滅す○獨逸首相ブリュニング、正式に賠償金不拂を宣言し、全歐洲に大衝動起る○栃木縣阿久津村の小作爭議に關し、大日本生産黨員、全國勞農大衆黨員と衝突し、死者三名、重輕傷十數名を生ず
代々木練兵場に於て、始て愛國號二機の命名式を行ふ○東京相撲協會力士天龍大の里等三十五名、脱退して新に大日本新興力士團を組織す

正月 十一日

正月 十二日

山岡萬之助を關東長官と爲す
政府、與黨懇談會を開く○昭和製鋼所設置は新義州に決定す○藤沼庄平を東京府知事に、長谷川久一を警視總監と爲す○ソヴェート大使トロヤノフスキー、外相犬養毅を訪問して、日露友好破壊の陰謀排除に就きて會談す○青島民國日報の不敬事件に關し、居留民大會を開き、遂に民國日報社及び青島市黨部を襲撃して之を燒く、我陸戰隊、出動して鎮撫す○理學博士工藤祐舜歿す年四十六

通遼占據

正月 十三日

我軍、通遼を占據す○平塚廣義を臺灣總督府總務長官を爲す○前陸相南次郎、首相犬養毅を訪問して、滿洲増兵斷行を進言す○東京市電廣尾従業員、罷業に入る、即日、解決す

芳澤謙吉外務大臣就任

正月 十四日

芳澤謙吉を外務大臣と爲す○首相犬養毅、地方長官會議に於て政府の所見を陳ぶ○拓務省出張所を奉天に置く○禁酒運動の先驅者村松吉太郎歿す年六十六
我軍、錦西附近の匪賊大討伐を開始す○名古屋文化の盡瘁者水野宇右衛門歿す年七十四

正月 十六日

正月 十七日

外相芳澤謙吉は米國の對日覺書に對し、我が滿洲政策は斷じて不戰、九箇國兩條約に抵觸せざる旨を回答す○奉天、吉林、黑龍江各省は東三省軍政府財産整理委員會を組織す
青森縣鱈ヶ澤町大火あり、二百六十戸燒く○九州療養所の癩患者五百名、主事

福原鏖二郎
逝く

更送に憤慨し、脱走して熊本縣廳に押寄す○朝鮮銀行平壤支店に賊忍込み七十
八萬圓を竊取逃走す○美術功勞者福原鏖二郎逝去年六十五○俳人花の本廳秋歿
す年八十二

三宅やす子
歿す

正月十八日 櫻田門外大逆事件の責任者處分を行ひ、休職警視總監長延連を懲戒免官と爲し
警察署長の大異動を發表す○社會民主黨全國的中央委員會を東京芝協同會館に
開き、指導精神を國家社會主義に轉向す○上海に於て日蓮宗僧徒慘殺事件起る
○滿洲事變に關する國民の恤兵金二百十八萬圓に達す○小説家三宅やす子歿す
年四十三 愛し得ぬ悲しみ、露草、戀を知る迄、一つの橋、勝利者、顔、奔流、或る主人の手紙、感想集、未亡
人論、はがき、午前九時、金、婦人の立場から、燃ゆる花びら、針の片、チャンヤ、叔母さん、東京
驛、浅い眼、想ひ得ぬ人、青く光る石、髪、露明眸有罪、午後、母の教育、
新選三宅やす子集、雨の降る朝、誤解、我子の性教育、密附の宿屋

日支衝突事
件起る

正月二十日 政友會大會を開き宣言書を發表す○民政黨大會を開き臣節問題、財政經濟問題
に對する黨の態度を宣明す○上海日本人クラブに居留民大會を開き、強硬決議
をなし、市中に日支人衝突事件起る

衆議院解散

武藤山治政

正月廿一日 衆議院に解散を命ぜらる○政府は少數黨としては政策實現不能の聲明書を發表
す○特務艦能登呂、巡洋艦大井、第十五驅逐隊に上海出動命令下る○西班牙に
革命起り、共產共和國建設を宣言す○露國、フィンランド不侵略條約成る
外務、陸軍首腦部の對滿政策審議會を開き、滿蒙建設大綱を協議す○實業同志
正月廿二日

界隱退聲明

會長武藤山治、政界隱退を聲明す○上海市長吳鐵城、公文を以て民國日報不敬
事件を陳謝す○伊太利、金輸出を禁止す

國民同志會
解消

正月廿三日 政友會は産業五ヶ年計畫と自主外交を、民政黨は金本位制の再建と滿蒙問題の
根本解決を選擧の旗印となす○第二回居留民大會を上海に開く○支那南京國民
政府の巨頭會議に於て、外交部長陳友仁は對日國交斷絶、宣戰布告を提案す
正月廿四日 國民同志會を解消す○朝鮮銀行の金庫破り犯人左奈田甚吉を捕ふ
正月廿五日 日支紛争に關する國際聯盟理事會を開く、支那代表顏惠慶、日本代表佐藤尙武
と論戦す○陸軍中將白水淡逝去年七十

對支重大聲
明發表

正月廿六日 第一水雷戰隊を上海に急派す○東京相撲協會力士錦洋等十八名、更に脱退す
正月廿七日 日本海軍當局は、支那側の不法無誠意に對し、斷然自衛行動の重大聲明をなし
且つ期限付最後通牒を交附す○窪田靜太郎、栗野慎一郎、元田肇を樞密顧問官
と爲す○總領事林久治郎を特命全權公使と爲し、伯刺西爾に駐劄せしむ○上海
各國軍隊指揮官會議を開き、租界警備協定成る○上海市政府は抗日會に解散命
令を發す○貴族院議員稻垣大祥逝去年七十四

金兌換停止
の緊急勅令
上海事變起
る

正月廿八日 金兌換停止に關する緊急勅令を公布す○上海市長吳鐵城は日本總領事に至り、支
那側の正式回答を爲し、我が要求全部を承認したるも不満足なるを以て、遂に
我軍は行動を開始し、上海閘北方面一帶の保障占據を斷行するに決し、支那軍
と戦端を開く○米國大使フォoops、外相芳澤謙吉を訪問し、上海事件に關し

注意喚起の通告をなす○南京領事館員全部は日本軍艦に引揚ぐ○ハルピン日本
總領事館、便衣隊に猛撃さる○巡洋艦夕張以下第一水雷戦隊十二隻、上海に入
港す○内相中橋徳五郎、警視總監長谷川久一に辭職を勧告す

正月廿九日

日支停戦協
定成る
大津淳一郎
逝く

帝國政府は上海事件に關し、我が權益擁護の外、政治的野心なき旨の聲明書を
發す○我陸戦隊、遂に上海各要地を占據し、敵兵を完全に掃蕩す、尋いで日支停
戦協定成る○大野緑一郎を警視總監と爲す○東京相撲協會脱退力士錦洋等は名
古屋に籠城本部を置き、革新力士團と改稱す○貴族院議員大津淳一郎逝去年七
十七日本官吏任用論、政治概論、大日本憲政史、
世界變局と帝國の外交、帝國憲政と道義○小説家藤澤清造歿す年四十四根津權現裏、復
一時、女地獄、祈禱ひの事、愚劣な捕縛、父と子と、一夜、
母を殺す、春、霧口を拾ふ、ウイスキーの味、恥、秋風往來

正月三十日

英米兩國重
大抗議

閑院宮載仁親王の參謀總長就任に對する國民感謝大會を明治神宮外苑に開く○
英、米兩國提携して日本軍の軍事行動は全上海を危険にせりとの對日重大抗議
をなす○國際聯盟理事會、上海事件調査の國際委員會組織の件を可決す○清水
澄を行政裁判所長官と爲す○支那國民政府、國都を南京より洛陽に遷すを宣言
す○上海の支那軍、停戦協定を破り租界を砲撃す、我軍、直ちに之に應戦す○
陸軍主計總監芝田忠五郎歿す年六十三○講談師神山伯山歿す年六十一

正月卅一日

外相芳澤謙吉、英國大使リンドレー、米國大使フォーブス、佛國大使マルテル
の來訪を求め、日本政府の方針並に立場を詳細に説明し、諒解を求む○日支停
戦交渉、遂に不調に終る○支那國民政府は遂に對日宣戰を布告するに決し、蔣

上海増兵決
定

二月一日

介石、再び陸海軍總司令に就任す○軍醫戸塚環海歿す年七十九○關西實業界の
重鎮喜多又藏歿す年五十六
閣議に於て上海に増兵を決議す○英國大使リンドレー、米國大使フォーブス、外
相芳澤謙吉を訪問し、強硬なる共同抗議を提起す、外相、即座に其誤解を反駁
し、真相を説明す○英國政府は上海の日支兩軍間に中立地帯の設置を提案す、
我政府は直ちに之に絶對不同意を回答す○支那外交當局は正式に對日宣戰を否
認す○米國、上海に出兵す

二月二日

海軍大將博恭王を海軍軍令部長に、中將野村吉三郎を第三艦隊司令長官に、大
將山本英輔を横須賀鎮守府司令長官に、谷口尙眞を軍事參議官と爲す○特命全
權大使岡春一をして佛國に駐劄せしむ○第三艦隊を組織す○英、米、佛三國
共同して我國に對し、不増兵、中立地帯、停戦等の和平調停案を提示す○國際
聯盟緊急理事會を開き、上海事件に就き協議す、我軍、遂に上海總攻撃を開始
す○南京獅子山砲臺より日本軍艦を砲撃す○因て之に應戦し、沈黙せしむ○國
際聯盟主催の世界軍縮會議をジュネーヴに開く

二月三日

我空軍、吳淞、高橋沙兩砲臺を爆撃す○國際聯盟派遣の支那調査委員一行、巴
里を出發す○熊本縣回春堂病院長ハンナ・リデル逝く年七十八

二月四日

英米佛三國の共同調停案に對し、帝國政府は軍事行動の自由保留、中立地帯設
置は異議なき旨の正式回答をなす○我軍、第二次上海總攻撃を行ひ、閘北の敵

上海總攻撃

博恭王海軍
軍令部長に
就任

ハルピン占據

二月五日 兵を掃滅す○第三艦隊司令長官野村吉三郎、東京を出發す○京都マキノ撮影所火く○支那國民政府、更に河南省開封に臨時政府を移す
松田正之を南洋廳長官と爲す○我軍、第三次上海總攻撃を行ふ○多門師團の先鋒、續々ハルピンに入城し、各官廳要所を占據す○ジュネーヴ世界軍縮會議に於て、佛國全權タルヂュは聯盟に國際軍創設の重大提議をなす

二月六日 上海に陸軍を派遣す○第二師團長多門次郎、ハルピン入市式を行ふ○蒲田松竹撮影所火く

上海出兵聲明

二月七日 帝國政府は、權益保護並に國際義務遂行の目的を以て上海出兵を聲明す○我空軍、上海の大爆撃を行ふ、敵兵、第三線に退く○陸軍先發部隊、上海に到着す

二月八日 帝國政府は上海平和地帯設定案を列國に提議す○海軍中將高橋三吉を海軍軍令部次長に、百武源吾を海軍大學校長と爲す○松岡洋右を特派使とし、上海に差遣するに決す○我軍、吳淞右岸を占據す○三重縣度會郡豐濱村上空に於て戰鬥偵察二機、衝突墜落して善貴世大尉、山下裕、佐藤喜勢兩中尉慘死す

井上準之助暗殺さる

二月九日 皇太后、學習院に行啓あり○我軍の砲撃の爲め、吳淞火藥庫大爆發す○國際聯盟理事會に於て、日本代表佐藤尙武、堂々と我國の立場の公正なるを論ず○前大藏大臣井上準之助、東京市本郷肴町に於て刺客小沼正に射殺さる年六十四
國策經濟を語る、太平洋問題、我國繁榮の現狀及改善策、世界不景氣と我國民の覺悟 ○獨逸語學者宮本桂仙歿す年五十七共産主義と崩壊
在上海帝國艦隊司令部より、支那軍撤退せざれば實力行使の已むなき旨の聲明

吳淞總攻撃

二月十一日 書を發表す○第九師團、宇品を出發す○我軍、上海開北一帶の敵陣地を爆撃し吳淞支那兵營を火く○東京帝國大學學生八百名、校内に於て建國祭反對デモを敢行せんとし、廿五名檢擧さる

二月十二日 建國祭を行ふ○我軍、新民屯方面の兵賊を討伐す○書家柳田泰麓歿す年七十一
東京淺草寺本堂大營繕上棟式を行ふ○我軍、吳淞總攻撃を行ひ、柳家屯を占據す

二月十三日 陸軍省、支那第十九路軍の對日抗戰繼續につき、斷乎實力膺懲を聲明す○第九師團、上海に上陸を開始す○特派使節松岡洋右、東京を出發し上海に赴く○米國映畫俳優リチャド・バーセルメス、同ロナルド・コルマン、來朝す

二月十四日 我陸海空軍の攻撃により吳淞の敵軍左翼第一線全滅す○吉林省長熙洽、奉天に來る

川上孤山寂す

二月十五日 傷兵御慰問の爲め、侍從武官出光萬兵衛を横須賀、吳、佐世保各海軍病院に差遣さる○外相芳澤謙吉は米、英、佛、伊、獨五國大使の來訪を求め、今回の陸軍部隊増遣の目的並に今後の我方針を委曲説明す○黑龍江省長張景惠及び馬占山、奉天に來る○僧川上孤山寂す年五十九

滿蒙新國家建設會議

二月十六日 陸相荒木貞夫、參内して上海方面の軍狀を委曲奏上す○國際聯盟理事會議長ボシクルは日本に對し、嚴重にアツピールの警告的通牒を提起し來る○宮城縣遠刈田溫泉大火あり、四十四戸火く○奉天商埠地の張景惠邸に於て滿蒙新國家

東北行政委員會設置

建設會議を開き、最高政務委員會を組織し、建國三原則成る
二月十七日 萬寶山事件解決す○滿蒙新國家建設會議を再開し、國體は立憲共和制、政體は聯省自治政體、元首は執政と呼稱するに決す、尋いで東北行政委員會を創設し、張景惠を委員長に、臧式毅、熙洽、馬占山、湯玉麟、齊王、凌陞を委員と爲す

獨立宣言書發表

二月十八日 帝國政府は上海の支那撤退に關する最後通牒を發す○臺灣總督太田政弘、辭表を提出す○第一次滿蒙新國家建設會議を終了し、東北行政委員會は獨立宣言書を發表す

二月十九日

滿蒙新國家元首に前清國宣統帝を推戴するに確定す○上海第十九路軍長蔡廷楷は我が最後通牒に對し、撤退を拒絶す○義太夫界の耆宿竹本縫太夫歿す年七十

二月二十日

我軍、上海の支那軍に對し總攻撃を開始し、江灣鎮の一部、孫家澤を占據す○第十八回衆議院議員總選舉を行ふ○(東京)立川太郎、高橋義次、三木武吉、本田義成、大神田軍治、犬養健、駒井重次、鳩山一郎、安部磯雄、中島彌團次、安藤正純、伊藤仁太郎、頼母木桂吉、柳田宗一郎、磯部尙、國枝捨次郎、朴春琴、中野勇治郎、三上英雄、牧野賤男、鈴木富士彌、高木正年、斯波貞吉、前田米藏、中島守利、中村繼男、佐藤正、松谷與二郎、津雲國利、八並武治、坂本一角、(京都)中村三之丞、鈴木吉之助、鷺野米太郎、川橋豊治郎、福田關次郎、中野種一郎、磯部清吉、田中祐四郎、長田桃藏、青田均、水島彦一郎、

上海總攻撃第十八回總選舉

(大阪)板野友造、一松定吉、折谷寅吉、山本芳治、竹田儀一、沼田嘉一郎、上田孝吉、内藤正剛、廣瀬德藏、青田勝晴、森田政義、中山福藏、本田彌市郎、吉川吉郎兵衛、喜多孝治、勝田永吉、杉山元治郎、岩崎幸治郎、山口義一、松田竹千代、井阪豊光、(神奈川)野方次郎、戸井嘉作、三宅磐、川口義久、鈴木喜三郎、小泉又次郎、岩切重雄、胎中楠右衛門、鈴木英雄、河野一郎、平川松太郎、(兵庫)砂田重政、野田文一郎、中井一夫、濱野徹太郎、中亥歳男、蔭山貞吉、立川平、前田房之助、原淳一郎、小林絹治、多木久米次郎、青木雷三郎、原惣兵衛、田中武雄、土井權太、清瀬一郎、若宮貞夫、齋藤隆夫、畑七右衛門、(長崎)西岡竹次郎、向井倭雄、志波安一郎、中村不二男、中川觀秀、森肇、牧山耕藏、佐保畢雄、中田正輔、(新潟)山本悌二郎、田邊熊一、山田助作、松木弘、渡邊幸太郎、出塚助衛、佐藤與一、加藤知正、高橋金治郎、山田又司、大竹貫一、原吉郎、鈴木義隆、武田徳三郎、増田義一、(埼玉)秦豊助、高橋泰雄、松永東、宮崎一、横川重次、長島隆二、一瀬一二、高橋守平、野中徹也、出井兵吉、門田新松、(群馬)中島知久平、青木精一、飯塚春太郎、清水留三郎、増田金作、畑桃作、木暮武太夫、篠原義政、木檜三四郎、(千葉)鈴木隆、多田滿長、本多貞次郎、川島正次郎、鶴澤宇八、鳩山秀夫、今井健彦、土屋清三郎、竹澤太一、小高長三郎、岩瀬亮、(茨城)内田信也、宮古啓三郎、葉梨新五郎、豊田豊吉、石井三郎、山崎猛、中井川浩、飯村五郎、堀江正三郎、

佐藤洋之助、風見章、(栃木)船田中、森恪、坪山德彌、高田耘平、岡田喜久治、松村光三、岡本一巳、上野基三、栗原彦三郎、(奈良)江藤源九郎、岩本武助、八木逸郎、福井甚三、松尾四郎、(三重)加藤久米四郎、伊坂秀五郎、堀川美哉、川崎克、松田正一、濱田國松、尾崎行雄、後藤脩、池田敬八、(愛知)加藤鏡五郎、小山松壽、田中善立、横山一格、瀬川嘉助、丹下茂十郎、西脇晋、山田佐一、瀧正雄、加藤鯛一、田中貞二、小笠原三九郎、小林錡、武富濟、大口喜六、近藤壽市郎、鈴木正吾、(静岡)山口忠五郎、宮本雄一郎、深澤豐太郎、海野數馬、平野光雄、仁田大八郎、春名成章、勝又春一、岸衛、太田正孝、倉元要一、永田善三郎、井上剛一、(山梨)田邊七六、川手甫雄、大崎清作、竹内友治郎、福田虎龜、(滋賀)清水銀藏、服部岩吉、堤康次郎、仙波久良、青木亮貫、(岐阜)匹田銳吉、大野伴睦、清寬、佐竹直太郎、楠基道、後藤亮一、牧野良三、古屋慶隆、平井信四郎、(長野)小坂順造、松本忠雄、山本慎平、山本莊一郎、小山邦太郎、鷺澤與四二、小川平吉、平野桑四郎、有馬淺雄、戶田由美、高橋保、植原悅二郎、百瀬渡、(宮城)内ヶ崎作三郎、守屋榮夫、宮澤清作、菅原傳、佐々木家壽治、星廉平、大石倫治、村松久義、(福島)堀切善兵衛、八田宗吉、鈴木寅彦、比佐昌平、菅野善右衛門、林平馬、小島智善、助川啓四郎、中野寅吉、佐藤庄太郎、鈴木辰三郎、(岩手)田子一民、八角三郎、熊谷巖、志賀和多利、小野寺章、廣瀬爲久、高橋壽太郎、(青森)藤井達也、梅村大、工藤鐵男、工藤十三雄、兼田秀雄、菊池良一、(山形)西方利馬、高橋熊次郎、戶田虎雄、佐藤啓、佐藤理吉、熊谷直太、清水徳太郎、松岡俊三、(秋田)杉本國太郎、鈴木安孝、田中隆三、町田忠治、片野重脩、小山田義孝、猪股謙二郎、(福井)齋藤直橋、熊谷五右衛門、山本条太郎、添田敬一郎、猪野毛利榮、(石川)中橋徳五郎、永井柳太郎、箸本太吉、青山憲三、櫻井兵五郎、益谷秀次、(富山)石坂豊一、高見之通、野村嘉六、島田七郎衛門、土倉宗明、松村謙三、(鳥取)豊田收、矢野晋也、由谷義治、山柎儀重、(島根)櫻内幸雄、木村小左衛門、原夫次郎、島田俊雄、沖島鎌三、俵孫一、(岡山)岡田忠彦、横山泰造、難波清人、大山斐瑳磨、久山知之、小谷節夫、犬養毅、小川郷太郎、星島二郎、白神邦二、(廣島)岸田正記、名川侃市、荒川五郎、藤田若水、渡邊伍、望月圭介、山道襄一、田中貢、宮澤裕、米田規矩馬、森田福市、作田高太郎、横山金太郎、(山口)久原房之助、保良淺之助、庄晋太郎、藤井啓一、松岡洋右、窪井義道、西村茂生、澤本與一、兒玉右二、(和歌山)木本主一郎、玉置吉之丞、松山常次郎、世耕弘一、三尾邦三、小山谷藏、(徳島)紅露昭、生田和平、谷原公、秋田清、伊藤皆次郎、眞鍋勝、(香川)宮脇長吉、上原平太郎、戸澤民十郎、山下谷次、三土忠造、矢野庄太郎、(愛媛)大本貞太郎、武知勇記、須之内品吉、森昇三郎、河上哲太、村上紋四郎、白城定一、清家吉次郎、山村豊次郎、(高知)田村實、中谷貞頼、富田幸次郎、林讓治、依光好

也、梅村大、工藤鐵男、工藤十三雄、兼田秀雄、菊池良一、(山形)西方利馬、高橋熊次郎、戶田虎雄、佐藤啓、佐藤理吉、熊谷直太、清水徳太郎、松岡俊三、(秋田)杉本國太郎、鈴木安孝、田中隆三、町田忠治、片野重脩、小山田義孝、猪股謙二郎、(福井)齋藤直橋、熊谷五右衛門、山本条太郎、添田敬一郎、猪野毛利榮、(石川)中橋徳五郎、永井柳太郎、箸本太吉、青山憲三、櫻井兵五郎、益谷秀次、(富山)石坂豊一、高見之通、野村嘉六、島田七郎衛門、土倉宗明、松村謙三、(鳥取)豊田收、矢野晋也、由谷義治、山柎儀重、(島根)櫻内幸雄、木村小左衛門、原夫次郎、島田俊雄、沖島鎌三、俵孫一、(岡山)岡田忠彦、横山泰造、難波清人、大山斐瑳磨、久山知之、小谷節夫、犬養毅、小川郷太郎、星島二郎、白神邦二、(廣島)岸田正記、名川侃市、荒川五郎、藤田若水、渡邊伍、望月圭介、山道襄一、田中貢、宮澤裕、米田規矩馬、森田福市、作田高太郎、横山金太郎、(山口)久原房之助、保良淺之助、庄晋太郎、藤井啓一、松岡洋右、窪井義道、西村茂生、澤本與一、兒玉右二、(和歌山)木本主一郎、玉置吉之丞、松山常次郎、世耕弘一、三尾邦三、小山谷藏、(徳島)紅露昭、生田和平、谷原公、秋田清、伊藤皆次郎、眞鍋勝、(香川)宮脇長吉、上原平太郎、戸澤民十郎、山下谷次、三土忠造、矢野庄太郎、(愛媛)大本貞太郎、武知勇記、須之内品吉、森昇三郎、河上哲太、村上紋四郎、白城定一、清家吉次郎、山村豊次郎、(高知)田村實、中谷貞頼、富田幸次郎、林讓治、依光好

江灣鎮占據

二月廿一日

秋、川淵治馬、(福岡)原口初太郎、中野正剛、宮川一貫、吉田鞆明、實岡半之助、龜井貫一郎、田尻生五、田島勝太郎、高野喜六、野田俊作、貝谷眞孜、山崎達之輔、高倉寛、樋口典常、内野辰次郎、坂井大輔、小池四郎、勝正憲、(大分)金光庸夫、野依秀市、塩月學、松田源治、綾部健太郎、清瀬規矩雄、重松重治、(佐賀)田中亮一、石川又八、池田秀雄、藤生安太郎、田口文次、森峰一、(熊本)木村正義、松野鶴平、村田虎之助、安達謙藏、大麻唯男、上塚司、三善信房、中野猛雄、伊豆富人、深水清、(宮崎)佐藤重遠、平島敏夫、渡邊與七、田尻藤四郎、水久保甚作、(鹿児島)原耕、床次竹二郎、藏園三四郎、井上知治、中村嘉壽、東郷實、崎山武夫、天辰正守、寺田市正、金井正夫、津崎尙武、永田良吉、(沖繩)金城紀光、花城永渡、崎山嗣朝、竹下文隆、伊禮肇、(北海道)壽原英太郎、山本厚三、丸山浪彌、岡田伊太郎、東武、林路一、田中喜代松、坂東幸太郎、佐々木平次郎、林儀作、大島寅吉、板谷順助、松實喜代太、山本市英、松尾孝之、手代木隆吉、三井德寶、尾崎天風、木下成太郎、小池仁郎當選す、前鐵道大臣原脩次郎、同衆議院議長中村啓次郎落選す

廟行鎮占據
肉彈三勇士

二月廿二日

我軍、廟行鎮を占據す、工兵一等兵江下武次、北川丞、作江衛之助、壯烈なる戦死を遂ぐ○蘇州にて最初の空中戦を行ひ、敵機を射落し米人飛行士シヨート

上海増兵斷行

二月廿三日

惨死す○海軍軍醫中將小川龍歿す年五十五
更に上海増兵斷行に決す○外相芳澤謙吉、前例なき痛烈なる言辭を以て、國際聯盟理事會の通牒を反駁回答し、聲明書を發表す○滿蒙新國家の國號を滿洲國と定む○陸軍中將足立愛藏歿す年七十

二月廿四日

淺間山噴火す○滿蒙新國家の首都を長春に決定す○米國國務長官スチムソン、聲明書を發表して日本の行動を條約違反と爲し、門戸開放主義を強調す

二月廿五日

ベルシア特命全權公使ハッサン・アリ・ハーン・ケマル・ヘダヤット、参内して信任状を捧呈す○我軍、更に上海總攻撃を行ひ、北より南へ、金家壩、前郭家屯を連ねたる敵陣地を占據す○國際聯盟支那調査會書記長ロペール・ハース、來朝す○熱河に於て蒙古自治軍總指揮松井清助大佐戦死す年五十六

二月廿六日

我軍、嚴家橋を占據す○我空軍、抗州に至り敵機三機を射落し、飛行場を爆發す○特命全權大使松平恒雄、佐藤尙武、吉田茂を帝國代表と爲し、國際聯盟臨時總會に参列せしむ

二月廿七日

八幡市外國有林に旅客機墜落し、艇長藤本照男外三名惨死す

二月廿八日

上海に於て英、米、佛三國公使の斡旋にて日支停戦運動起る

二月廿九日

陸軍中將小磯國昭を陸軍次官に、木原清を東京警備司令官に、杉山元を第十二師團長に、鎌田彌彦を近衛師團長と爲す○國際聯盟理事會議長ボンクトール、日支兩國に上海圓卓會議招集に關する提議を爲す、之を承諾す○上海派遣軍司令

リットン等
來朝

官陸軍大將白川義則、兵を率ゐて上海に到着す○國際聯盟の支那調査委員リットン等、來朝す

滿洲國建設

三月 一日 滿蒙新國家、滿洲國を建設し、年號を大同元年と改め、建國宣言書を發布す○我軍、大場鎮方面の總攻撃を開始す○金澤歩兵聯隊長林大八、江灣鎮に於て戦死す年四十九○米國飛行家リンドバーク大佐の愛兒誘拐事件起る

三月 二日 我軍、大場鎮、眞茹、彭浦鎮を占據す○陸戰隊、遂に開北全部を占據す

吳淞砲臺占
據

三月 三日 我軍、南翔、嘉定、吳淞砲臺を占據す○我陸海軍に停戦命令下る○南弘を臺灣總督と爲す○日支紛擾に關する臨時國際聯盟總會をジュネーヴに開く

三月 四日 支那軍敵對行爲あり、我軍、再び攻撃を開始す○上海事件の陸海軍死傷者合計二千三百八十九名に達す○國際聯盟總會、日支停戦に關する勸告決議案を可決す○伯爵萬里小路通房逝去去年八十六

日支停戦勸
告案可決

三月 五日 來る三月十八日を以て帝國議會召集の詔書を公布す○日本側の停戦條件基礎案を支那側、遂に拒絶す○東京三井銀行前に於て三井合名會社理事長團琢磨、刺客菱沼五郎に射殺さる年七十五○子爵藤井行徳逝去去年七十八

團琢磨射殺
さる

三月 六日 講談師猫遊軒伯知歿す年七十七

三月 七日 増遣第十四師團、上海附近に上陸を開始す○松江放送局を開設す○福岡縣住友忠隈炭坑にて瓦斯爆發し、十八名慘死す○東京府下寺島町玉ノ井オハグロ溝に死體八ツ斬事件起る○佛國政治家ブリアン逝く年七十

溥儀滿洲國
執政就任

三月 八日 國際聯盟支那調査委員長リットン等、退京す

三月 九日 高山長幸を東拓總裁と爲す○長春市外市政公署に於て、滿洲國の建國式を舉行し、前清國皇帝溥儀、執政に就任せらる○滿洲國の政府組織並に國務院、參議府官制發布さる

三月 十日 天皇、陸軍戸山學校に臨幸あり、陸軍記念日祝典を行ひ給ふ○滿洲國成立を列國に通告す○工學博士石井敬吉歿す年六十七

井上日召自
首

三月 十一日 皇后、多摩陵に行啓あり○國際聯盟支那調査委員リットン等、神戸を發して上海に向ふ○血盟團事件の首魁井上日召、自首す○滿洲國執政溥儀は大赦令並に窮民救濟令を發布す○國際聯盟總會の決議文に反對し、日本側棄權す○支那國民政府は滿洲國否認を聲明す

三月 十二日 日本銀行、遂に二厘方利下を實施す○滿洲國外交部長謝介石は日英米等十七國に對し、正式に國交開始を提議す○瑞典マツチ王イヴァル・クロイデル自殺す

三月 十三日 高崎歩兵第十五聯隊の豫備召集兵五百餘名、内地残留を憤慨し大亂闘事件起る

○横濱市電從業員、總罷業を決定す

西園寺公望
參内

三月 十四日 元老西園寺公望、參内して時局問題につき伏奏す○上海の第十一師團、混成廿四旅團に内地歸還命令下る○横濱市電總罷業解決す○ヒンデンブルグ元帥は獨逸大統領に再當選す○米國寫眞王イーストマン自殺す年七十九

三月 十五日 柝内曾次郎、古島一雄、堀啓次郎、岸清一、門野幾之進を貴族院議員と爲す○

長春を新京と改む

三月十六日 東京國民講堂に於て青年愛國聯盟の發會式を行ふ
勅語を上海派遣軍に賜ひ、忠烈を嘉し給ふ○内務大臣中橋徳五郎、辭職す○内閣總理大臣犬養毅をして内務大臣を兼しむ○滿洲國、首都長春を新京と改む

三月十七日 日本代表重光葵、支那代表顧維鈞と上海停戰交渉正式會議を開く事に決す○滿洲國、新に興安省を設く

三月十八日 第六十一回帝國議會を召集す○秋田清を衆議院議長に、植原悦二郎を副議長と爲す

三月十九日 駐日支那代理公使江華本より滿洲獨立政府樹立の責任は日本にありと抗議す、外相芳澤謙吉は之に對し、日本は關知せずと回答す

三月二十日 天皇、親臨して帝國議會の開院式を行ひ給ふ○(衆)陸海軍派遣將士の感謝決議案を可決す○東京地下鐵道従業員百五十餘名罷業を開始す

三月廿一日 日支停戰基礎案成る、(第一)後日定められるまで支那軍は現在地に留る、(第二)日本軍はプログラムによつて撤收する、(第三)混合委員會を組織して(第一、第二)の點を監視する○上海派遣軍最初の凱旋部隊、宇品に歸還す

三月廿二日 (貴)陸海派遣軍に感謝と慰問の決議をなす○(衆)滿洲事變の軍事豫算案を可決す

三月廿三日 海軍航空廠令を公布す○日本・葡萄牙通商航海條約の調印成る○京都名利西方寺火く○東京地下鐵道争議解決す○前代議士大島要三歿す年七十四

海軍航空廠令公布

日支停戰基礎案成る

第二艦隊凱旋

三月廿四日 第二艦隊司令長官末次信正等、東京に凱旋し直に參内軍狀を奏す○日本側植田謙吉、重光葵、支那側郭泰祺、載戩等、上海英國總領事館に於て、日支正式停戰會議を開く

三月廿五日 司法大臣鈴木喜三郎を内務大臣に、川村竹治を司法大臣と爲す○第六十一回帝國議會の閉院式を行ふ○醫學者豊福環歿す年六十

三月廿六日 陸軍中將木越安綱逝去年七十九○精神病學者吳秀三歿す年六十八 精神病學集要、精神病學生進及び功業、精神病診察法、精神病臨床檢診録、シールト、箕作阮甫、日本産科叢書、東洞全集、醫學堂叢書、菽園遺稿

三月廿七日 日本・葡萄牙通商航海條約を公布す

三月廿八日 皇后、女子學習院に行啓あり○陸軍少佐空閑昇、重傷捕虜となりしを恥辱として上海にて自殺す

三月廿九日 大阪最初の省線、城東線天王寺、京橋間の高架開通す○第十一師團長厚東徳太郎、善通寺に凱旋す○太平洋横斷飛行計畫中の海軍大佐名越愛徳、米國紐育にて墜落す

三月三十日 吳に於て巡洋艦愛宕の引渡式を行ふ

三月卅一日 復興事務局を廢止す

三月 中 兵庫關西學院を設立す

四月 一日 神奈川縣平塚町に市制を施行す○横須賀海軍航空廠を開設す○海軍中將山梨勝之進を大將と爲す○駐佛大使長岡春一を國際聯盟理事會の帝國代表と爲す○滿

復興事務局廢止

空閑少佐自殺

吳秀三歿す

洲國政府、領域内の郵政權接收手續を完了し、郵政獨立す

四月 二日 東京上野驛の新築成る○我軍、兵匪を撃退して農安城に入る○青森縣下北半島

大畑村大火あり、約三百五十戸焼く

四月 三日 我間島派遣軍、局子街に入城す○京都名利醍醐寺五大堂火く○體育家肥田景之

歿す年八十三

四月 四日 第十一師團長厚東徳太郎等、入京し直に參内して軍狀を奏す○朝鮮釜山取引所

設置に係る瀆職事件の被告陸軍大將山梨半造を無罪とす○ヒリツピン獨立法案

は米國下院を通過す○建築家岡田信一郎歿す年五十

馬占山出奔

四月 五日 滿洲國黑龍江省長馬占山、行方不明となる

四月 六日 上海日支停戰會議にて支那側讓歩し、撤收地問題一段落となる○長野縣東筑摩

郡宗賀村大火あり、百六十五戸焼く○擬聲家初代猫八事岡田信一歿す年六十八

四月 七日 南滿洲鐵道會社總裁内田康哉、辭表を提出す○八田嘉明を南滿洲鐵道會社副總

裁と爲す

四月 八日 皇太后、第三聯隊に行啓あり○二百米以下の低空飛行を嚴禁す○再建共產黨の

首魁藏原惟人等を檢舉す○滿洲國、中央銀行の組織法を公布す

高橋光威逝

四月 九日 政治家高橋光威逝去年六十六萬國歴史問答大全、貝島太助翁の成功談、貧兒立志傳○工學者末廣恭二歿す年五十六

四月 十日 島中雄三等、大阪公會堂に於て會合し、日本國民社會黨を組織す

四月 十一日 陸軍中將林銑十郎を大將に、少將安藤紀三郎、井上忠也、杉原美代太郎、岩越

恒一、大谷一男、井上璞、猪狩亮介、林桂、古川三郎、三宅光治、中村孝太郎を中將と爲す○伯爵松平直之逝去年七十二○貴族院議員仁尾惟茂歿す年八十五

閣議にて實行豫算十五億四千四百萬圓に決す○上海日支停戰會議、無期延期となる○ハルピン東方東支鐵道本線に於て日本軍用列車爆發頭覆し、死者十四名

負傷三十七名を出す○貴族院議員安樂兼道逝去年八十三警視廳事務要録○美術功勞者

軍用列車頭覆

南米岳歿す年六十三

四月 十三日 靖國神社大祭は全國的休日と定む○特使松岡洋右、上海より歸朝す○錢高組の

創始者錢高善造歿す年七十三

四月 十四日 皇后、陸軍第一衛戍病院に行啓あり、傷病兵を慰問し給ふ○明治製糖會社々長

相馬半治、同専務有島健助を拘引す○新興、革新兩力士團、合流して大日本相

撲聯盟を組織す

四月 十五日 陸軍大將南次郎、菱刈隆に特命檢閲使を仰付らる○上野帝室博物館に御物金銅

佛三體の盜難事件起る

四月 十六日 宮崎縣小林町大火あり、三百二十六戸焼く

四月 十七日 藤澤樟腦の創始者藤澤友吉歿す年六十八

四月 十八日 首相犬養毅、滿鐵總裁内田康哉に留任を懇請す○東京府下の活動説明者三千名

トーカーに反對して遂に總罷業に入る○東京市外千駄ヶ谷大火あり、九十一戸

焼く○畫家金森觀陽歿す年五十

トーカー争議

大日本相撲聯盟成る

瀧野川火藥庫爆發

滿洲國對外借款成る

大宮大火

軍人勅諭五十年祝典

四月十九日

天皇、皇后、新宿御苑に行幸啓あり、觀櫻御會に臨み給ふ○滿鐵總裁内田康哉一先づ留任に決定す○國本社會長平沼騏一郎、聲明書を發表す○東京瀧野川陸軍火藥庫爆發し、附近の民家五百三十六戸破損し、十一名負傷す○列車顛覆事件の首魁東支鐵道警察探偵長高長春を捕ふ

四月二十日

選舉革正審議會を廢止す○文部省、中學校令を改正し、夜間中學校を認定す○滿洲國最初の對外借款、三井、三菱兩財團より二千萬圓の調印成る

四月廿一日

文部省、教育界革正の爲め、都下の私立醫大、醫專、藥專等十校の臨檢調査を行ふ○始て東京、太刀洗間の夜間飛行を行ふ○靜岡縣大宮町大火あり、一千二百五十四戸焼く○國際聯盟支那調査委員リットン等、奉天に到着す○實業家下鄉寅太郎歿す年五十二

四月廿二日

東京羽根田、太刀洗間の旅客機夜間定期航空路の開拓成る○東武鐵道従業員待遇改善を要求して總罷業に入る○濱口雄幸狙撃事件の佐郷屋留雄に死刑を宣告す○滿洲國、日本人官吏として駒井德三を國務院總務廳長に、大橋忠一を外交部總務廳長に、阪谷希一を財政部總務司長に、三谷清を奉天公署警務廳長に任命發表す

四月廿三日

東武鐵道従業員爭議解決す○支那南京政府は國民皆兵制を採用す○寫眞師田中猪太郎歿す年六十三

四月廿四日

天皇、二重橋前に親臨して軍人勅諭五十年祝典を行ひ給ふ○關東軍司令官本庄

四月廿五日

繁は國際聯盟調査委員リットン等と會見し、我軍事行動を説明す
靖國神社臨時大祭を執行す○上海、滿洲、濟南三事變、臺灣霧社事件の殉難將士五百三十一名を靖國神社に合祀さる

四月廿七日

天皇、皇后、靖國神社に行幸啓あり○日支停戰協定草案成る

四月廿八日

來る五月廿三日を以て帝國議會召集の詔書を公布す○我軍、反吉林軍を擊破し海林を占據す

四月廿九日

天皇、代々木練兵場に行幸あり、觀兵式を行ひ給ふ○上海の天長節祝賀會場に於て、朝鮮人尹奉吉、手榴彈を投じ、派遣軍司令官陸軍大將白川義則、同中將植田謙吉、海軍中將野村吉三郎、駐支公使重光葵、居留民團長河端貞以等、重傷す○全國勞農大衆黨は社會民衆黨との合同要望を聲明す

四月三十日

國際聯盟總會は日支停戰決議案を可決して閉會す○上海日本人居留民團長河端貞以遂に逝去年五十九○歌劇俳優清水金太郎歿す年四十四

五月一日

首相犬養毅ラヂオ放送を行ふ

日支停戰協定成る

五月二日

上海日支停戰協定遂に成立す

五月三日

夜間中學の修業年限を尋常卒業生は五年、高等卒業生は四年と定む

五月四日

文相鳩山一郎、官邸に於て不良學校征伐の大評定を開く

五月五日

皇后、青山憲法記念館に行幸啓あり、赤十字社總會に臨み給ふ○オリムピック選手派遣費補助として金一萬圓を下賜せらる○上海英國總領事館に於て日支停

上海爆彈事件

戦協定の正式調印成る

五月 六日

上海派遣軍司令部、撤收開始を支那側に通告す○横須賀市大火あり、七十五戸焼く○庄川問題に絡み、詐欺嫌疑にて貴族院議員田中清文等召喚さる○佛國大統領ポール・ゾーメ、狙撃せられ重傷す○發明協會副會長久米金彌歿す年六十

高等警察論、國有林野之經營、英國地方政治論

五月 七日

匪賊討伐軍、方正を占據す○佛國大統領ポール・ゾーメ遂に逝く年七十四○實業家八木宗十郎歿す年六十

五月 八日

政友會關東大會を横濱に開く○上海派遣軍司令官白川義則、歸還命令を發す

五月 九日

慶應義塾創立七十五年記念祭を舉行す○政治家坂井大輔歿す年四十六○哲學者

五月 十日

田中王堂歿す年六十六 二宮尊徳の新研究、書齋より街路へ、哲人主義、教は反省より、徹底的個人主義、象徵主義の文化へ、カアライル、國民哲學の建設、創造と哲學、改稿の哲學

五月 十一日

有田八郎を外務次官と爲す○美濃部達吉、今井五介を貴族院議員と爲す○第一回全國發明家大會を東京に開く○早大野球部は六大學聯盟より脱退す

五月 十二日

上海派遣軍全部に凱旋を命ぜらる○第十四師團全部上海より撤退し滿洲に移駐す

五月 十三日

醫學者上野信四郎歿す年六十一○工學者宮崎虎一歿す年四十九

五月 十四日

東郷實を逓信參與官と爲す
福井、人絹取引所を開業す○六大學リーグ正式に早大の脱退を承認し、東京大學野球聯盟と改稱す○米國映畫俳優チャップリン來朝す

上海派遣軍は凱旋を命ず

田中王堂歿す

五・一五事件起る
犬養首相射殺さる

第一次論功賞

鈴木喜三郎
政友會總裁
となる

五月十五日

陸海軍青年將校十八名、相前後して首相官邸、警視廳、牧野伸顯邸、日本銀行、三菱銀行、政友會本部を襲撃し、ピストル、手榴彈を以て爆發し、直ちに憲兵隊本部に自首す、内閣總理大臣犬養毅、官邸に於て射殺さる年七十八 栗本勳雲先生傳略、政海の雄、本堂政論集、本堂清話、議會典型、非氏經濟學

五月十六日

大藏大臣高橋是清をして臨時内閣總理大臣を兼しむ、尋いで總辭表を捧呈す○日支停戰協定正文の調印成る

五月十七日

小學校長優遇の改正勅令を公布す○犬養毅暗殺事件の別働隊たる農民決死隊の水戸愛郷塾生四名を捕ふ

五月十八日

日支事變の第一次論功行賞發表さる○勅使を故犬養毅邸に差遣し優渥なる誅を賜ふ○東京兩國橋の開通式を行ふ○帝都變電所襲撃事件の農民決死隊長古内榮

五月十九日

司松江憲兵隊に自首す○新聞記者土屋元作歿す年六十七 愛皇論、余が見たる福澤先生、太平洋問題觀測、日暮視、新學の先驅、米國大勢論、滿洲及新西蘭

五月二十日

特旨を以て黃檗宗瑞龍寺初祖鐵眼禪師に寶藏國師の諡號を賜ふ○元老西園寺公望、興津より入京す

五月二十一日

政友會臨時大會を開き、鈴木喜三郎を總裁に推戴す○樞密院議長倉富勇三郎、臨時首相高橋是清は西園寺公望を訪ひ、重大進言を爲す

五月廿一日

元老西園寺公望は山本權兵衛、清浦奎吾、若槻禮次郎を招き、時局收拾に關する意見を徴す○東京、市村座火く○東京下谷の名所笠森稻荷火く○米國女流飛

臨時議會召集

五月廿二日 行家プトナム夫人、大西洋單獨橫斷飛行に成功す
元老西園寺公望、参内して齋藤實を後繼内閣首班に奏薦す○齋藤實を召し、後繼内閣組織の大命下る○日本最初の看護婦大關ちか子歿す年七十五

五月廿三日

勅語を上海派遣軍司令官白川義則に賜ひ、特に男爵を授く○第六十二回帝國議會を召集す○高野山一乘院火く

五月廿四日

内務省、大東京實現に關する正式の許可をなす○貴族院議員末延道成逝去年七十八

五月廿五日

東京拓殖大學生徒六百名、學校改革を叫んで同盟休校す

五月廿六日

齋藤實を内閣總理大臣兼外務大臣に、山本達雄を内務大臣に、岡田啓介を海軍大臣に、小山松吉を司法大臣に、後藤文夫を農林大臣に、中島久萬吉を商工大臣に、南弘を遞信大臣に、三土忠造を鐵道大臣に、永井柳太郎を拓務大臣と爲し、大藏大臣高橋是清、陸軍大臣荒木貞夫、文部大臣鳩山一郎、留任す○海軍大將大角岑生、陸軍大將武藤信義を軍事參議官に、同林銑十郎を教育總監に、中將川島義之を朝鮮軍司令官に、香椎浩平を教育總監部本部長と爲す○柴田善三郎を内閣書記官長に、堀切善次郎を法制局長官と爲す○岐阜縣船津町大火あり、三百戸焼く○高岡市外二上村、守山村大火あり、二百二十二戸焼く○上海派遣軍司令官陸軍大將白川義則逝去年六十五○國文學者關根正直歿す年七十三

白川義則逝
關根正直歿

有職故實辭典、宮殿制度圖解、裝束圖解、浮世書百家傳、歴史文學、大體要語、諺解、軍輿圖解、大鏡新註、國文讀本、今鏡新註、女子國文讀本、からすかご、國文教科書、公事根源新釋、紫式部日記精解、紫式部日記、校註更級日記、各

辰録

五月廿七日

天皇、水交社に行幸あり○伏見宮博恭王に元帥の稱號を賜ふ○潮惠之輔を内務次官に、中川健藏を臺灣總督に、河田烈を拓務次官に、藤沼庄平を警視總監に、松本學を警保局長に、香取昌康を東京府知事と爲す○北海道餘市町大火あり、二百八十六戸焼く

五月廿八日

林頼三郎を檢事總長と爲す○宮中顧問官日根野要吉逝去年八十一

五月廿九日

赤松克麿等は日本國家社會黨を、下中彌三郎等は新日本國民同盟の結黨式を行ふ

五月三十日

我軍、匪賊の根據地海倫の攻撃を開始す○植物病理學者白井光太郎歿す年七十

五月卅一日

○立行司木村庄之助歿す年六十四○畫家山内多門歿す年五十五
上海派遣軍司令官代理陸軍中將植田謙吉、全軍を率る凱旋の途に就く○宮城控訴院長遠藤武治歿す年五十八

六月一日

天皇、親臨して帝國議會の開院式を行ひ給ふ○陸軍省、上海派遣軍引揚完了を發表す○瀧正雄を外務政務次官に、澤本與一を參與官に、齋藤隆夫を内務政務次官に、勝田永吾を參與官に、堀切善兵衛を大藏政務次官に、上塚司を參與官に、土岐章を陸軍政務次官に、石井三郎を參與官に、堀田正恒を海軍政務次官に、川島正次郎を參與官に、八並武治を司法政務次官に、岩本武助を參與官に、東郷實を文部政務次官に、石坂豊一を參與官に、有馬頼寧を農林政務次官に、

山内多門歿す

福田雅太郎
逝く

松村謙三を參與官に、岩切重雄を商工政務次官に、松村光三を參與官に、志賀和多利を逓信政務次官に、立花種忠を參與官に、名川侃市を鐵道政務次官に、板谷順助を參與官に、堤康次郎を拓務政務次官に、木村小左衛門を參與官と爲す○海軍中將藤田尙徳を海軍次官と爲す○我軍、海倫に入城す○陸軍大將福田雅太郎逝去年六十七

六月 二日

海軍少將植松練磨を上海海軍特別陸戰隊司令官と爲す○米國映畫俳優チャップリン横濱より歸國す○女子運動家大多よね子歿す年二十二

六月 三日

(衆) 首相齋藤實、人心の不安を一掃し、國民生活の安定を期する旨の施政方針を演説す

滯貨生糸買上

六月 四日

閣議に於て滯貨生糸買上案を決す○智利に革命起り、首都サンチャゴを占領し、大統領モンテロ、遂に辭職す

六月 五日

奉天に於て帝國在郷軍人全國大會を開く

六月 六日

騎兵部隊を滿洲國に差遣す○第九師團長植田謙吉、金澤に凱旋す○海軍少將坂野常善を第一遣外艦隊司令官に、同大佐杉坂悌二郎を上海海軍特別戰隊司令官と爲す○大僧正和田大圓寂す年七十四雲傳 神道

六月 七日

農相後藤文夫、參内して滯貨生糸處分問題に就て委曲奏上す

農村救濟對策を下問

六月 八日

首相齋藤實を召し農村救濟の對策を下問し給ふ○關東軍司令官本庄繁、滿洲國即時承認の絶對必要を陸軍省に電請す○三井八郎右衛門、失業救濟資金として

三百萬圓を寄附す○辻村みち子を最初の農學博士と爲す

六月 九日

(衆) 滯糸買上案を可決す○國離打開聯合協議會を結成す

六月 十日

(衆) 關稅改正案を可決す○侯爵淺野長勳、參内して維新秘史を進講す○首相齋藤實、政友會總裁鈴木喜三郎と會見し、平價切下問題に就きて協議す○政治家志波安一郎歿す年六十

六月 十一日

東京府教職員互助會に金三萬圓を下賜さる○東京、淺草水族館カチノフオリ閉館す

中津大火

六月 十二日

大分縣中津大火あり、三百戸焼く○滿鐵總裁内田康哉、歸京す○滿洲國、大連海關接收を通告す

農民救濟決議案

六月 十三日

(衆) 農民救濟決議案を可決す○第三艦隊司令長官野村吉三郎、佐世保に凱旋す○神戸、大同マツチ會社は不況整理の爲め、職工二千四百六名を解雇す○滿洲中央銀行を新京に創立し、榮厚を總裁に、山成喬六を副總裁と爲す

滿洲國承認決議案

六月 十四日

(衆) 滿洲國承認決議案を可決す○米國特命全權大使ジョセフ・クラーク・グルー、參内して信任狀捧呈す○國難打開國民大會を東京、上野自治會館に開く

守田勘彌歿す

六月 十五日

關稅改正法を公布す○第六十二回帝國議會の閉院式を行ふ

六月 十六日

舞鶴に於て驅逐艦響の進水式を行ふ○俳優守田勘彌歿す年四十八

六月 十七日

日本銀行參與會法を公布す○江口定條を貴族院議員と爲す

六月 十八日

滿洲國、海關自主權宣言を發表す○醫學者福井龍起歿す年四十六

民政黨分裂

六月十九日 第二回プロ文化大會を東京築地小劇場に開く、直ちに解散を命ず
六月二十日 神戸三宮大火あり、六十五戸焼く○滿洲國使節于靜遠、來朝す○山道襄一等、
政治研究會を設置す

松下禎二歿

六月廿二日 代議士山道襄一、古屋慶隆、小池仁郎等、民政黨を脱黨し、安達謙藏と提携し
て新黨樹立に決す○米國大統領フーヴァ、軍縮會議に對し、各國陸軍を警察軍
に、化學戰、大型移動砲、爆撃機の全廢を提案し、大衝動を與ふ
六月廿三日 理學者松下禎二歿す年五十八 寄生物性病論、免疫學、寄生物診斷學、動物の奇習奇觀、天際論、疫癘、
核病論、學校衛生學、衛生百話、學校衛生講話、新撰生理衛生、細菌診斷學、微生物學講義、免疫學講義、傳染病各論、結

暹羅革命起

六月廿四日 第三艦隊司令長官野村吉三郎、上海派遣軍司令官代理植田謙吉、第二十師團長
室兼次等東京に凱旋し直ちに參内して軍狀を奏し、勅語を賜はる○暹羅に革命
起り、陸海軍協同して皇族閣員を幽閉し、從來の獨裁君主制を覆し、立憲君主
制を確立す○陸軍中將齋藤義夫歿す年五十五○工學博士井上範自殺す年五十六
六月廿五日 東京お茶水、兩國間の高架線開通式を行ふ○滿鐵總裁內田康哉、新京に於て滿
洲國外交部長謝介石と會し承認問題に關して重大會見を遂ぐ

六月廿六日 大連海關の邦人吏員七十二名、結束し支那の支配を離脱して滿洲國に移る、暹
羅皇帝、革命派の要請を容れ、立憲君主政體となす
六月廿七日 東京府市主催の凱旋將軍歡迎會を日比谷公會堂に開く○安達謙藏、新政黨結成
に關し聲明書を發す○滿洲國、全滿の海關接收を中外に宣布す

特別高等警察部新設

六月廿八日 海軍中將野村吉三郎を軍事參議官に、左近司政三を第三艦隊司令長官と爲す○
各務原にて飛行機墜落し、山本政治、磯田幾三郎兩大尉、慘死す
六月廿九日 帝國政府、フーヴァ軍備案は日本の國防を破壊するものとし、反對を聲明す○
警視廳に特別高等警察部を新設す○越後鐵道疑獄事件の佐竹三吾は勅選議員を
辭す

資本逃避防止法公布

六月三十日 首相齋藤實は、帝國全權松平恒雄にフーヴァ軍縮案の強硬反對を回訓す○滿洲
國使節丁鑑脩一行、下關に來朝す○京阪神反トキー總罷業事件解決す
七月 一日 絲價安定融資損失處理法、絲價安定融資擔保生絲買收法を公布す○資本逃避防
止法、國債優遇法を公布す○農林省に米穀部を新設す○芳澤謙吉を貴族院議員
に、篠田治策を李王職長官と爲す○安達謙藏等、國策研究俱樂部を組織す○東
京控訴院に於て三木武吉、中島守利等三十二名に係る市會大疑獄事件の第一回
公判を開く○私鐵疑獄事件の最終判決あり、久須美東馬、佐竹三吾を執行猶豫
とす○都下十一大學は全日本學生體育聯合の結成式を行ふ○滿洲、中央銀行を
開業す

關西大豪雨

七月 二日 關西各地に大豪雨あり、愛知縣にて死者廿六名、兵庫縣三木町にて死者十九名
を生ず
七月 三日 國際聯盟支那調查團リットン等、再び來朝し大阪に於て聲明書を發表す
七月 四日 滿洲國新京に勅任總領事を置く

内田康哉外務大臣就任

航空廠開設

七月 五日 今村武志を樺太廳長官と爲す○滿鐵總裁内田康哉、入京す

七月 六日 恩給改正案成る○内田康哉を外務大臣と爲す○瀆職事件に關し星製藥會社長星一、拘引さる

七月 七日 横須賀航空廠を開設す○滿洲國特派使節丁鑑脩、退京す○中華民國人陶慰孫を文學博士と爲す、外國人として最初の女博士なり○音曲家落合三東里歿す年五十六○宣教師星野光多歿す年七十三

七月 八日 海軍大將博恭王に海軍特命檢閱使を仰付らる○滿洲國即時承認國民大會を東京日比谷公會堂に開く○ローザンヌ賠償協定の成立、正式に發表さる○實業家鈴木總兵衛歿す年六十二

七月 九日 高松宮宣仁親王はジョン・パチエラー、和田英松、城戸幡太郎、石川謙に學術獎勵金を下賜さる○醫學者後藤義一歿す年四十一

七月 十日 伯子男互選議員決定す○(伯爵)松木宗隆、柳澤保惠、兒玉秀雄、川村鐵太郎、柳原義光、林博太郎、松平頼壽、溝口直亮、小笠原長幹、樺山愛輔、二荒芳徳堀田正恒、酒井忠正、黒木三次、有馬頼寧、酒井忠光、橋本實斐、後藤一藏、(子爵)梅小路定行、大久保立、松平直平、青木信光、冷泉爲勇、牧野忠篤、伊集院兼知、五辻治仲、井上匡四郎、前田利定、西大路吉光、渡邊千冬、今城定政、白川資長、野村益三、立見豊丸、吉田清風、豊岡圭資、藪篤鷹、秋月種英片桐貞光、大河内輝耕、池田政時、永津政賢、清岡長言、八條隆正、立花種忠

西四辻公堯、保科正昭、岡部長景、伊東二郎丸、花房太郎、加藤泰通、新庄直知、曾我祐邦、森俊成、秋田重季、井伊直方、松平保男、東園基光、戸澤正巳富小路隆直、渡邊七郎、織田信恒、秋元春朝、西尾忠方、裏松友光、松平直壽岩城隆徳、三室戸敬光、毛利元恒、蒔田廣城、鍋島直繩、植村宗治、米倉昌達安藤信昭、梅園篤彦、高橋是賢、高木正得、土岐章、舟橋清賢、松平康春、三島通陽、近衛秀麿、土御門晴善、綾小路護、(男爵)大井成元、坂本俊篤、阪谷芳郎、四條隆英、平野長祥、鍋島直明、紀俊秀、東久世季雄、斯波忠三郎、千田嘉平、千秋季隆、北河原公平、北大路實信、中島久萬吉、菊池武夫、福原俊丸、今枝直規、黒田長和、井田磐楠、岩倉道俱、淺田良逸、今園國貞、藤村義朗、有地藤三郎、赤松範一、渡邊汀、金子有道、郷誠之助、小畑大太郎、東郷安、伊藤文吉、伊藤一郎、辻太郎、足立豊、矢吹省三、原田熊雄、大藏公望、松岡均平、長基連、沖貞男、大森佳一、周布兼道、高崎弓彦、井上清純、北島貴厚、中村謙一、松尾義夫、高木喜寛、松平外與麿、伊江朝助、關義壽、稻田昌植、三須精一、近藤滋彌、肝付兼美、橋本正輝、岩村一木、加藤成之、杉溪由言、佐藤達次郎、園田武彦、渡邊修二、山根健男、徳川喜翰、大寺純藏、深尾隆太郎、以上當選す○工學博士能見愛太郎歿す年六十三

七月十一日 滿洲國は全滿洲の郵政接收を通告す○伯勝精逝去年四十五

七月十二日 外相内田康哉、國際聯盟支那調査委員リットン等と會見し、滿洲國承認は隨時

自主的に處理する旨を宣明す○陸軍大將柄内曾次郎逝去年六十七○俳優中村鶴藏歿す年四十九

七月十三日 革新黨代議士清瀬一郎、大竹貫一等、國策研究俱樂部合流に決す○亞爾然丁、ウルグアイと國交斷絶す

七月十四日 東京市會を開き、新市廳建築案を可決す○僧小野方良行寂す年八十一

七月十五日

官吏身分保障案成る

手形法を改正公布す○國際聯盟支那調査委員リットン等、横濱を發し青島に向ふ

熱河に出動

七月十六日 閣議に於て官吏身分保障案成る○滿洲國特使丁鑑脩等、門司より歸國す

桐谷洗鱗歿す

七月十七日 上海の我陸戰隊、最後の撤收を終る○國家主義青年同盟結成大會を東京芝協調會館に開く○支那通佐原篤介歿す年五十九

社會大衆黨成る

七月十八日 愛知縣下の水害罹災者に救恤金六百圓を賜ふ○我軍、熱河に出動し湯玉麟軍と戦を開始す○海軍中將松村龍雄逝去年六十五○子爵山口弘達逝去年七十三

愛郷塾長自首

七月十九日 畫家桐谷洗鱗歿す年五十六

革新黨解消

七月二十日 天皇、地方長官を召して窮民救済の實情を下問し給ふ○貴族院議員志水小一郎逝去年七十九

愛郷塾長自首

七月廿一日 全國勞農大衆黨、社會民衆黨と合流して社會大衆黨を組織す○熱河の形勢重大化し、支那南京政府は張學良に即時動員を命ず

愛郷塾長自首

七月廿二日 全國町村長代表四十餘名は首相齋藤實を訪ひ、農村救済を哀願す○前代議士定塚門次郎歿す年四十七

愛郷塾長自首

七月廿三日 熱河軍、我が要求を容認し、各方面漸次平穩に歸す

愛郷塾長自首

七月廿四日 農民決死隊の首領愛郷塾長橋孝三郎、ハルビン憲兵隊に自首す○社會大衆黨の合同大會を東京芝協調會館に開き、安部磯雄を中央委員長と爲す○海軍大將日高壯之丞逝去年八十五

愛郷塾長自首

七月廿五日 革新黨を解消し、關直彦、清瀬一郎、大竹貫一、田川大吉郎、湯淺凡平等、國策研究俱樂部に参加す○滿洲國協和會の發會式を行ふ

愛郷塾長自首

七月廿六日 林博太郎を南滿洲鐵道會社總裁と爲す○有吉明を特命全權公使と爲し、中華民國に駐劄せしむ

愛郷塾長自首

七月廿七日 滿洲國錦州日本領事館を開設す○民政黨代議士高橋壽太郎、中川觀秀、岸衛、森峰一、脱黨して國策研究俱樂部に参加す

愛郷塾長自首

七月廿八日 鈴木莊六を樞密顧問官と爲す

愛郷塾長自首

七月廿九日 實業家鹿島房次郎歿す年六十四

愛郷塾長自首

七月三十日 明治天皇御二十年式祭を執行せらる

愛郷塾長自首

七月卅一日 臺中大洪水あり、家屋倒潰七百餘戸、壓死者三十六名を出す○ロサンゼルスに於て第十回オリムピック大會を開く

愛郷塾長自首

八月 一日 寄生蟲豫防法を實施す○昆蟲學者横山桐郎歿す年三十九

兩性生活、優越華、蟲

蟲の世界を探ねて、蟻と蜂、蟲の繪物語、原色日本の甲蟲、生物の

日露小包郵便條約公布

八月 二日 民政黨代議士三木武吉、脱黨す○滿鐵線一帶に匪賊來襲し、各驛大混亂に陥る

八月 四日 日露小包郵便條約を公布す○陸軍當局は、張學良一派が滿鐵沿線に於て抗日を繼續せば斷然討伐する旨を聲明す○長屋順耳を女子學習院長に、杉浦寅三郎を宮中顧問官と爲す○秋田市大豪雨あり、浸水家屋一千戸に達す

八月 五日 來る八月廿二日を以て帝國議會召集の詔書を公布す○北海道空知炭坑の瓦斯爆發し、坑夫五十七名慘死す

八月 七日 東京府下大井町沖に於て傳馬船顛覆し、十五名溺死す○胃腸病の權威平山金藏歿す年五十七

武藤信義全權大使就任

八月 八日

陸軍大將守正王に元帥の稱號を授けらる○陸軍大將武藤信義を關東軍司令官兼特命全權大使關東長官に、中將小磯國昭を同參謀長に、本庄繁、眞崎甚三郎を軍事參議官に、柳川平助を陸軍次官に、梅崎延太郎を第二十師團長と爲す○陸軍少將橫須賀辰藏、小林道正、福井次郎、小杉武司、仙波安藝、吉岡豐輔、建川美次を中將に、小山憲佐を陸軍々醫總監と爲す○安達謙藏の組織せる國策究研俱樂部を國民同盟と改む○北滿洲松花江沿岸に大洪水あり、溺死者三萬人に達す

國民同盟成立

八月 九日

時局匡救費二億五千萬圓を決す○俳優松本武五郎歿す年四十三

八月 十日

大阪濱寺の農業博物館成る○遞信政務次官志賀和多利罷む

八月 十一日

百貨店自制協定成る○牧野良三を遞信政務次官と爲す○米國大統領フーヴァーは

日露漁業特別協定成る

八月 十二日

禁酒法再緩和を言明す
政治家紺野九右衛門歿す年五十五

八月 十三日

日露漁業交渉成立し、特別協定の調印成る○理學博士西部増次郎歿す年四十一

八月 十四日

○俳人岡野知十歿す年七十三 句界風聞記、雨華抱一、英一蝶、與謝野蕪村、酒井抱一、句題畫題、司馬江漢、狩野探幽、圓山應舉
東京市魚市場組合對鮮魚買出人組合との爭議決裂し、買出人側遂に不買同盟を行ふ

伊井蓉峰歿す

八月 十五日

新派俳優伊井蓉峰歿す年六十二 日本の演劇の花、牛若丸

八月 十六日

柔道家松井百太郎歿す年七十

八月 十七日

岡山縣下船穂村にて屋臺船沈没して十三名溺死す○元勞農黨書記長細迫兼光を檢舉す

八月 十八日

全日本小賣業代表者大會を東京に開く○首相齋藤實暗殺陰謀事件に關し、醫學博士今牧嘉雄を起訴收容す○實業家酒井猪太郎歿す年五十四○陵墓研究家外崎拙居歿す年七十四

八月 十九日

爲替空前の大暴落し、遂に廿三弗台となる○我軍、南嶺附近に於て熱河軍と衝突す

八月 二十日

内相山本達雄、拓相永井柳太郎、文相鳩山一郎を召し、農漁山村貧困病者救療費として金四百八十萬圓を下賜せらる○駐滿特命全權大使武藤信義、東京を發して赴任の途に上る○經濟學者瀧本誠一歿す年七十四 經濟大典、衣食袋、歐洲經濟學史、利益分配法、日本經濟學說要領、商

瀧本誠一歿す

家の腐敗、日本經濟史、日本經濟典籍考、日本經濟思想史、經濟的帝國論、徳川理財會要

臨時議會召集

八月廿一日 陸軍中將建川美次を軍縮會議帝國全權と爲す○華嚴宗管長三宅英慶寂年六十四

八月廿二日 第六十三回帝國議會を召集す○三菱合資會社は義援金三百萬圓を政府に寄附す

○子爵花房太郎逝去年六十○樞密顧問官江木千之逝去年八十

天皇、親臨して帝國議會の開院式を行ひ給ふ○義務教育費國庫補助法案を發表す○國民精神文化研究所を開設す

八月廿四日 俳優坂東三津之助歿す年八十

八月廿五日 (貴)外相内田康哉、滿洲承認の決意を宣明す○伯爵鹿島秋麿歿す年二十七

八月廿六日 岐阜縣中津町に大洪水あり、流失家屋七十戸、埋沒家屋百十二戸に達す○駐滿全權大使武藤信義、奉天に到着す○小鼓の名手三須平司歿す年八十一

八月廿七日 首相齋藤實は議事停頓を焦慮し、政友會總裁鈴木喜三郎、民政黨總裁若槻禮次郎を訪ひ、圓滿進行を懇請す○社會大衆婦人同盟結成大會を東京芝協調會館に開く○活動俳優澤村四郎五郎歿す年五十六

八月廿八日 東京市日本橋魚河岸爭議解決す○政治家柵瀨軍之佐歿す年六十四

八月廿九日 帝國議會に三日間延長を命ぜらる○陸軍大將安東貞美逝去年八十○林學博士川瀨善太郎歿す年七十

八月三十日 軍縮會議海軍全權永野修身、歸朝す

八月卅一日 北滿水災罹災者に救恤金四萬圓を下賜せらる○(衆)時局匡救豫算案を可決す○

岐阜大洪水

國民精神文化研究所開設

八月三十日 軍縮會議海軍全權永野修身、歸朝す
八月卅一日 北滿水災罹災者に救恤金四萬圓を下賜せらる○(衆)時局匡救豫算案を可決す○

齋藤博を代理大使と爲し、米國に駐劄せしむ

九月 一日 赤羽、大宮間の省線電車開通す○帝都防護團、横濱、川崎聯合防護團の發會式を行ふ○陸軍中將荒時義勝を第九師團長と爲す

九月 二日 帝國議會、再び一日間の延長を命ぜらる○盛岡裁判所焼く

九月 三日 帝國議會、三たび一日間の延長を命ぜらる○(貴)滿洲派遣軍將士に感謝を決議す○京都共産黨の大檢舉を開始す○霞ヶ浦にて飛行機墜落し、永坂盛二郎大尉

廣島文理大教授助川己之七慘死す○世界一週獨逸飛行家グロナウ、根室に到着す

九月 四日 (衆)米穀法改正案を可決し、農村負債整理組合法案を否決す○前關東軍司令官本庄繁、門司に歸著す○構造社を解散す

九月 五日 帝國議會の開院式を行ふ○國際聯盟調査團リットン等、支那上海を出發して歸國す

九月 六日 商業組合法を公布す○不動産融資及び損失補償法を公布す○東京瓦斯會社重役鈴木寅彦を召喚し、横領嫌疑にて留置す

九月 七日 金銭債務臨時調停法、商品券取締法、製絲業法を各公布す○早大野球部、再び六大學リーグに復歸す○東京瓦斯會社社長岩崎清七を召喚留置す

九月 八日 前關東軍司令官本庄繁中將、同獨立守備隊司令官森連中將、同騎兵第一旅團長吉岡豐輔中將、歩兵第八旅團長村井清規少將等、東京に凱旋し、直ちに參内し

滿洲派遣軍感謝決議

商業組合法公布

製糸業法公布

九月 八日 前關東軍司令官本庄繁中將、同獨立守備隊司令官森連中將、同騎兵第一旅團長吉岡豐輔中將、歩兵第八旅團長村井清規少將等、東京に凱旋し、直ちに參内し

北海道大水害

九月 九日 定例閣議に於て滿洲國承認に決定す○瓦斯疑獄事件に關し前東京市助役白上祐吉を召喚す

九月 十日 首相齋藤實、外相内田康哉、參内して滿洲國承認に關する事情を委曲奏上す○北海道各地に大水害あり、侵水家屋一萬戸に及び、被害四千五百萬圓に達す

九月 十一日 東支鐵道南部線に於て匪賊列車を顛覆し、殺傷掠奪を行ひ、日本兵五名戦死す

九月 十二日 海軍中將小松直幹逝去去年五十八○醫學博士土田卯三郎歿す年六十六

九月 十三日 瓦斯疑獄事件に關し貴族院議員奥田龜造を召喚す

九月 十四日 日本・エチオピア修好通商條約を公布す○駐滿特命全權大使武藤信義、新京に入る

滿洲國承認

九月 十五日 帝國政府は、滿洲國承認に關し一切の權益を確認して共同防衛を約す旨を聲明す○新京執政政府に於て日本全權大使武藤信義、滿洲國國務總理鄭孝胥との間に滿洲國正式承認の議定書調印成る○滿洲國承認の日滿議定書を發表す○朝日新聞飛行士酒井憲次郎、片桐庄平、日本海にて遭難し行方不明と成る

九月 十六日 支那國民政府は日本の滿洲國承認に對し抗議を提出す○大審院に於て李奉昌に係る櫻田門大逆事件の特別公判を開く

九月 十七日 河合彌八を帝室會計審査局長官に、廣幡忠隆を皇后宮太夫兼侍從次長に、杉榮三郎を帝室博物館總長に、大島義脩を宮中顧問官と爲す○眼科病學者大西克知歿す

す年六十八

九月十八日 靖國神社に於て滿洲事變戦死者慰靈祭を執行す

九月十九日 小學校費臨時補助施行規程を定む○實業家住友吉左衛門、社會教化事業に百萬圓を寄附す○政治家江木翼逝去去年六十拓殖政策、膠州膠論、比例代表の語、自治之模範

江木翼逝く

九月 二十日 東京府教化團體聯合會主催の大講演會を日比谷公會堂に開く○小野塚喜平次、三上參治、田中館愛橘、藤澤利喜太郎を貴族院議員と爲す○空の赤化陰謀暴露し、東京洲崎飛行學校長上田光雄等を檢舉す

九月 廿一日 日本學術振興會を創立す○樞密院會議を開き、官吏身分保障案を可決す○民政黨關東大會を日比谷公會堂に開く

田丸卓郎歿す

九月 廿二日 美術評論家本方秀麟歿す年五十二○理學博士田丸卓郎歿す年六十一 ロイヤル文學の研究、中等教育物理學講義、力學の教科書、物理學教科書、物理學教科書

報知日米號行方不明

九月 廿四日 文官分限委員會官制を公布す○日露石油賣買協定の調印成る○吉原清治の報知日米號は北太平洋横斷のため淋代を出發し、行方不明と爲る○東京瓦斯會社社長岩崎清七、出所す

九月 廿五日 日本勞働組合會議の結成大會を東京芝浦會館に開く○元遞信次官湯河元臣歿す年六十八 明治時代船船發達徑路

九月 廿六日 京都名利誓願寺炎上す○ギリシヤ代表ボリチスは國際聯盟總會議長と爲る

九月 廿七日 農村經濟更生生部官制を公布す○日滿合辦の滿洲航空會社成立す○國際聯盟書記

長アース、來朝す○瓦斯疑獄事件に關して東京市會議長大神田軍治、代議士高橋義次を收容す

九月廿八日 西藏遂に獨立宣言の報あり

九月廿九日 滿洲國初代代表鮑觀澄、來朝す

九月三十日 大審院に於て櫻田門外大逆事件の犯人李奉昌に死刑を宣告す

十月 一日 金錢債務調停法を實施す○東京市に隣接五郡八十二町村を合併し、品川、目黒

荏原、大森、蒲田、杉並、豊島、瀧野川、荒川、王子、板橋、向島、城東、葛

飾、足立、淀橋、中野、澁谷、江戸川、世田ヶ谷の二十區を新設し、大東京市

實現す○社團法人帝國軍用犬協會を創設す○群馬縣白根山大爆發す

外務省、リットン報告書を發表す○第三十八旅團、滿洲より凱旋す

十月 三日 イラク、獨立國となる○武装移民團四百三十二名、東京を發し滿洲に赴く

十月 四日 我軍、洮昂鐵道沿線に於て匪賊一千八百名を擊滅す

十月 五日 農山漁村經濟更生計畫助成規則を定む

十月 六日 滿洲國代表鮑觀澄、參内して謁見す○愛媛縣別子銅山に大火あり○共產黨三人

組ピストル怪盜、川崎第百銀行大森支店を白晝襲ひ、三萬餘圓を強奪逃走す

十月 七日 和歌山縣三輪崎町大火あり、百二十一戸焼く○工學博士青木元五郎歿す年七十

八

十月 八日 國立公園は(北海道)阿寒、(同)大雪山、(青森、秋田)十和田、(下野)日光、

定 國立公園決

初代滿洲國代表參内

リットン報告書發表

金錢債務調停法實施、大東京市實現

國立公園決

大逆犯人李奉昌死刑

松岡洋右國際聯盟帝國代表となる

山崎闇齋に贈位

(静岡)富士、(長野)日本アルプス、(奈良、和歌山)吉野及び熊野、(鳥取、岡山)大山、(熊本)阿蘇、(長崎)雲仙、(鹿児島)霧島、瀬戸内海の十二ヶ所に正式決定す○王子製紙株式會社、富士製紙株式會社、樺太工業株式會社の大合同成る○東京、日本大學醫科學生の盟休事件起る○文學者山口剛歿す年四十九

春秋左氏傳、西鶴好色本研究、爲永春水研究、桃花扇傳奇、日本文學史概説、斷碑斷章、江戸文學と都市生活、江戸文學研究、西鶴一茶成美

十月 九日 我軍、匪賊を擊退し富拉爾基を占據す

十月 十日 海軍大將山本英輔を軍事參議官に、中將野村吉三郎を横須賀鎮守府司令長官と爲す○全國を恐怖せしめたる川崎第百銀行大森支店襲撃の三人組強盜今泉善一

中村經一、西代義治を捕縛す○大逆犯人李奉昌の死刑を執行す○尺八の名人水

野呂童歿す年五十三

十月 十一日 百貨店委員會官制、發明獎勵委員會官制成る○松岡洋右を國際聯盟總會の帝國

代表と爲す

十月 十三日 數學者松井喜三郎歿す年六十四

十月 十四日 横須賀に於て海軍少年航空兵第一回卒業式を行ふ○ソヴェト聯邦は東支鐵道チ

チハル以西滿洲里間を無條件にて我軍の利用に解放す

十月 十五日 製絲業法施行規則を公布す○故山崎闇齋に從三位を追贈す○私學獎勵の思召を

以て、早稻田大學に金一千圓を下賜せらる○東京、山口貯水池の通水式を行ふ

○國民精神文化研究所の入所式を行ふ○貴族院議員小松謙次郎逝去去年七十○實

現

贈位

滿洲國答禮使來朝

十月十六日 滿洲國答禮使謝介石、下關に來朝す○子爵五辻治仲逝去年六十六
十月十七日 我軍、桓仁に入城す○第一回全東京市小學校陸上競技大會を神宮外苑に開く○
東京、早稲田大學創立五十年祭を行ふ

十月十八日 滿洲國特使謝介石、入京す

十月十九日 滿洲國特使謝介石、參内して執政の親書を捧呈す

十月二十日

大日本赤子會の發會式を行ふ○實業家三谷長三郎、國防費として金百萬圓を陸
海軍に寄附す○前代未聞の怪奇事件として天下の視聽を集めたる東京向島八ッ
斬事件の犯人長谷川市太郎を捕ふ○俳優市川吉三郎歿す年五十三

十月廿一日

國際聯盟總會帝國代表松岡洋右、東京を出發す○特命全權公使笠間昶雄を葡萄
牙に駐劄せしむ○神道學者補永茂助歿す年五十二 英文日本國民精神
日本倫理思想系統

十月廿二日

石川縣小松町大火あり、一千百二十二戸焼く

十月廿四日

日滿國民大交驛會を日比谷公會堂に開く

十月廿五日

警視總監藤沼庄平、東京市電爭議に強制調停を宣言す

十月廿七日

實業家瀧定助歿す年六十

十月廿九日

對時局帝國在郷軍人全國大會を日比谷公園に開く○佐野學、三田村四郎等百八
十六名に係る第二次共產黨事件の判決あり○滿洲里の監禁日本人百二十名救助
さる

帝國在郷軍人全國大會

小松町大火

新生共產黨事件起る

十月三十日 滿洲國駐劄特派全權部及び關東軍司令部を奉天より新京に移す○新生共產黨事
件起り、檢舉總數二千二百名に達す

十月卅一日

私學獎勵のため、財團法人恩給財團へ補助金五萬圓を賜ふ○瀆職事件に關し代
議士國枝捨次郎、東京市會議員北條彦四郎、山口久吉を收容す

十一月一日

巡查分限令を實施す○長春日本總領事館を新京日本總領事館と改む○滿洲國特
使謝介石、神戸より歸國す○滿洲航空會社の營業を開始す

十一月二日

房總線譽田驛にて列車衝突し、死傷者三十二名を出す

十一月三日

飛行家青木梅藏、大阪を出發し、日滿兩國連絡最初の航空郵便に成功す

十一月四日

金澤歩兵第七聯隊兵營火く○軍縮會議海軍全權永野修身、東京を出發す

十一月五日

大東京市新二十區最初の市會議員選舉を行ふ○滿洲國軍政總長張景惠、侍從武
官長張海鵬、護路軍總司令于琛徵等、大演習陪觀のため來朝す○五・一五事件
に關し天行會長頭山秀三を檢舉す

十一月六日

獨逸國會總選舉を行ふ、ヒトラー派、第一黨となる

十一月七日

松島肇を特命全權大使と爲し、伊太利に、太田爲吉を特命全權大使と爲し、ソ
ヴェト聯邦に駐劄せしめ○陸軍中將新井龜太郎逝去年五十八○理學博士中村敬
三歿す年四十

十一月八日

天皇、新宿御苑に行幸あり、觀菊御會に臨み給ふ○滿洲國軍政總長張景惠、侍
從武官長張海鵬、參内して謁見す○米國、ルーズヴェルト、大統領に當選す○

米穀統制調査會官制

十一月九日 數學者石上錄之助歿す年六十二
米穀統制調査會官制を公布す○日本に於て滿洲國建設公債三千萬圓を發行に決す○英語學者山口鍾太歿す年六十二

十一月十日 天皇、大阪に行幸あり○來る十二月廿四日を以て帝國議會召集の詔書を公布す
十一月十一日 移住教養所官制を公布す○警視廳に於て東京市對市電從業員の勞働爭議の調停成る

十一月十二日 鑛業稅半額地方委讓法を公布す○關東廳財務部を財務局と改稱す○戰友共濟保險會社、第一徵兵保險株式會社に合併す○新生共產黨事件に關し東京地方裁判所判事尾崎陞を檢舉す

關東大暴風雨

十一月十四日 天皇、大阪城東練兵場に行幸あり、特別大演習觀兵式を行ひ給ふ○關東各地に大暴風雨あり、東京市、浸水家屋四萬百三十七戸、倒潰家屋七十八戸、横濱市、死者十六名、全潰家屋四百二十四戸に達す○静岡縣富士郡元吉原村大火あり、二百五十戸焼く○茨城縣太田町大火あり、百五十戸焼く○音樂家東儀民四郎歿す年五十七

十一月十五日 天皇、桃山陵に御親謁あり

十一月十六日 天皇、二府五縣の青年男女八萬人を御親閱あらせらる

十一月十七日 天皇、大阪より還幸し給ふ

十一月十八日 我軍、拜泉總攻撃を開始す

拜泉占據

十一月二十日 帝國政府はリットン報告の認識不足を訂正したる意見書を發表す○明治神宮外苑にて護國義勇團の發會式を行ふ○我軍、拜泉を占據す○海軍中將種子田右八郎逝去年七十

國際聯盟理事會を開く

十一月廿一日 國際聯盟理事會を開く、帝國首席全權松岡洋右はリットン報告書の誤を正し、日本の決意を表明す○東京市會疑獄事件に關し、更に市會議員鹽月學、山田種三郎、高橋庄之助、大野傳吉、中川重政を收容す

十一月廿二日 鑄金家秦藏六歿す年七十九

十一月廿四日 大藏省預金部を外局と爲す

十一月廿五日 政治家菊池侃二歿す年八十三

十一月廿六日 天皇、海軍大學校に行幸あり○内臺人婚姻許容令を公布す

十一月廿七日 滿洲國軍政總長張景惠等退京す○子爵福岡秀猪逝去年六十二

十一月廿八日 徵兵六十周年記念日により、優渥なる勅語を賜ふ○伊豆十國峠航空燈臺成る○滿洲國司法總長馮涵清、來朝す

十一月廿九日 天皇、陸軍大學校に行幸あり○東京、日伯中央協會を設立す○露佛兩國不可侵條約の調印成る

在滿日本大使館開設

十一月三十日 在滿日本大使館を開設す○特命全權大使武藤信義をして滿洲國に駐劄せしむ○我軍、北滿の叛軍總攻撃を開始す○海軍少將枝原百合一、寺島健、加藤隆義、長谷川清、松下元、植村茂夫、河野董吉、小野寺恕、村田豊を中將と爲す○政

札蘭屯占據

十二月 一日 治家森田茂逝去年六十一
 我軍、札蘭屯を占據す○海軍大將山梨勝之進を軍事參議官に、中將中村良三を
 吳鎮守府司令長官に、左近司政三を佐世保鎮守府司令長官に、米内光政を第三
 艦隊司令長官と爲す○支那國民政府、再び洛陽より南京に移る
 十二月 二日 東京、日滿兒童協會を創設す○我軍、興安嶺東方の要害ジャラントン、ジンギ
 スカン、展子山を占據す○陸軍中將山田四郎逝去年六十五○我國製鋼機の發明
 者西口利平歿す年六十三
 十二月 三日 歲末の救貧事業に金三萬圓を下賜さる○我軍、ブハトを占據し、大興安嶺を越
 えて進撃す

ハイラル占據

滿洲里入城

十二月 四日 我軍、疾風の如く大舉してハイラルに迫る○工學博士渡邊嘉一歿す年七十五
 十二月 五日 我軍、ハイラルを占據し、反軍總司令蘇炳文、馬占山、露領に遁走す○臺灣北
 方に於て驅逐艦早蕨沈没し、艦長門田健吾少佐以下百五名殉死す
 十二月 六日 我軍、滿洲里に入城す○都城市に於て九州國都線の開通式を行ふ○陸軍中將山
 田保永逝去年八十三
 十二月 七日 陸軍少將廣瀨猛、高橋眞八、石井英橋、木村恒夫、中岡彌高、井上達三、三木
 善太郎を中將と爲す○醫學博士阿久津三郎歿す年六十 男子生殖器の話、泌尿生
 殖病編、泌尿器病彙録
 十二月 八日 滿洲國司法總長馮涵清、參内し謁見す○滿洲國に帝政運動起る○山海關附近に
 於て日支兩軍衝突す

青山熊治歿す

十二月 九日 岡本武三を特命全權公使と爲し、ベルシアに駐劄せしむ 工業經濟論、工場法と労働保
 險、歐洲労働問題の大勢、歐
 洲最近の社會問
 題、市町村制
 十二月 十日 實業家堀達歿す年七十三○法學博士桑田熊藏歿す年六十五
 十二月 十一日 滿洲國司法總長馮涵清、退京す○政治家森恪逝去年五十○陸軍中將有田恕逝去
 年六十九○洋畫家青山熊治歿す年四十七
 十二月 十二日 閣議にて外貨評價委員會官制を決定す○露支國交回復發表さる○實業家井戸繁
 三郎歿す年六十九
 十二月 十三日 全國青年篤農家大會を東京に開く○全國大學教授聯盟の發會式を東京會館に行
 ふ

白木屋焼く

十二月 十四日 秋田縣能代町大火あり、二百九十戸焼く
 十二月 十五日 大森吉五郎を京都市長と爲す○露。支不侵略條約の調印成る○メキシコ政府、
 國際聯盟を脱退す
 十二月 十六日 東京、白木屋本店火く、店員十四名焼死し、重傷者四十六名に達す○東京玉川
 電車従業員二百五十名、總罷業に入る
 十二月 十七日 東京玉川電車従業員爭議解決す
 十二月 十九日 上海爆彈事件の兇漢尹奉吉を金澤にて銃殺に處す
 十二月 二十日 東京市會大疑獄事件の三木武吉を懲役三ヶ月に、中島守利を同五ヶ月に、正力
 松太郎を同二ヶ月に、大野敬吉を同七ヶ月に、瀬川光行を同三ヶ月に、矢野鉉

東京市會大疑獄事件判決

吉を同四ヶ月の控訴判決あり○前獨逸皇帝ウイルヘルム二世の獨逸へ歸國禁止を解く

十二月廿一日 新潟縣糸魚川町大火あり、四百二十戸焼く○元鐵道大臣山之内一次逝去年六十

十二月廿二日 國民同盟の結盟式を日比谷公會堂に行ひ、安達謙藏を總裁に推戴す

十二月廿三日 朴泳孝、柴田善三郎、黒田英雄を貴族院議員と爲す○朝鮮佛教普及會を東亞佛教協和會と改稱す○東京深川富川町の細民アパート全焼し、二十二名焼死す○駐滿特命全權大使武藤信義は新京執政府に於て信任狀を捧呈す

十二月廿四日 體育運動審議會官制を公布す○第六十四回帝國議會を召集す○工學博士進經太歿す年六十九

十二月廿六日 天皇、親臨して帝國議會の開院式を行ひ給ふ○岡田良平を文制審議會副總裁と爲す

十二月廿七日 高松宮宣仁親王を日伯中央協會總裁に奉戴す○醫學博士今牧嘉雄外三名に係る齋藤首相暗殺陰謀事件の豫審決定す

十二月三十日 大阪毎日新聞社長本山彦一逝去年八十○我國の上下水道工事の先覺者濱野彌四郎歿す年六十四

十二月卅一日 俳優助高屋金五郎歿す年五十二
昭和八年 癸酉 皇紀二五九三年 西曆一九三三年

山海關占據

正月 一日 山海關に於て日支兩軍衝突す○小説家寺尾幸夫歿す年四十五 結婚適齡記、細君經濟記、愛は何所まで、夫唱婦隨、放記

正月 二日 我軍、山海關を占據す

正月 三日 貴族院議員内田嘉吉逝去年六十八 國民海外發展策、國民保健論、本邦海運發達の概況、安全第一生活法、地學新編

正月 四日 僧伊藤日修寂す年八十七

北滿鎮定

正月 五日 我軍、ボグラニチナヤ市に入城し、北滿の匪賊討伐終る○我國バルブ工業創始者小笠原菊次郎歿す年五十九○禁酒運動家根本正歿す年八十三 日本外債事情、歐米貧兒出世美談、歐米女子立身傳、米國地方制度、米國青年立身傳、米國國民論

正月 六日 小説家小島勗歿す年三十四

正月 七日 第二師團長多門二郎、東京に凱旋す

正月 八日 天皇、代々木練兵場に行幸あり、觀兵式を行ひ給ふ○我空軍、熱河侵入軍に大爆撃を行ふ

虎林占據

正月 九日 天皇、皇后、葉山に行幸啓あり○海軍大臣岡田啓介罷む○大角岑生を海軍大臣と爲す○特命全權大使永井松三を獨逸に、同公使松永直吉を洪牙利に駐劄せしむ○齋藤博を特命全權公使と爲し、和蘭に駐劄せしむ○我軍、虎林を占據す、叛軍の首領李杜、露領に遁走す

正月 十日 我軍、九門口を占據す○東京商科大學教授大塚金之助を檢舉す○教育家依田豊歿す年五十八

陸軍少年航空兵制度發表

正月十一日 日印間無線通信を開始す○陸軍省は熱河省討伐に關し、他の干渉を許さずと聲明す
正月十二日 陸軍少年航空兵制度を發表す○我軍、永安堡を占據す○元京大教授法學博士河上肇を檢舉す○關東國粹會總長木田伊之助逝去去年六十七○教育家瀧澤菊太郎歿す年八十

内鮮電話開通式

正月十三日 米國大統領フーヴァ、教書を議會に送り、フィリッピン獨立法案を拒否す
正月十四日 大阪、京城間の内鮮電話開通式を大阪にて行ふ
正月十五日 内地、朝鮮間の連絡電話を開始す○米國政府は滿洲國不承認主義を列國に通告す

正月十六日 皇太后、九條道孝邸に行啓あり○臨時米穀統制委員會を朝鮮に設置す○首相齋藤實は政友會總裁鈴木喜三郎、民政黨總裁若槻禮次郎を歴訪し、積極的援助を求む

正月十七日 米國上院にて比島獨立案を可決す

正月十八日 東京市助役十時尊、保健局長石橋政治を召喚し收容す○東京市長永田秀次郎、責を負ひて辭職す

九條道實薨す

正月十九日 法制局長官堀切善次郎をして資源局長官を兼しむ○公爵九條道實薨す年六十五
正月二十日 政友、民政兩黨各大會を開き、現内閣支持を決議す○岡田良平を文政審議會副總裁と爲す○バラゲワイ國、ボリグイア國と開戦す○滿洲國政府は熱河討伐の

重大決意を表明す

正月廿一日 宮中歌御會始あり、勅題「朝海」

正月廿二日 蠶體病學者立石亨歿す年四十六

堺利彦歿す

正月廿三日 第二師團長多門二郎、第三十八旅團長依田四郎、參内して軍狀を奏上す○社會運動家堺利彦歿す年六十四 猫の首つり、家庭の新風味、枯川隨筆、日本主義と社會主義、通科學へ、地震國、樂天四人、屋空、野あそび、はだか男、理想境、難波土産、因果物語、破れ羽織、黒暗々

正月廿四日 愛媛縣深浦に於て定期船沈没し廿五名溺死す○代議士横山一格歿す年五十四

正月廿五日 (衆) 陸海派遣軍に對する決議案並に國際聯盟會議帝國代表に對する感謝決議案を各可決す○銀行家若尾謹之助逝去去年五十二○陸地測量の權威者陸軍少將田坂虎之助歿す年八十四

正月廿六日 大亞細亞協會を創立す○南洋開拓の先覺者細谷十太郎歿す年七十○印度哲學者渡邊海旭歿す年六十二 歐米の佛敎、維摩詰所説經、金光明最勝王經

大亞細亞協會創立

正月廿七日 工學博士山川義太郎歿す年七十八○獸醫學博士池田宏歿す年七十

正月廿八日 三條公輝を掌典長と爲す

正月廿九日 木版彫刻家伊上凡骨歿す年五十八

正月三十日 獨逸國粹社會黨首領アンドルフ・ヒトラー、新内閣を組織す○貴族院議員鍋島桂次郎逝去去年七十四○義太夫界の元老竹本朝太夫歿す年七十八

復活區裁判所開設

二月 一日 緊急重大閣議を開く○伊勢松坂町に市制を施行す○復活區裁判所の事務を開始

二月 二日 上海事變の戦死者六百四十五名の論功行賞を發表す○井上日召等十五名に係る

血盟團事件の豫審決定す

大谷嘉兵衛
歿す

二月 三日 實業家大谷嘉兵衛歿す年九十壽清紀行、歐米漫遊日記、處世の活歴 ○大成教管長井上信鐵歿す年七十

長野共産黨
事件

二月 四日 長野縣下に於て共産黨事件發覺し、赤化小學校教員二百八名を檢舉し、關係學校六十五校に達す○前拓務大臣秦豊助逝去年六十二

高山紀齋歿
す

二月 五日 東京齒科醫專の創立者高山紀齋歿す年八十六保齒新論、齒牙解剖圖、齒牙養生法、同業物摘要、衛生保齒問答、齒科手術論、同況論、齒科藥物學、第五對齒神經、解剖篇、齒科冶金考

二月 六日 工學博士南部常次郎歿す年六十九 ○小説家三木愛花歿す年七十三相撲史傳、名將佳人夢、後八犬傳、日本相撲史、遠征奇緣、奇遇之

二月 七日 對國際聯盟緊急國民大會を東京日比谷公會堂に開く

二月 八日 追加豫算法を公布す○館山灣にて海軍飛行艇墜落し、進信藏少佐外二名慘死す

○陸軍中將西島助義逝去年八十七

二月 九日 陸軍省より、熱河省討伐は滿洲國主權の發動なる旨を聲明す

二月 十一日 宮崎縣延岡町、千葉縣銚子町に各市制を施行す○東亞問題先覺志士慰靈祭を東

京日比谷音樂堂にて行ふ○工學博士五十嵐秀助歿す年七十六

二月 十二日 川柳の大家近藤飴ん坊歿す年五十七新川柳分類一萬句、川柳女性一萬句

二月 十三日 政友會總裁鈴木喜三郎は、對外情勢の緊迫により首相齋藤實を訪問し、政府の

對策を質す

二月 十四日 小西重直を京都帝國大學總長と爲す○國際聯盟十九國委員會に於て、日本軍を

滿鐵附屬地帯へ撤退せしむるを先決條件とせる勸告案を可決す○コロンビア國

ベルー國と開戦す

二月 十五日 宮内大臣一木喜徳郎を罷め、湯淺倉平をして之に代らしむ○河野秀男を會計檢

査院長と爲す○關東軍司令官武藤信義は重大聲明を發す

二月 十六日 相撲年寄千賀浦五郎次歿す年五十一

二月 十七日 緊急閣議を開き、國際聯盟の勸告案反對、熱河討伐を正式決定す

二月 十八日 (衆) 議會振蕩案を可決す○滿洲國、遂に熱河省討伐を聲明す

二月 十九日 首相齋藤實は興津坐漁莊に元老西園寺公望を訪ひ、國際聯盟の勸告案に對する

帝國政府の重大決意を報告す

二月 二十日 臨時重大閣議を開き、聯盟總會にて勸告案通過の曉は帝國は敢然聯盟脫退に決

定す○小説家小林多喜二歿す年三十一東俱知安行、不在地主、蟹工船、地區の人々、轉形期の人々、工場細胞、オルグ

二月 廿一日 對國際聯盟國民大會を東京日比谷公園に開く○陸軍中將布施慶助逝去年六十九

帝國政府は南京政府に對し、熱河の支那兵撤去要求の重大警告を發す○海軍當

局は、聯盟脫退するも南洋委任統治の主權は日本に在り、との非公式聲明をな

す○我軍、北票を占據す

二月 廿三日 巡查分限令、巡查懲戒令を各公布す○獸醫學博士須藤義衛歿す年七十四

關東軍重大
聲明

熱河討伐聲
明

聯盟脫退に
決す

北票占據
巡查分限令
巡查懲戒令
公布

綏東占據

朝陽占據

文豪シヨウ
來朝

赤峰占據

三陸地方大
地震

二月廿四日 海軍大將谷口尙眞に特命檢閲使を仰付らる○國際聯盟總會に於て四十二對一票にて勸告案を可決し、日本代表松岡洋右等、退場す○神戸刑務所火く○我軍、綏東を占據す○滿洲國軍、遂に開魯を占據す

二月廿五日 關東軍司令官武藤信義は熱河討伐を聲明す○滿洲對策同志會の發會式を東京九段偕行社に行ふ○我軍、朝陽、下窪を占據す○滿洲國軍に總攻撃令下る○日本代表松岡洋右等、ジュネーヴを退去す○帝國興信所々長後藤武夫歿す年六十三帝國銀行會社要録、帝國信用録、至誠教の教理、後藤武夫傳、高山彦九郎先生傳

二月廿六日 外務省より、帝國政府の國際聯盟提出の陳述書發表さる

二月廿七日

大谷正男を宮内次官と爲す○佐世保に於て我海軍最初のベウなし驅逐艦初春の進水式を行ふ○英國文豪バーナード・シヨウ、來朝す○英國外相サイモンは對日支武器の輸出禁止斷行を聲明す

二月廿八日

我軍、沙帽山を占據す○東京控訴院に於て故濱口雄幸狙擊事件の佐郷屋留雄に死刑の判決あり

三月 一日

海軍中將小林躋造、野村吉三郎を大將と爲す○大亞細亞協會創立大會を東京會館に開く○我軍、赤峰、建平、凌源を占據す

三月 二日

我軍、四道溝を占據す○英文學者繁野天來歿す年六十かさね妻、白菊、こがらし、あぐり、こり、足の跡、美人像、老母嘆、こいます、あひ、江戸川心中、二人乗、ひよつ

三月 三日

我軍、平泉を占據す○東北三陸地方に大地震あり、(岩手縣) 倒壊家屋九百七十

承德占據
欒平占據

古北口占據

長城線總攻
擊

三月 四日 一戸、流失家屋二千四百五十三戸、焼失家屋二百一十一戸、死者一千三百八十人(宮城) 流失家屋四百四十戸、倒壊家屋二百八十三戸、死者百三十六人に達す 東北罹災者救恤の爲め、岩手縣へ三萬圓、宮城縣へ八千圓、青森縣へ千五百圓 北海道へ二百圓を下賜せらる○我軍、承德を占據す

三月 五日 我軍、欒平、喜峰口を占據す○米國大統領ルーズヴェルト、遂に金輸出禁止を宣告す

三月 六日

我軍、長城の一線古北口を占據す

三月 八日

外相内田康哉、參内して國際聯盟退通告文の内容を委曲奏上す○(貴) 空前の非常時豫算(二十二億三千九百萬圓) を可決す○熊本天使園長ファイルベルト マテボルジャ逝く年八十三

三月 九日

米國大統領ルーズヴェルト、再び金輸出無期限禁止を宣言す○英國文豪シヨウ 横濱より歸國す○作曲家奥好義歿す年七十七君が代、金剛石、勇敢なる水兵、天長節、婦人從軍歌、修學習業

三月 十日

我軍、長城線の總攻撃を行ふ○支那、銀本位制を實施す

三月 十一日

張學良、遂に下野を發表し北支の政局大轉換をなす

三月 十二日

張學良、北平を出發し上海に去る

三月 十三日

堀切善次郎を内閣書記官長に、黒崎定三を法制局長官と爲す○堀尾利信を東京驛長と爲す○代議士鈴木寅彦、大神田軍治、國枝捨次郎、鹽月學外二十七名に係る東京大疑獄事件の豫審決定す○英國政府は日支兩國への武器禁輸を解除す

船舶安全法

三月十五日 ○小説家佐々木俊郎歿す年三十四 黒い地帯、熊の出る開墾地、平等の芽生、無智、謎、新しき異人、内親の情愛、逃走、飛び廻る蠅、大龍、緑の芽、桐の花、蝙蝠

三月十六日 代議士三木武吉、藤田若水、松永東、戸澤民十郎、民政黨に復歸す

三月十七日 萬國婦人子供博覽會を東京に開く○東京、淺草寺の落慶式を行ふ○元大阪府知事力石雄一郎歿す年五十八

吉野作造歿す

三月十八日 陸軍中將松井石根を軍事參議官に、林仙之を東京警備司令官に、森連を第一師團長に、蒲穆を第十六師團長に、原田敬一を第十一師團長に、牛島貞雄を第九師團長に、大谷一男を第十二師團長と爲す○陸軍少將淺田禮二、筒井正雄、古莊幹郎、稻垣孝照、島永太郎、清水喜重、香月清司、飯田恒次郎、市瀬源助を中將と爲す○法學博士吉野作造歿す年五十六 日本交渉論、歐洲動亂史論、支那革命史、現代の政治、普通選舉論、戰前の歐洲、現代政局の展望、公人の常識、問題と解決、主張と閑談、斯く信じ斯く語る、無流政黨の迫るべき道、極東の民族、露國歸還の漂流民幸太夫

三月十九日 英佛伊獨の新四國協定成る

三月二十日 ソヴェット特命全權大使コンスタンティン・ユレニエフ、參内して信任狀を捧呈す○(貴) 警官優遇建議案を可決す○工學博士的場中歿す年七十八

三月廿二日 解剖學者小山龍德歿す年七十四

獨逸ナチスの獨裁成る

三月廿三日 産業統制法施行細則を改正公布す○(貴) 米穀法案を可決す○獨逸首相ヒトラー、完全なる獨裁權を握り、ナチスの霸業遂に成る

三月廿四日 (貴) 時局に關する決議案を可決す○(衆) 思想對策に關する決議案を可決す

三月廿五日 (貴) 製鐵合同案、農村負債整理組合法案を各可決す

三月廿六日 帝國議會の閉院式を行ふ

國際聯盟脫退の詔書

三月廿七日 樞密院御前會議を開き、國際聯盟脫退御諮詢案を可決す○國際聯盟脫退の詔書を煥發せらる

三月廿八日 皇后、女子學習院に行啓あり

米穀統制法公布

三月廿九日 農村負債整理組合法、米穀統制法、外國爲替管理法、農業動産信用法、駐滿海軍部令、宇品港域軍事取締法を各公布す○工學博士川上浩二郎歿す年六十一

三月三十日 貴族院議員淺田德則逝去年八十六

三月卅一日 皇太后、沼津に行啓あり○藥草學の權威木村彦右衛門歿す年五十五 植物解剖生理學

三月 中 舞踏教授所及び舞踏教師取締規則を定む

重要美術品保存法公布

四月 一日 重要美術品保存法を公布す○駐滿海軍部を新京に設置す○埼玉縣熊谷町、同川口町、宮城縣石巻町、山形縣酒田町、北海道帶廣町に各市制を施行す○我軍、石門砦、蔣家庄を占據す○獨逸に猶太人排斥運動起る○漫畫家吉岡烏平歿す年四十 お目出度い群當世百馬鹿

四月 二日 首相齋藤實は興津に元老西園寺公望を訪ひ、重要會見を行ふ

四月 三日 藏相高橋是清の辭職問題起る

四月 四日 南洋群島の行政執行法を公布す○政府代表吉阪俊藏、赤松小寅、使用者代表渡邊鍊藏、労働者代表坂本孝三郎を國際労働會議帝國代表と爲す○米國海軍の最

大航空船アクロン號は大西洋に墜落し七十四名慘死す○齒科醫學者福島尙純歿す年五十五

口腔外科學、口腔外科臨床講義集、袖珍外科學、披瀝創の合理的處置、黴毒と口腔齒牙、女性と口腔齒牙、六歳臼齒問題

四月 五日 醫師法を改正公布す○司法大臣小山松吉、司法官赤化問題に關し辭表を提出す

○皇道會の結成式を東京赤坂三會堂に行ふ○米國大統領ルーズヴェルト、金輸出禁止令を緩和する旨發表す

四月 六日 日本製鐵株式會社法を公布す○陸軍中將本庄繁を侍從武官長と爲す○軍縮會議帝國海軍全權永野修身歸朝す○米國政府、アルコールを解禁す

四月 七日 優詔を拜して司法大臣小山松吉留任す

森田恒友歿す
四月 八日 群馬縣尾島にて海軍飛行機墜落し、白濱重豊大尉慘死す○洋畫家森田恒友歿す

平野雜筆、恒友畫談

恩給法改正
四月 九日 女子教育家秋田爲子歿す年七十三

四月 十日 恩給法を改正公布す○我軍、長城全線に亘りて總攻撃を開始す

四月 十一日 北海道余市町大火あり、二百十五戸焼く○我軍、建昌營を占據す

四月 十二日 我軍、瀋東を占據す○印度政府より來る十月十日を以て日印通商條約の廢棄を通告し來る

陸軍特命檢閱令公布

四月 十三日 陸軍特命檢閱條例を廢止し、陸軍特命檢閱令を公布す○陸軍大將林銑十郎、渡邊錠太郎に特命檢閱使を仰付らる○靖國神社の大石鳥居成る○工學博士福島縫次郎歿す年六十一

遷安占據

四月 十四日 我軍、遷安を占據す

四月 十五日 熱河省平定の關東軍に勅語を賜ふ○我軍、永平、海陽鎮、撫甯を占據す○大燈國師に玄覺浩淵國師を加諡さる○實業家阿部吾市歿す年六十一

四月 十六日 佛國女流飛行家マリーズイルズ、飛來す

四月 十七日 我軍、安山街を占據す

四月 十八日 秩父宮雍仁親王を學術振興會總裁に推戴す○我軍、秦皇島を占據す

秦皇島占據
四月 十九日 日蘭仲裁裁判條約の調印成る○米國大統領ルーズヴェルト、再び金輸出禁止を聲明す

旅順要港部復活

四月 二十日 旅順要港部を復活す○敦圖線開通し日滿連絡新幹線成る○實業家馬越恭平逝去す年九十○洋畫家木村啓男歿す年三十七

長岡外史逝

四月 廿一日 我國航空界の元勳陸軍中將長岡外史逝去去年七十六○隧道工事の權威池原英治歿す年四十七

四月 廿二日 千葉縣習志野に陸軍習志野學校を新設す○我軍、南天門を占據す○世界經濟豫備商議を米國紐育に開く

四月 廿三日 土耳其駐劄大使吉田三郎客死す年五十六

四月 廿四日 駐日滿洲國代表鮑觀澄歸國す○文章家岩下小葉歿す年五十

小公子、秘密の花園、心の故郷、屋根裏の王女

四月 廿五日 一木喜徳郎、奈良武次に男爵を授く○海軍中將長谷川清を軍縮會議全權委員と爲す○子爵渡邊七郎逝去去年四十八

松岡全權歸朝

四月廿六日 外國爲替管理法施行令を公布す
四月廿七日 天皇、皇后、靖國神社に行幸啓あり、親しく殉國の忠靈を慰め給ふ○國際聯盟帝國代表松岡洋右、國民嵐の如き歡迎裡に歸朝す○支那政治家岑春煊逝く年七十三

四月廿八日 國際聯盟總會帝國代表松岡洋右、參内して聯盟會議の經過、脱退願末を委細奏上す

勤勞祭を行ふ

四月廿九日 天皇、代々木練兵場に臨幸あり、觀兵式を行ひ給ふ○國際聯盟脱退詔書奉戴式を日比谷公園に行ふ○大阪に於て、我國最初の愛國勞働團體の勤勞祭を行ふ
四月三十日 ヘルー大統領ルイス・エム・サンチエス・セロ、暗殺さる○僧柳田暹暎寂す年六十三

五月 一日 外國爲替管理法を實施す○左右兩派の分裂メーデーを行ふ○兒童擁護協會を設立す○ソヴェット聯邦政府は引續き五箇年計畫を發表す

五月 二日 石井菊次郎、松井恒雄、深井英伍を帝國代表と爲し、倫敦國際經濟會議に參列せしむ

五月 三日 陸軍大將武藤信義に元帥の稱號を賜ふ

五月 四日 天皇、立川飛行場に行幸あり○國際經濟會議帝國代表石井菊次郎、深井英伍等横濱を出發す

少年教護法公布

五月 五日 皇后、青山憲法記念館に行啓あり、日本赤十字社總會に臨み給ふ○少年教護法

を公布す

五月 六日 ソヴェット政府は滿洲國に對し、東支鐵道讓渡を正式に提議す

五月 七日 我軍、再び瀋東攻撃を開始す

五月 八日 我軍、遷安、撫寧を占據す○國際聯盟帝國代表松岡洋右罷む○牛塚虎太郎、東京市長に當選す○伯爵大村純英逝去年六十二○代議士渡邊德藏歿す年五十六

五月 九日 我軍、張家庄、永平を占據す

五月 十日 我軍、昌黎を占據す○滿洲國初代の駐日特命全權公使丁士源、來朝す○南米パラグワイはボリヴィアに宣戰を布告す

五月十一日 我軍、新開嶺を占據す

五月十二日 粟輸入税増加令を公布す○我軍、石匣鎮を占據す○國際聯盟協會を日本國際協會と改稱す

五月十三日 海軍中尉古賀清志、陸軍士官候補生後藤映範、神武會長大川周明、愛郷塾長橋孝三郎等四十八名に係る五・一五事件の豫審終結す○思想問題に關し京大教授瀧川幸辰の處分問題起る

五月十五日 日滿合辦通信會社の設立に關する批准書交換成る○關東軍司令官武藤信義は、支那軍が長城國境線より撤退せざれば更に斷然たる行動を執る旨の重大聲明をなす○我軍、豐潤、密雲を占據す

五月十六日 外務次官有田八郎を罷め、重光葵をして之に代らしむ○明倫會の發會式を東京

明倫會成る

五・一五事件豫審終結

昌黎占據

遷安占據

私鐵賣動合
同毛織三大
疑獄事件判
決

滿洲國初代
公使參內

娼妓取締規
則改正

會館に行ひ、田中國重を總裁と爲す○私鐵、賣動、合同毛織の三大疑獄事件の判決あり、私鐵事件の小川平吉、春日俊文、犬上慶五郎、伊坂秀五郎、長田桃藏、太田光熙、青山憲三等を無罪に、太田清藏を懲役四月に、賣動事件の天岡直嘉を懲役二年に、藤田謙一を懲役一年六月に、合同毛織事件の金原與吉を懲役四月に處す○米國大統領ルーズヴェルトは、如何なる性質の戦争も排撃し、軍縮、經濟兩會議議成功に積極的努力をなす旨の對外宣言をなす

五月十七日 我軍、玉田、石門鎮を占據す○五・一五事件公表さる

五月十八日 滿洲國初代特命全權公使丁士源、參内して信任狀を捧呈す

五月十九日 我軍、懷柔を占據す○天津に反蔣自衛軍の暴動起る

五月二十日 海軍大將小林躋造を聯合艦隊兼第一艦隊司令長官と爲す○大阪、梅田阪急、心齋橋間の地下鐵道開通す○首相齋藤實は興津に元老西園寺公望を訪ひ、高橋藏相留任問題を中心とする政局安定策の諒解を求む○貴族院議員瀨川彌右衛門、横領罪にて拘引さる

五月廿一日 獨逸文化研究所を京都に創立す

五月廿二日 秩父宮雅仁親王を日本學術振興會總裁に奉戴す○藏相高橋是清、留任に決し、政局の不安一應解消す○政治家井田東陽歿す年八十三

五月廿三日 大藏省に外國爲替管理部を新設す○娼妓取締規則を改正し、自由外出を許す○首相齋藤實は政局安定に關する聲明書を發表す○政友會總裁鈴木喜三郎は高橋

藏相よりの入閣交渉を拒絶す

五月廿四日 天皇、宮城内馬場に行幸あり、馬術を覽給ふ○長城全線の支那軍、總退却を開始す○ワシントンに於て、帝國代表石井菊次郎、深井英伍は大統領ルーズヴェルトと第一回日米會談を行ひ、全般的の意見を交換す○全國教育界の大問題となりし元新潟縣視學佐々木峰資外十一名に係る疑獄事件の判決あり○大阪美術界の長老織田東禹歿す年六十一

五月廿五日 文官高等分限委員會を首相官邸に開き、京大教授瀧川幸辰の休職を可決す○北支の時局急轉し、支那軍より正式停戦を提議し來る

五月廿六日 武者小路公共を特命全權公使と爲し、土耳其に駐劄せしむ○京大教授瀧川幸辰の休職發表さる、京大法學部長宮本英雄以下三十八名、總辭表を提出す

五月廿七日 天皇、芝公園内水交社に行幸あり○米國大統領ルーズヴェルトと帝國代表石井菊次郎、深井英伍の日米會商終り、平和の基礎補強に全力を傾注する旨の共同聲明を發表す

五月廿八日 朝鮮總督宇垣一成、入京す

五月廿九日 陸軍中將星野金吾逝去年七十一○俳人老鼠堂機一歿す年七十八

五月三十日 塘沽に於て日支停戦交渉を開始す○東支鐵道を北滿鐵道と改稱す

五月卅一日 塘沽に於て日支停戦協定の調印成る○江馬式心身鍛鍊法の創始者江馬俊一歿す年七十三

京大瀧川教
授處分問題

日米共同聲
明

日支停戦協
定成る

五月中 政友會は齋藤内閣に對し、強硬、自重兩派に分れて紛糾す
五月中 滿洲事變以來の我犠牲者は戦死者二千八百九十七名、戦傷者八千四百八十三名に達す

六月一日 内鮮海底電話を開始す○東京市の新特別税歡興税を實施す

六月二日 白鳥敏夫を特命全權公使と爲し、瑞典に駐劄せしむ○伏見宮邦芳王薨す年五十四

六月三日 米穀法施行令を改正公布す○長崎縣西彼杵郡崎戸炭坑にて瓦斯爆發し、死者四十名を生ず化粧と着附

崎戸炭坑爆發

六月四日 川崎埠頭を開業す

聖路加病院成る

六月五日 米國亞細亞艦隊司令長官テラー、同比律賓總督マアフィ、參内し謁見す○東京築地聖路加病院の開院式を行ふ○馬占山、蘇炳文、歐洲より上海に還る○陸軍大將金谷範三逝去去年六十一

六月六日 陸軍中將能村馨夫逝去去年六十

六月七日 濱松飛行聯隊火藥庫大爆發し、即死三名、重傷五名、破損家屋三百六十戸に達す○歐洲平和確保のため、英、佛、獨、伊四國協力條約の假調印成る

濱松飛行聯隊爆發

六月八日 貴族院議長徳川家達、辭表を提出す○紡績聯合協議會を大阪綿業會館に開き、印度棉花不買を決議す

六月九日 近衛文麿を貴族院議長に、松平頼壽を副議長と爲す○フィンランド飛行家ブレ

佐野學等日本主義に轉向

マール大尉、東京に飛來す○日本共產黨の巨頭佐野學、鍋山貞親、獄中より日本的社會主義に轉向を聲明す

六月十日 ロンドン 經濟會議帝國代表石井菊次郎、英國に到着す

六月十二日 新潟市役所全焼す○ロンドン 國際經濟會議を開會す○新派俳優中井哲歿す年四十八

六月十四日 政友會總裁鈴木喜三郎は對政府態度に關する自重、強硬兩派の内紛問題を裁斷して是々非々主義を宣明す○京大教授瀧川幸辰處分問題の紛争事件に關し、文相鳩山一郎、總長小西重直の妥協成立す○大阪、國民會館成る○滿洲國は金輸出禁止法を公布す

六月十五日 兵庫縣下中播地方に降包あり、即死九名、重傷三十三名を出す○京大法學部は妥協案を一蹴し、再び紛糾す

六月十六日 一木喜徳郎を帝室經濟顧問と爲す○京大總長小西重直、辭表を提出す○濱松にて重爆機墜落し、矢野忠憲、田畑兼雄兩少尉慘死す

六月十七日 支那國民政府は兵役法を公布す○海軍中將楠瀬熊治逝去去年六十九

六月十八日 名古屋日暹寺不正事件に關し、代議士後藤亮一を收容す○岡山縣玉島町に現職警官小川郁雄の安田銀行支店長渡邊卓殺害強盜事件起る

六月十九日 丹那隧道貫通す○陸軍中將眞崎甚三郎、本庄繁、阿部信行を大將に、植田謙吉を參謀次長と爲す○大阪博愛社長小橋實之助歿す年六十一

丹那トンネル貫通

土木會議官制公布

六月二十日 代議士有馬淺雄、横領罪にて收容さる○暹羅に革命起り、政府顛覆す
六月廿一日 東京帝大法經文學生大會を開き騷擾す
六月廿二日 瑞典皇甥カール、來朝さる
六月廿三日 土木會議官制を公布す○西協晋を外務省參與官と爲す○醫學博士福島東作歿す年四十九
六月廿四日 北滿鐵道賣買會議ソヴェート代表カズロフスキー、來朝す○植物學者西野猪久馬歿す年六十四

北滿鐵道讓渡問題

六月廿五日 大日本麥酒會社、麥酒鑛泉會社の合併成る
六月廿六日 帝國政府の斡旋により北滿鐵道讓渡問題に關する滿露第一回會商を外務次官マ邸に開く

血盟團事件公判

六月廿七日 農學博士望月瀧三歿す年六十三
六月廿八日 關東廳鹽業試驗場官制を公布す○湯淺倉平、菱刈隆、安保清種を議定官と爲す
○井上日召外十三名に係る血盟團事件の第一回公判を開く

六月廿九日 陸軍中將淺川敏靖逝去年七十四
六月三十日 京都帝國大學總長小西重直を罷む○佛、伊、白、蘭、瑞西五國と英米兩國との金本位擁護の共同聲明案成る

七月 一日 大學自由擁護聯盟成る○文部省は全國小學校長の奏任待遇を發表す
七月 二日 東京赤坂歩兵第一聯隊、富士裾野に演習中、日射病のため死者七名、重輕傷百

大阪飛行場起工式

七月 三日 數十名を生ず○長唄名手吉住小十郎歿す年四十八
ソヴェート、ペルシア、アフガニスタン、土耳其、ポーランド、ルーマニア、ラトヴィア、エストニア、フィンランド九國の侵略者定義條約の調印成る
七月 四日 旅順要港部司令官津田靜枝少將、參内して軍狀を奏上す○北滿鐵道買收問題に關し、ソヴェート側は賣價二億六千萬圓に對し、滿洲國側の買値五千萬圓と發表さる

七月 五日 大阪飛行場の起工式を行ふ○戰區接收の日支協定成る○ソヴェート代表は北滿鐵道の露國獨占所有權を主張せる聲明書を發表し、滿洲國は之に對し共同管理權を主張せる反駁聲明をなす
七月 六日 日本共產黨事件の元京大教授河上肇は獄中より一切の實際運動と絶縁する旨聲明す○日本共產黨事件の首腦三田村四郎獄中より轉向を聲明す○漢詩人宮崎來城歿す年六十三豪傑の少時、豪傑の臨終、豪傑の雅量、乞食旅行、天然浪人、多情の豪傑、書生藤栗毛、續多情の豪傑

七月 七日 松井元興を京都帝國大學總長と爲す
七月 八日 判檢事増員令を公布す
七月 九日 伊豫松山城火く

七月 十日 伊國特命全權大使アウリツチ、參内して信任狀を捧呈す○學藝自由同盟創立大會を東京に行ふ○廣島縣宮島港附近にて汽船大和丸沈没し、八十三名溺死す○山田流琴曲家上原幸太郎歿す年六十五

松山城火く

神兵隊事件
起る

七月十一日 天皇、陸軍士官學校に行幸あり○通商審議會を設置す○大阪にて水雷艇眞鶴の進水式を行ふ○京大法學部教授宮本英雄、宮本英脩、佐々木惣一、森口繁治、末川博、瀧川幸辰の六名罷免に決定す○大日本生産黨の不穩計畫發覺し、書記長鈴木善一外八名を檢舉す

山元春舉歿
す

七月十二日 天皇、皇后、葉山に行幸啓あり○日本海航空會社の松江、城崎間の定期航空を開始す○畫家山元春舉歿す年六十三

佛國政府は南支那海の群島を新領土として宣言す○昆蟲學者桑名伊之吉歿す年六十三

農用昆蟲學講義、害蟲及益蟲、家庭の害蟲と其防除、昆蟲學研究法

松居松翁歿
す

七月十四日 交通審議會を設置す○東京、京城間の電話開通式を行ふ○神奈川縣足柄村の農民は水源設置に反對して蜂起し、縣土木出張所等を焼く○劇作家松居松翁歿す年六十四

昇旭朝鮮太平記、茶をつくる家、三成と淀君、高野長英、岩倉具視、松翁劇曲集、松翁傑作集、劇場今昔物語、盤神森、一つ家、文覺、淀君と五右衛門、心中未遂、頼朝と政子、山吹の里、女楠、金瓶、坂崎出羽守、河内屋太郎兵衛、弱蟲、和泉式部、二十世紀、輕船、尾形光琳、狐島の兄弟、金賣吉次、惡源太、濕線樂天小屋、南洋大畫、結婚反對俱樂部、壽王冠者、金鷄島、山賊退治、男の名、變り者、亡國星、金剛武者、玄、雪姫、美人魔、電話、無名城、地獄極樂、虛無黨奇談、胡蝶の舞、邯鄲城、女優募集、夏のはじめ、トスカ、さしむかひ、坂東武者、夜半の聲、珊瑚星、毒蛇

七月十五日 英、佛、伊、獨四國の協力條約正式調印成る

七月十八日 日、滿兩國の司法協助協定成る

七月十九日 製糸業法施行規則を改正公布す

京大問題一
段落

七月廿二日 關東州滿鐵附屬地電氣通信令を公布す○京大法學部教授中島玉吉、末廣重雄、鳥賀陽然良、山田正三、牧健藏、渡邊宗太郎、田中周友、殘留を聲明し、京大

問題漸く一段落となる○米國、メキシコ、ペルー、ボリヴィア、カナダ、スペイン、印度、支那、濠洲九國の銀協定の調印成る

七月廿三日 米國飛行家ポスト、世界早廻り飛行に成功し、七日十八時間四十九分の新記録を作る

七月廿四日 天下を衝動せしめた五・一五事件の海軍側關係者古賀清志中尉以下十名に係る反亂事件の第一回海軍軍法會議を横須賀鎮守府軍法會議法廷に開く○滿蒙學術

五・一五事
件軍法會議

調査團長徳永重康博士等、神戸を出發す

七月廿五日 五・一五事件の陸軍側被告元士官候補生後藤映範外十名の第一回軍法會議を第一師團司令部内法廷に開く○佛國政府は印度支那、ボルネオ、フィリッピン群

島間の珊瑚島先占を聲明す

七月廿六日 神學博士平岩愼保歿す年七十八

武藤信義薨
す

七月廿七日 武藤信義に男爵を授く○ロンドン國際經濟會議終る○關東軍司令官元帥武藤信義薨す年六十六

七月廿八日 陸軍大將菱刈隆を關東軍司令官兼特命全權大使關東長官と爲す○日本女子オリ

ムピック大會を奈良縣美吉野運動場に開く○元横綱源氏山伊勢助歿す年四十四
七月廿九日 天皇、葉山より還幸あり○静岡縣小山町大火あり、百五十戸火く○滿洲國立法

七月卅一日 院長趙欣伯、來朝す
負債整理組合法規則を公布す

農村負債整理組合法實施

南鮮大暴風雨

防空大演習を行ふ

八月 一日 農村負債整理組合法を實施す○陸軍大將阿部信行を軍事參議官とす○陸軍少將鳩彦王、稔彦王、西尾壽造、武田秀一、澁谷伊之彦、堀丈夫、中村濱作、小柳津正藏、武藤一彦、植村東彦、鈴木美通、上村友兄、佐藤五郎、吉富庄祐、兒玉友雄を中將となす○陸軍中將鳩彦王を近衛師團長に稔彦王を第二師團長に、松井石根を臺灣軍司令官に畑俊六を第十四師團長に、杉原美代太郎を第七師團長となす○陸軍習志野學校、濱松陸軍飛行學校、陸軍軍用犬育成所を新設す○左翼論陣の首領河上肇に係る治安維持法違反事件の第一回公判を開く

八月 二日 兒童虐待防止法施行細則を公布す○京大講師田中直吉等八名を免官す

八月 三日 代議士原耕歿す年五十八○富本の家元富本豊前歿す年七十七

八月 四日 林壽夫を南洋廳長官とす

八月 五日 南鮮慶尙道地方に大暴風雨あり、死者五十三名、流失全壞家屋二千六百三十四戸に達す

八月 七日 故武藤信義の准國葬を日比谷公園に行ふ○宣教師江原萬里歿す年四十四聖書的現代經濟觀

八月 八日 我軍全部を長城線に撤收す○日本共產黨事件に係る河上肇博士に懲役五年の判決あり○箱根附近にて鮮人女流飛行家朴敬元墜死す、我女島人最初の犠牲者なり

八月 九日 最初の防空大演習を關東地方一帯に行ふ○文學博士増田惟歿す實驗心理學序説、心理學概論、ホームズ動物

金井延歿す

對佛抗議

丹那隧道成る

八月十一日 俳優中村福助歿す年三十四

八月十三日 法學博士金井延歿す年六十九社會政策汎論目錄、社會經濟學、社會政策論、社會問題、經濟學研究、方法、最近經濟學講義、日本經濟史總論、經濟學、財政學講義

八月十四日 駐滿特命全權大使菱刈隆、東京出發赴任す○親日米人お札博士フレデリック・スタール東京にて客死す年七十五日本の諺と繪、朝鮮の佛教、日本の靈峯富士山

八月十五日 澤田節藏、寺田進、三宅哲一郎をシラム日印會商の帝國代表とす

八月十六日 天皇、海軍特別大演習御統裁のため横須賀を御出發あり

八月十七日 大阪の三十四、山口、鴻池三銀行合同す

八月十九日 第一師團司令部軍法會議に於て五・一五事件陸軍側の後藤映範、中島忠秋、篠原市之助、八木春雄、石關榮、金清豊、野村三郎、西川武敏、菅勤、吉原政己坂元兼一に禁錮八年の求刑あり

八月二十日 實業家田中龜之助歿す年六十八

八月廿一日 天皇、葉山に還幸あり○帝國政府は佛國に對し新南洋九群島の先占に關し正式抗議を提出す

八月廿二日 シラム日印會商帝國代表澤田節藏、寺田進等東京出發す

八月廿三日 首相齋藤實、政友會總裁鈴木喜三郎と會見し舉國一致の協力を懇請す

八月廿四日 首相齋藤實、民政黨總裁若槻禮次郎と會見し舉國一致の援助を求む○木戸幸一を宗秩寮總裁となす○實業家岩田惣三郎歿す年九十一

八月廿五日 天皇、横濱沖に行幸あり、大觀艦式を行はせらる○熱海線丹那隧道成る

八月廿八日 首相齋藤實、國民同盟總裁安達謙藏を訪問し大國策樹立の必要を説いて諒解を
求む○畫家小茂田青樹歿す年四十一

八月廿九日 政友會總裁鈴木喜三郎、首相齋藤實を訪問し政友會の國策案を提示す

八月卅一日 東京錦城中學校、同商業學校の認可取消さる

九月一日 京橋數寄屋橋公園の震災豫防記念塔成る○醫學博士高根正二歿す年三十三

九月二日 前代議士小俣政一歿す年五十五

九月三日 陸軍中將郷竹三逝去年五十三

九月四日 キューバ革命擾亂起る

九月五日 交通審議會を設置す○童話作家巖谷小波歿す年六十四 お伽七草、世界お伽噺、世界お伽女
庫、黄金丸、五月鯉、日本お伽噺、
糖火、花供養、胡蝶日記、女やもめ、新知事、梅大名、生靈、子持大黒、藩藏、桃一と日、新嘉坡の一夜、自殺
見本、山雨水晴、銀婚式の涙、日光露光、軍國女氣質、化の皮、貯蓄債券、家の魔、誕生日、青蜆、家政學校、笑
の國、喜劇七紳、決闘記、太平洋上、左様なら、乳母車、生靈、大語園、
小寶、新從五位、子供心、黒面騎士、小波叢書、黄金の處、父様ごっこ

巖谷小波歿す

九月六日 首相齋藤實は貴族院議員各派交渉員を招待し協力支援を求む○秋田縣八郎瀉に
て發動機船顛覆し十九名溺死す○支那第三次盧山會議を開き北支對策を議す○

子爵水野忠亮歿す年六十○海軍中將川原袈裟太郎逝去年六十五

九月九日 陸相荒木貞夫は藏相高橋是清と會見して國策樹立の急務を強調提唱す○東京青
年健兒會成る

九月十日 洋畫家古賀春江歿す年三十九○畫家田村彩天歿す年四十五

九月十一日 横須賀軍法會議に於て海軍側の反亂竝に反亂豫備事件の求刑あり、古賀清志、

田村彩天歿す

三上卓、黒岩勇に死刑、中村義雄、山岸宏、村上格之に無期禁錮、伊東龜城大
庭春雄、林正義に禁錮六年、塚野道雄に禁錮三年の求刑あり○キューバ革命鎮
定し、サルマルチン博士、大統領に就任す

九月十二日 航空事業調査會を設置す○海軍青年將校クラス會を水交社に開き論告求刑に反
對を決議す

九月十三日 左翼辯護士上村進、神道寛次等十七名一齊に檢舉さる

九月十四日 外務大臣内田康哉辭職す○廣田弘毅を外務大臣となす

九月十五日 海軍中將今村信次郎を第三艦隊司令長官に百武源吾を舞鶴要港部司令官に、寺
島健を練習艦隊司令官とす○長野縣赤化教員事件の記事解禁となる、關係學校
六十五校送局者八十一名、起訴者廿九名に達す

九月十六日 殖民地爲替管理令を公布す○海相大角岑生は五・一五事件に關し全海軍に自重
を望む旨の訓令を發す○外相廣田弘毅は米露支三大隣國と特に親善を期する旨
を聲明す

九月十七日 青年日本同盟の結盟式を赤坂三會堂に行ふ○陸軍中將筒井正雄逝去年五十二

九月十八日 静岡縣周知郡の山林に飛行機墜落し鶴義廣中尉、谷口善七曹長慘死す

九月十九日 ○川久保修吉を資源局長官とす○第一師團軍法會議に於て五・一五事件に係る
陸軍側被告後藤映範外十名に禁錮四年の判決言渡あり

九月二十日 軍縮會議に對する英米紳士協定成る

殖民地爲替
管理令公布

外相更迭

五・一五事
件陸軍側判
決

今上天皇——昭和八年

(二五九三・一九三三)

(685)

(684)

九月廿二日 北鐵第五次交渉を外務次官官邸に開く○支那方振武軍は非武装帶たる懷柔に侵

入し北支政權の奪回を謀る○陸軍中將上村友兄を東京灣要塞司令官とす

九月廿三日 天皇、葉山に行幸あり

九月廿四日 我國洋裁教育の開拓者並木伊三郎歿す年四十七

九月廿五日 兒童虐待防止法施行細則を公布す○我軍、遂に方振武軍擊攘に決す

九月廿六日 橋孝三郎、大川周明、頭山秀三等二十名に係る五・一五事件の民間側の公判を

開始す

九月廿七日 海軍軍令部條例を改正公布す○軍令部令、艦隊令、鎮守府令、要港部令、旅順

要港部令、駐滿海軍部令を各公布す

九月廿八日 佐賀縣佐嘉神社を別格官幣社に列格す○方振武軍の北平進入計畫失敗に歸し遂

に中央軍に屈服す○農學博士佐々木善次郎歿す年七十三

九月廿九日 神兵隊事件の中心人物陸軍中佐安田鐵之助自首す

九月三十日 新潟縣の名利名立寺炎上す○力士沖ッ海福雄歿す年二十四

十月 一日 兒童虐待防止法、自働車交通事業法、改正恩給法、身元保證法を實施す○元帥

博恭王を軍令部總長に中將高橋三吉を次長とす○政友會東海大會を津市に開く

○長崎縣三角沖にて觀光船沈没し九十餘名溺死す○和歌山縣新宮町に市制を施

行す

十月 二日 代議士鈴木寅彦、前東京市會議長代議士大神田軍治等卅一名に係る東京市會大

疑獄事件の第二回公判を開く○子爵牧野忠良逝去年六十七

十月 三日 海軍中將松下元を練習艦隊司令官とす○方振武、吉鴻昌兩軍遂に敗走す

十月 四日 日印第一回會商を印度シムラに開く○男爵竹腰正巳逝去年六十三

十月 五日 世界經濟會議帝國代表石井菊次郎、深井英伍歸朝す○芬蘭特命全權公使フーゴ

ー・ヴァルヴァンネ、波蘭特命全權公使ミツシエル・モシチツキー參内信任狀

捧呈す○蒔繪工藝家迎田秋悅歿す年五十三

十月 六日 アフガニスタン初代公使ハビフユラ・カン入京す○元代議士瀨川光行歿す年七

十

十月 七日 明倫會大演說會を東京日比谷市政會館に開き國難非常時を叫ぶ○畫家蔦谷龍岬

歿す年四十八

十月 八日 秋田縣船川港町大火あり三百八十戸焼く

十月 九日 皇太后、靖國神社に行啓あり○ソヴェト露國は北滿工作に關し日本が滿洲國を

使喚し北鐵奪取の意ありとの偽造怪文書を發表す

十月 十日 世界經濟會議全權石井菊次郎、深井英伍、參内して經過を奏上す○シラム日印

會商決裂に瀕す

十月十一日 民政黨總裁若槻禮次郎は倫敦海軍條約は國家大計より締結せしものにして今も

この信念は變らざる旨を言明し各方面に非常の衝動を與ふ

十月十二日 暹羅に兵變起る

日印シラム
會商

蔦谷龍岬歿
す

軍令部令、
艦隊令、鎮
守府令、駐
滿海軍部令
公布

兒童虐待防
止法實施

外米輸入制限令公布

十月十三日 外米輸入制限令を公布す○神兵隊事件の總帥天野辰夫、市ヶ谷刑務所に收容さる

十月十四日 皇太后、帝展に行啓あり○外務省より露國怪文書問題に關し反駁的聲明をなす

○獨逸は國際聯盟及び軍縮會議退を發表し世界に大衝動を與ふ

新渡戸稻造歿す

十月十五日 日滿連絡の最捷路新京、清津間の直通列車開通す○農學、法學博士新渡戸稻造カナダにて客死す年七十二武士道、歸雁の聲、偉人群像、東西相觸れて、修養、一日一言、世渡りの道、内觀外望、フアウスト物語、農業本論、隨想錄、自警錄○洋

式土木工業の先驅者原庄左衛門歿す年九十一

米穀委員會官制公布

十月十六日 米穀委員會官制を公布す○民政黨總裁若槻禮次郎再び民政黨懇談會に於て倫敦條約に關し釋明的演説を行ふ○北海道帝國大學總長南鷹次郎、辭表を提出す○

海軍中將西紳六郎歿す年七十四

十月十七日 佛國元文部大臣アンドレ・オノラ來朝す○南極探檢家野村直吉歿す年六十七

十月十八日 陸軍省より全陸軍は荒木陸相の國策貫徹を支持する旨を聲明す○支那國民政府は三井物産會社との無電借款契約廢棄を聲明す

十月十九日 アフガニスタン初代特命全權公使ハビ・ブラー・カン參内して信任狀を捧呈す

北野元峰寂す

十月二十日 ○曹洞宗管長北野元峰寂す年九十二

政府の外交軍事財政に關する首相齋藤實、外相廣田弘毅、藏相高橋是清、陸相荒木貞夫、海相大角岑生の五相會議終了す○陸軍中將荒木貞夫、松井石根を大將とす○神戸須磨沖合にて別府航路の客船屋島丸沈没し六十一名溺死す

十月廿一日

政府は非常時對外國策の大綱を決定し發表聲明す、(一)國際關係は世界平和を念とし、外交手段に依て我が方針の貫徹を計る事、(二)國防に關しては他國よりの脅威を受けず外侮を蒙ることなきを期すると共に我國力に調和せしむるに留意する事等なり○貴族院議員宮坂作衛逝去年四十七

十月廿二日

天皇、南越平野の陸軍大演習統監のため京都に行幸あり○(民政)富田幸次郎、俵孫一、(政友)久原房之助、島田俊雄と會見して政黨聯合運動表面化す○早慶野球戰の兩校應援團、衝突し各所に大亂闘を行ふ

十月廿三日

天皇、福井に行幸あり

十月廿五日

行刑累進處遇令を公布す○警視廳の特別警備隊成る○子爵京極高備逝去年六十

十月廿七日

天皇、福井紡績會社廣場及び足羽河原に於て大觀兵式を行ひ給ふ○第七回明治神宮體育大會を開く

十月廿八日

香川縣津田町の眞言宗名刹實相寺火く

十月廿九日

天皇、敦賀に行幸あり○政友會東北北海道大會を福島市に開く○法學博士岸清一逝去年六十七選舉弊害論、乃木家再興問題

十月三十日

天皇、舞鶴に行幸あり○國際聯盟帝國事務局を國際會議帝國事務局と改稱す○畫家平福百穂歿す年五十七

十月卅一日

天皇、還幸あり○倫敦國際經濟會議帝國全權石井菊次郎、松平恒雄、深井英伍

政黨聯合運動

行刑累進處遇令公布

敦賀行幸

平福百穂歿す

米穀統制法施行

十一月 一日 米穀統制法を施行す○矢野眞、伊藤述史を特命全權公使に、横山正幸を國際會議事務局次長と爲す○特命全權大使佐藤尙武を佛國に、特命全權公使矢野眞を智利に、特命全權公使伊藤述史をポーランドに駐劄せしむ○大湊、旅順に海軍航空隊を新設す

十一月 二日 天皇、朝香宮邸に行幸あり、允子内親王を御見舞あらせらる○有田八郎を特命全權大使とし白耳義に駐劄せしむ○東京、大阪間の夜間定期郵便飛行を開始す

○政友會代議士熊谷巖歿す年五十一

十一月 二日 朝香宮妃允子内親王薨す年四十三

十一月 五日 革命家片山潜、露國にて歿す年七十五 都市社會主義、渡米案内、渡米の秘訣、日本の労働運動、萬國社會黨、普通選舉、我社會主義、労働者の良友ラサル

十一月 六日 日印會商本會議を開き交渉成立す○東京中央郵便局を開設す○代々木練兵場に於て都下中學校生徒五萬三千八百名、明治神宮奉拜式を行ふ○濱口首相狙撃事件の佐郷屋留雄の上告を棄却し死刑確定す

十一月 七日 第六師團長坂本政右衛門參内して軍狀を奏上す○神兵隊事件の主要人物海軍中佐山口三郎を檢舉す○キューバに再び反亂起る○元文部次官赤司鷹一郎歿す年五十八

十一月 八日 元帥上原勇作薨す年七十八○海軍軍醫總監河村豐洲逝去年七十三○アフガニス

上原勇作薨す

タン王ガージ暗殺さる年五十四

五・一五事件海軍側判決

十一月 九日 五・一五事件の海軍側被告古賀清志、三上卓を禁錮十五年に黒岩勇を同十三年に中村義雄、山岸宏、村山格之を同十年に伊東龜城、大庭春雄、林正義を同二年に塚野道雄に同一年の判決あり

十一月 十日 御内帑金二十萬圓を社會教化事業に下賜せらる

境野黄洋歿す

十一月 十一日 來る十二月廿三日を以て議會召集の詔書公布す○文學博士境野黄洋歿す年六十

十一月 十二日 獨逸國會總選舉を行ふ、ナチス全議席を獨占してヒトラーの獨裁成る

十一月 十三日 横濱市本牧八王子山の八聖殿成る

八聖殿成る

十一月 十四日 政友會關東大會を川越市に開く○實業家原六郎歿す年九十二

十一月 十五日 海軍大將小林躋造、野村吉三郎を軍事參議官に、海軍中將末次信正を聯合艦隊司令長官兼第一艦隊司令長官に、永野修身を横須賀鎮守府司令長官に、高橋三吉を第二艦隊司令長官に、米内光政を佐世保鎮守府司令長官とす○海軍少將藤吉峻、及川古志郎、堀悌吉、鹽澤幸一、松下薫、市村久雄、小野徳三郎、高杉新一郎、淡輪敏雄、村上春一、山本幹之助、箕原勉を中將とす

十一月 十六日 横須賀にて潜水母艦大鯨の進水式を行ふ○米國政府は正式にソヴェト聯邦を承認し米露國交復活す○無電王マルコニー來朝す

マルコニー來朝

十一月 十七日 府中東京競馬場成る○小説家里見弼等十五名賭博犯にて檢舉さる

村山龍平逝

十一月十九日 政友會近畿大會を大津市に開く○民政黨北陸大會を金澤市に開く
十一月二十日 支那福建新人民政府成立し國號を大中華共和國と稱す
十一月廿一日 小泉信三、慶應義塾長と成る○東京府會議議長朝倉虎治郎、收賄罪にて收容さる
○無電王マルコニー退京す

非常時突破
國民大會

十一月廿二日 政友會九州大會を大分市に開く○支那福建省獨立す
十一月廿四日 特命全權公使矢野眞をボリヱイヤ國に駐劄せしむ○關西實業界の巨頭島德藏、
私文書偽造、背任嫌疑にて遂に大阪檢事局に自首す○大阪朝日新聞社長村山龍
平逝去年八十四

帝都教育疑
獄事件起る

十一月廿五日 非常時突破國民大會を芝公園に開く○陸軍中將大多和新輔逝去年六十五
十一月廿七日 天皇、海軍大學校に行幸あり○農業動産信用法施行令を公布す○本郷湯島の孔
子聖廟成る○貴族院議員藤村義朗逝去年六十四
十一月廿九日 天皇、陸軍大學校に行幸あり○靱野藏獎勵實施法を公布す○東京市小石川高等
小學校長郡司宗雄等三名引致せられ教育界の不正事件起る
十一月三十日 佛國特命全權大使フェルナン・ジャン・マリー・ピラ參内して信任狀捧呈す○
五・一五事件民間側の被告橋孝三郎、川崎長光に無期、後藤園彦、奥田秀夫、
池松武志、大川周明に十五年、林正三、堀川秀雄に十二年、矢吹正吾、頭山秀
三、本間憲一郎、黒澤金吾、照沼操、横須賀喜久雄、大貫明幹に十年、塙五百
枝に八年、小室力也、春日信義、高根澤與一、杉浦孝に七年の求刑あり○小説

米國禁酒法
撤廢

十二月一日 家嘉村磯多歿す年三十七 嘉村磯多全集
十二月四日 樽前山噴火す○東京越中島の水産講習所成る○藥學博士池口慶三歿す年六十七
十二月五日 ソヴェト露國、エストニア、ラトヴィア兩國と不侵略定義條約を締結す
十二月五日 高岡熊雄を北海道帝國大學總長と爲す○堀切善次郎、藤沼庄平、關屋貞三郎、
松村眞一郎、光永星郎、田澤義鋪、小倉正恒を貴族院議員と爲す○米國の禁酒
法撤廢さる○陸軍中將内野辰次郎逝去年六十六

海軍警備戰
隊令公布
山本權兵衛
薨す

十二月六日 教育疑獄事件に關し東京市視學小川新平召喚さる
十二月八日 海軍警備戰隊令を公布す○松岡洋右、政友會を脱黨し衆議院議員を辭任して國
家改造運動に著手す○海軍大將山本權兵衛薨す年八十二○實業家麻生太吉歿す
年七十七

學位賣買事
件起る

十二月九日 外相廣田弘毅は帝國政府の經濟外交方針を聲明す
十二月十日 內政改革要求國民大會を東京上野自治會館に開く
十二月十一日 各軍港に警備戰隊を置く○シリヤ人タクラーを主犯とする國際的寶石密輸事件
起る○神兵隊の主要人物實業家内藤彦一歿す年六十九
十二月十二日 商工省、日本團體生命保險株式會社の發起を認可す○長崎醫大に學位賣買事件
起り教授勝矢信司博士等拘引さる

中央卸賣市
場成る

十二月十三日 東京市中央卸賣市場成る
十二月十五日 天皇、大宮御所に行幸あり○大日本農道會成る○政治家西谷金藏歿す年七十六

矢作榮藏歿す

十二月十六日 米粉輸入税延長勅令を公布す ○實業家津村紀陵歿す年七十一
十二月十七日 醫學博士泉伍郎歿す年五十
十二月十八日 文學者片山正雄歿す年五十五 雙解獨和、獨逸文法辭典、
男女と天才、現代獨逸文學觀 ○農政學の權威農學博士
矢作榮藏歿す年六十四 不動産銀行論、常平倉設置
論、不動産銀行問題を論ず

十二月十九日 代議士中野勇次郎失格し眞鍋儀十當選す ○信越線鉢崎、青海川間にて列車海へ
轉落し即死一名、重輕傷十一名を出す ○ローマ法王使節パウロウ・マレラ來朝
す ○外務參與官西脇晋歿す年五十二 手形白地引受論、
租説法要論
十二月二十日 特命全權公使齋藤博を大使とし米國に駐劄せしむ ○陸軍中將松木直亮を大將に
少將時乘壽、久村種樹、橋村虎之助を中將とす ○海軍中將堀内三郎逝去年六十
八

皇太子御誕生

日本劇場成る

十二月廿一日 小説家池谷信三郎歿す年三十四 枕、歸りを待つ人々、有閑夫人、鯉、お
らんだ人形、親の立場、池谷信三郎集
十二月廿二日 松本忠雄を外務參與官となす
十二月廿三日 親王、御誕生あり ○第六十五回帝國議會を召集す ○松岡洋右、政黨解消聯盟を
組織す ○數學の權威藤澤利喜太郎歿す年七十三 日本數學誌、日米關係論、算術教科書、數
學教授法、初等代數學教科書、總選舉讀本
十二月廿四日 支那中央軍の飛行隊、福州の大爆撃を行ふ ○東京丸ノ内日本劇場成る
十二月廿五日 政民兩黨首脳部懇談會を東京芝紅葉館に開く ○金田一國士、瀨川彌右衛門等に
係る盛岡銀行疑獄事件の豫審終結す ○醫學博士小川劍三郎歿す年六十三
十二月廿六日 天皇、親臨して帝國議會の開院式を行ひ給ふ ○社會運動家田口運藏歿す年四十

皇太子御命名式

十二月廿七日 獨逸特命全權大使デイルクゼン參内して信任狀を捧呈す ○東京、カフェー銀座
會館焼く ○狂言作者竹柴金作歿す年六十四 女暫、芝濱革財布、女辰り籠、
八百藏吉五郎、眞景累ヶ淵
十二月廿八日 軍縮帝國全權長谷川清、太平洋會議代表副島道正等歸朝す
十二月廿九日 親王を明仁と名け繼宮と稱せらる ○武富敏彦を特命全權公使と爲し和蘭陀に駐
劄せしむ ○ルーマニア首相デュヤ暗殺さる年五十四
十二月三十日 政友會長老勝田主計脱黨す

昭和九年 甲戌 皇紀二五九四年 西曆一九三四年

佐々木蒙古王歿す

正月 一日 東京寶塚劇場成る ○政治家佐々木安五郎(蒙古王)歿す年六十三 西域探
検日誌
正月 二日 勞働運家赤松五百齋歿す年三十四
正月 四日 子爵金子堅太郎に伯爵を授く
正月 五日 日印新協定成立す ○工學博士佐伯勝太郎歿す年六十五
正月 六日 大阪紡績聯合會より印綿不買解除を聲明す
正月 七日 日印通商新協定要綱を發表す ○前東京控訴院檢事長三木猪太郎歿す年六十五

京都驛の大慘事

正月 八日 綿布輸出證明規則を公布す ○京都驛にて入團兵見送りの大群衆殺到し七十六名
踏殺され重輕傷七十四名を生ず ○實業家片倉兼太郎歿す年七十三

ローマ法王使節参内

正月 九日 貴族院議員藤田四郎逝去年七十四 英國憲法史論、政治眞論、歐米政黨沿革史總論 ○農學博士原熙歿去年六十

正月十一日 七 重要作物 概察圖 ローマ法王使節大司教ポール・マレラ参内謁見す

正月十二日 日米親善の民間特使松方乙彦横濱を出發す ○宮中顧問官佐藤愛麿逝去年七十八

正月十三日 支那福建人民政府遂に壊滅す ○理學博士早田文藏歿去年六十一

正月十五日 首相齋藤實、政友會總裁鈴木喜三郎を訪問して對議會策に關し説明諒解を求む

○滿洲國江防艦隊司令官尹祚乾入京す ○日本文學者、日食觀測の爲め軍艦春日にて南洋に赴く ○共產黨私刑事件暴露さる ○米國政府、銀の輸出を禁止す ○米國大統領ルーズヴェルトは議會に對しドル平價切下に關する特別教書を發す

映畫俳優岡田時彦歿去年三十二

正月十六日 首相齋藤實、民政黨總裁若槻禮次郎を訪ひ政策の諒解を求む ○海軍中將加藤隆義を軍令部次長とす

正月十七日 末松偕一郎、林田操(福岡)補缺衆議院議員に當選す

正月十八日 貴族院議員森賢吾逝去年六十

正月十九日 滿洲國政府は帝政實施を發表す

正月二十日 畫家山田敬中歿去年六十七 ○俳優若水美登里歿去年五十三

正月廿一日 陸軍大臣荒木貞夫辭表を提出す

正月廿三日 陸軍大將荒木貞夫を軍事參議官に、林銑十郎を陸軍大臣に、眞崎甚三郎を教育

荒木陸相辭職

軍民離間問題起る

道重信教寂す

五・一五事件民間側判決

鎌田榮吉薨す

總監と爲す ○(衆)床次竹二郎は政黨大同團結を提唱す

(衆)軍民離間問題起る

製鐵從業者扶助令を公布す

農學博士大島金太郎歿去年六十四

正月廿八日 長崎港内にて連絡船顛覆し十三名溺死す ○樞密顧問官古市公威逝去年八十一

正月廿九日 僧道重信教寂す年七十九 淨土宗綱要、人生を歩み行く道、人一代の修養、融通念佛略史、人の道と佛の道、癡病與樂、佛教より見たる死生觀

正月卅一日 米國政府はドル平價(約四割一分)切下を實施す ○海軍主計中將中臺順吉逝去年七十二 ○前代議士山本唯次歿去年五十四

二月 一日 生絲出荷制限を實施す ○原敬暗殺事件の中岡長一出所す

二月 三日 五・一五事件の民間側被告橋孝三郎を無期、後藤園彦、池松武志、大川周明を

懲役十五年、林正三、奥田秀夫、川崎長光を十二年、本間憲一郎を十年、頭

山秀三、堀川秀雄を八年、矢吹正吾、横須賀喜久雄、塙五百枝、大貫明幹を七

年、小室力也、照沼操、黒澤金吾を五年、春田信義、高根澤與一、杉浦孝を三

年六ヶ月の判決あり ○政治家本田恒之歿去年七十三

二月 四日 社會事業家有馬四郎助歿去年七十一

二月 五日 林學博士志賀泰山歿去年八十一 ○元文部大臣鎌田榮吉薨す年七十八 教育と實業、歐米漫遊記、獨立

自傳、歐米漫遊記 ○社會事業家留岡幸助歿去年七十一 報徳の眞髓、二宮翁と諸家、報徳一夕話、二宮尊徳と其風化、農業と二宮尊徳、二宮翁逸話、明治の慈善事業、不良少年感化事業

尊氏問題起る

中島商相辭職

恩赦の大詔
渙發

二月 六日 小説家佐々木味津三歿す年三十九 謎の人物、旗本風流、旗本退屈男、右門捕物帳、刃影走馬燈、二人の弟子、家康秘録、天誅組外傳、佐幕異聞、女怪奇聞、ある日、の類朝、亂軍、泥君、父と子、佐久間象山の最後、二人の異端者

二月 七日 (貴)商相中島久萬吉に係る足利尊氏問題起る○帝都教育疑獄事件に關し市教育局長學務課長肥後盛熊收賄にて收容さる○僧權田雷斧歿す年八十九 信仰に至る道、續佛敎雜集、我觀密敎發達志、大毗盧遮那成佛神變加持經、曼荼羅通解、密敎與義、眞言密敎法具便覽、興敎大師眞實傳

二月 八日 商工大臣中島久萬吉、尊氏問題の責任を負ひて辭表を提出す○俳優尾上幸藏歿す年八十

二月 九日 松本蒸治を商工大臣と爲す○陸軍大將南次郎、渡邊錠太郎、海軍大將山本英輔を議定官と爲す○町田徳之助、百萬圓を青少年修養事業に寄附す○ギリシヤ、ルーマニア、ユーゴ・スラヴィア、トルコ四國協定のバルカン友好條約の調印成る

二月 十一日 恩赦の大詔渙發さる○減刑令、復權令を公布す○宮中に於て紀元節の御親祭を行ひ給ふ○埼玉縣浦和町に市制を施行す

二月 十二日 埃國ウインに騷擾事件起り死者一千五百名に達す

二月 十三日 (衆)明年度豫算案を可決す

二月 十四日 新潟縣村松町村松製絲工場寄宿舎積雪の爲め倒潰し女工十三名壓死す○陸軍中將永井來逝去年五十八○詩人横瀨夜雨歿す年五十七 夕月、花守、花守日記、夜雨集、夜雨、天狗騒ぎ、花守と二十八宿、近世畫婦傳、大陽に近く、雪燈籠、死のよこび

多門二郎逝く

伊東巳代治
歿す

直木三十五
歿す

皇道發揚會
成る

二月十五日 佐伯海軍航空隊を開設す○(衆)岡本一巳は文相鳩山一郎に關する綱紀問題を暴露し政友會動搖す○陸軍中將多門二郎逝去年五十七

二月十七日 政友會の内訌擴大し遂に津雲國利、西方利馬を除名す

二月十八日 白耳義皇帝アルベール一世崩御年六十

二月十九日 政友會長老望月圭介は黨内紛糾の責を負ひ衆議院議員を辭職す○樞密顧問官伊東巳代治歿す年七十八

二月二十日 岡山縣教育疑獄事件の記事解禁さる○曹洞宗管長秋野孝道歿す年七十七 實録、三味、底禮、禪の活用、從容、録講話、若殿集講話

二月廿二日 海軍大將小林躋造を特命檢閲使と爲す○内閣打倒國民大會を本所公會堂に開く

二月廿三日 醍醐派管長平之亮禪寂す年七十五○陸軍中將岡本連一郎逝去年五十七

二月廿四日 小説家直木三十五歿す年四十四 南國太平洋記、光輝と共に、益滿休之助、仇討十種、太平洋戰爭、源九郎義經、足利尊氏、青春行狀記、直木三十五隨筆集、荒木又右衛門、日本の戰慄、楠正成、關ヶ原、弘法大師、去來三代記、淨瑠璃坂仇討

二月廿五日 皇道發揚會の發會式を大阪中央公會堂に開く○衆議院議員望月圭介、辭表を撤回す

二月廿六日 文相鳩山一郎、文部省に於て森山悟朗に襲撃さる○造船學の權威山本長方歿す年六十五○貴族院議員東園基光逝去年六十

二月廿七日 文學者宮島新三郎歿す年四十三 近代文明の先驅者、改造思想十二講、英米十六文藝集、歐洲最近文藝思想、現代英國文明印象記、文藝批評史、現代文藝思想概説、ソノバシ、明治文學十二講、大正文學十二講、ト、ルストイの人生論、犧牲、テス、わが日わが夢

滿洲國帝政
實施

鳩山文相辭
職

帝都教育疑
獄事件擴大

二月廿八日 天皇、近衛師團に行幸あり○文部大臣鳩山一郎辭意を表明す

三月 一日 滿洲國は帝政を實施し執政溥儀は皇帝即位式を行ひ、年號を立て康徳と稱す○
實業家服部金太郎歿す年七十五○書家河合雨峰歿す年四十七

三月 三日 文部大臣鳩山一郎、綱紀問題に關し遂に辭表を提出す○日食觀測隊、南洋ロソ
ツプ島より歸る

三月 四日 内閣總理大臣齋藤實をして文部大臣を兼しむ○帝都教育疑獄事件進展して市教
育局市視學課長廣田傳藏、社會教育課長藤岡眞一郎を收容す○古義眞言宗管長
龍池密雄歿す年九十二

三月 五日 陸軍中將林仙之、川島義之を大將に、少將佐村益雄、大塚堅之助、末松茂治、
宇佐美興屋を中將と爲す○陸軍中將西義一を東京警備司令官に香椎浩平を第六
師團長に、小磯國昭を第五師團長に、中村孝太郎を第八師團長と爲す○東京市
教育局長藤井利舉、疑獄事件の責を負ひて辭表を提出す

三月 六日 元鐵道大臣原脩次郎歿す年六十四○代議士菅村大事歿す年七十一

三島霜川歿
す

三月 七日 小説家三島霜川歿す年五十九 戸、登記、舞、除夜、黄金窟、ひとつ岩、村の鍛冶屋、荒浪、女盜賊、夕汐、さ、笛、はんけち、星、渡頭、古井の底、聖書婦人、其の子、鐘、舊友、その涙、月島丸の行方、浪のあと、ふりわけ髪、蝶のゆくへ、ならすもの、飢饉、山靈、生活、新生命、鐘、牢獄、海潮王、暗影、婆さん、さすらい、おもかげ、登屋敷、花の御殿、寒潮、殘灰、團圓、初夏の光、銀杏若葉、鐵鍛冶、解剖室、既の馬、惡血、漆氣、平民の娘、幻想、川霧、雨の夜、焚火のあと、おやぢ、懺悔ぶみ、坐礁、怖れ、水郷、青い顔、貞塊、孤獨、下ブ、給料日、船守彌三郎、朝から山へ、落伍者、新生派、五月、地、晝寝、夜道、糠雨、小間使、温泉場

三月 八日 賀陽宮恒憲王、同妃、東京出發歐米巡遊の途に就かせらる○(衆)國民同盟の内

武藤山治遭
難

閣不信任案を否決す○農林、拓務兩省の外米統制問題妥協案成る

三月 九日 時事新報社長武藤山治、北鎌倉にて兇漢福島新吉に狙撃され重傷す○同志社大
學總長大工原銀太郎歿す年六十七○俠客金子政吉歿す年七十八○彫刻家藤田文
藏歿す年七十四

三月 十日 天皇、九段偕行社に行幸あり○石川準十郎等の大日本國家社會黨の結黨式を行
ふ○實業家武藤山治遂に逝去年六十八 米國移住論、紡績大合同論、政治一新論、實業と道徳、通話、金解禁早解り、實業讀本、實業政治、雄辯學教科書、軍人優遇論、公民教育制度、經濟小言、ブラジル事情、震手早解り、繪入小學讀本、歐米市制確化運動、井上藏相の錯覺、スペインの經濟事情、續經濟小言、金輸出再禁止、比例代表、佛國好景氣研究、武藤山治百話、思ふま、金持と物持と稼人、英國不景氣研究、私の身の上話、通俗實經濟の話、英國の其後、カツセル教授の講演、金と物、普選のススム

友鶴顛覆

三月 十一日 代議士喜多孝治歿す年五十七 日韓英三國 會話大全

三月 十二日 天皇、皇后、大宮御所に行幸啓あり○長崎縣平戸島志々伎岬南方に於て第廿一
水雷艇友鶴顛覆して艇長岩瀬奥市少佐以下九十八名殉死す

三月 十三日 建武中興六百年記念祭を神宮外苑日本青年會館に行ふ

三月 十四日 ロンドン日英民間會商決裂す○吳に於て巡洋艦最上の進水式を行ふ○セミヨノ
フ軍事顧問陸軍少佐黒木親慶歿す年五十二○鑄金家大國相齋歿す年七十九

三月 十五日 全國優良青年大會を伊勢に開く

三月 十六日 文士菊池寛、廣津和郎等麻雀賭博にて檢擧さる

倒閣國民大
會

三月 十七日 倒閣國民大會を東京國技館に開く○國學研究者田中勘兵衛歿す年九十七

函館大火

國號稱呼決定

軍人會館成る

滿洲國特使參内

原蠶種管理法公布

三月二十日 彫刻家大熊氏廣歿す年七十九

三月廿一日 函館市大火あり、全焼二萬三千六百十三戸、半焼二十戸、倒潰二十六戸、死者一千九百八十七名、損害一億三千萬圓に達す

三月廿二日 文部省國語調査會にて國號稱呼は「ニッポン」と決定す

三月廿三日 元文部大臣岡田良平薨す年七十一

三月廿五日 帝國議會の閉院式を行ふ○滿洲國特使鄭孝胥、財政部大臣熙洽、神戸に來朝す

三月廿六日 ○東京、軍人會館成る○元内務大臣中橋徳五郎薨す年七十四

三月廿六日 滿洲國特使鄭孝胥入京す○南洋ジョホール國王サルタン・イプラヒム來朝す○東京市大疑獄事件の三木武吉、中島守利等廿三名に最終判決あり

三月廿七日 不正競争防止法を公布す○滿洲國修聘特使鄭孝胥、熙洽、參内して親書を捧呈す○米國大統領ルーズヴェルトは海軍大擴張案に署名して重大聲明を發表す

三月廿八日 原蠶種管理法を公布す○僧鳥栖越山寂す年百十

三月廿九日 皇后、女子學習院に行啓あり○函館市罹災者免稅令を公布す○坂本鈺之助、石塚榮藏、石渡敏一を樞密顧問官と爲す

三月三十日 天皇、學習院に行幸あり○日米修交八十周年記念祭を行ひ、駐日米國大使グルー、石井菊次郎、駐米大使齋藤博等交歡放送を行ふ

三月卅一日 通信事業特別會計施行規則を公布す○陸軍中將落合豐三郎逝去年七十四

四月一日 海軍航海學校を開校す○農林省米穀部を米穀局と改稱す○首相齋藤實は元老西園寺公望を訪ひ居据を決意す○山口貯水池の完工式を行ふ

四月三日 天皇、二重橋廣場に幸して全國小學校教員精神作興大會を親閲あらせられ、優渥なる勅語を賜ふ

四月四日 金錢債務臨時調停法を公布す

四月五日 滿洲國特使鄭孝胥退京す○庭球選手佐藤次郎自殺す年二十七

四月六日 英國前印度大臣ウエッジウッド・ベン來朝す

四月七日 農會法を改正公布す○日本銀行金買入規則を公布す○陸軍大將荒木貞夫、阿部信行を特命檢閲使と爲す

四月九日 子爵本多正復歿す年六十二

四月十日 大日本國防婦人會總本部を設置す

四月十一日 陸軍大臣林銑十郎辭表を提出す○滿洲國特使熙洽退京す○大神田軍治、白上祐吉、鈴木寅彦等三十一名に係る第二東京市會疑獄事件の判決言渡あり○淨土宗管長山下現有寂す年百三○劇作家瀬戸英一歿す年四十三二筋道、茶庵の話、井上侯爵報恩美談

四月十二日 弘法大師一千百年祭大法要を京都東寺に行ふ○水泳宗家小堀平七歿す年七十九

四月十三日 代議士岡本一巳拘引さる

四月十五日 陸軍大臣林銑十郎留任す○明倫會第一回大會を日比谷市政會館に開く○新内八代富士松加賀太夫歿す年七十六○代議士白神邦二歿す年五十三

四月十六日 第二次軍縮會議研究會を設く

山口貯水池成る

大日本國防婦人會總本部設置

山下現有寂す

四月三日 天皇、二重橋廣場に幸して全國小學校教員精神作興大會を親閲あらせられ、優渥なる勅語を賜ふ

四月四日 金錢債務臨時調停法を公布す

四月五日 滿洲國特使鄭孝胥退京す○庭球選手佐藤次郎自殺す年二十七

四月六日 英國前印度大臣ウエッジウッド・ベン來朝す

四月七日 農會法を改正公布す○日本銀行金買入規則を公布す○陸軍大將荒木貞夫、阿部信行を特命檢閲使と爲す

四月九日 子爵本多正復歿す年六十二

四月十日 大日本國防婦人會總本部を設置す

四月十一日 陸軍大臣林銑十郎辭表を提出す○滿洲國特使熙洽退京す○大神田軍治、白上祐吉、鈴木寅彦等三十一名に係る第二東京市會疑獄事件の判決言渡あり○淨土宗管長山下現有寂す年百三○劇作家瀬戸英一歿す年四十三二筋道、茶庵の話、井上侯爵報恩美談

四月十二日 弘法大師一千百年祭大法要を京都東寺に行ふ○水泳宗家小堀平七歿す年七十九

四月十三日 代議士岡本一巳拘引さる

四月十五日 陸軍大臣林銑十郎留任す○明倫會第一回大會を日比谷市政會館に開く○新内八代富士松加賀太夫歿す年七十六○代議士白神邦二歿す年五十三

四月十六日 第二次軍縮會議研究會を設く

航空兵操典公布
帝國人絹大疑獄事件起る

四月十七日 帝國政府は對支態度を中外に宣言す○京都金戒光明寺(淨土宗大本山)炎上す○子爵土御門晴善逝去去年五十一
四月十八日 航空兵操典を公布す○東京、國際文化振興會の發會式を行ふ○帝國人絹の大疑獄事件起り、社長高木復亨等五名收容さる○青森縣下北郡野澤村大火あり二百戸焼く

四月十九日 日印通商條約の假調印成る○實業家鹿島清平歿す年五十六
四月二十日 天皇、皇后、新宿御苑の觀櫻御會に行幸啓あり

四月廿一日 皇后、東京音樂學校に行啓あり○政治家關直彦逝去去年七十八オースチン氏法理學、英國訴訟法註釋、西洋復讐奇譚、春鶯囀、立憲正道論、大日本帝國憲法

黒船祭を行ふ

四月廿二日 下田に於て黒船祭を舉行す
四月廿三日 皇太后、帝室博物館に行啓あり

四月廿四日 和歌山縣黒江町、内海町、日方町、大野村を合し海南市を置く

土田杏村歿す

四月廿五日 樞密院議長倉富勇三郎辭表を提出す○思想檢事を置く○社會評論家土田杏村歿す年四十四マルキシズム批判、社會哲學原論、日本支那現代思想研究、文學論、現代哲學概論、國文學の哲學的研究、恩慕の春、戀愛の諸問題、日本美術史研究、思想叢本、文學の發生、文化主義原論○俳優市川伊達藏歿す年六十五

四月廿六日 皇太后、明治神宮に御參拜あり

四月廿七日 天皇、靖國神社臨時大祭に行幸あり

四月廿八日 宮中四大節宴會の洋樂を廢止せらる○南洋コロンビア初代特命全權公使ドクト

愛育會設立

四月廿九日 天皇、代々木練兵場に行幸あり、大觀兵式を行ひ給ふ○勤勞國民黨結成大會を芝協調會館に開く○恩賜財團愛育會の發會式を東京に行ふ○大日本水産會副總裁牧朴眞歿す年八十一參事院說明錄

四月三十日 外相廣田弘毅は東亞平和維持の帝國政府の三大方針として、支那の獨立保全、第三國の權益尊重、平和攪亂の排撃を聲明す○朝鮮稅務官署官制を公布す○福岡市に私立高等商業學校を設立す

通商擁護法公布

五月一日 通商擁護法を公布す
五月二日 遞信省、米國マツク無線電信會社と通信交換成立し調印す○元老西園寺公望興津より上京す

五月三日 皇后、九條道秀邸に行啓あり○全國佛教大會を長崎に開く

五月四日 天皇、親臨して宮城内濟寧館に奉祝武道大會を覽給ふ○皇后、青山憲法記念館に行啓あり、愛國婦人總會に臨み給ふ○一木喜徳郎を樞密院議長と爲す

中村憲吉歿す

五月五日 能樂家野島信歿す年六十三○歌人中村憲吉歿す年四十六馬鈴薯の花、林泉集、古歌評釋、歌論しがらみ、松の芽、中村憲吉選集、隨筆

五月六日 鐵道工業の先覺者平岡照歿す年七十九○俳優尾上紋十郎歿す年四十七○落語家

雷門助六歿す年五十二

五月七日 伯爵松浦厚薨す年七十一○貴族院議員平野長祥逝去去年六十六

五月 八日 長岡春一、越田佐一郎を日蘭會商帝國代表と爲す
 五月 九日 元老西園寺公望參内す
 五月 十日 日本・ウルグアイ兩國間の最惠國約款通商條約の調印成る○福島縣田島町大火あり三百餘戸焼く○濠洲外相レーサム來朝す
 五月十二日 外務省より日英通商問題に關する交渉經過を發表す
 五月十四日 伊太利、オーストリア、ハンガリ三國間の經濟的協定成る
 五月十六日 本多光太郎、東北帝國大學總長と爲る○濠洲外相レーサム退京す
 五月十七日 貴族院議長近衛文麿、米國に赴く○能樂喜多流の權威池内信嘉歿す年七十七
 五月十九日 大藏次官黒田英雄、帝國人絹の瀆職事件に關し召喚收容さる○中米サルヴァドル政府は滿洲國を承認す
 五月二十日 東京西巢鴨の癌研究所附屬康樂病院成る○帝人事件に關し大藏省特銀課長大野龍太等二名收容さる
 五月廿二日 商業組合全國大會を大阪に開く
 五月廿四日 皇后、東京慈惠會に行啓あり
 五月廿五日 特命全權公使杉村陽太郎を大使と爲し伊國に駐劄せしむ
 五月廿七日 天皇、海軍經理學校に行幸あり○陸軍中將渡邊章逝去年八十四
 五月廿九日 伯爵東郷平八郎を侯爵と爲す○醫學博士太田正隆歿す年四十七
 五月三十日 元帥侯爵東郷平八郎薨す年八十八

黒田英雄收容さる

東郷平八郎薨す

五月卅一日 巡洋艦三隈の進水式を行ふ○白耳義特派大使ウイリアム・タイス入京す
 六月 一日 思想局官制を公布す○白耳義特派大使ウイリアム・タイス參内して親書を捧呈す○田誠を國際觀光局長と爲す○大阪驛の高架線開通○文學博士久保天隨歿す年六十 東洋通史、朝鮮史、支那文學史、新譯日本外史補、日本儒學史、權城游草、遠瀛游草、關西遊草、同續、儀式文範、東洋倫理學史要、讀州遊草、茶前詩後、秋碧廬詩鈔、山水美論、白露集、秋碧廬詩鈔、古文眞寶新釋
 六月 二日 滿洲國御訪問のため御名代宮秩父宮雅仁親王、東京御出發あらせらる
 六月 三日 濱松飛行學校を開校す
 六月 五日 日比谷公園にて東郷平八郎の國葬を行ふ、送葬者百萬に達す
 六月 六日 天皇、皇后、葉山に行幸啓あり○御名代秩父宮雅仁親王、新京御著あり、康徳皇帝之を迎へ給ふ○鳥取縣岩井温泉大火あり二百三十戸焼く
 六月 七日 御名代雅仁親王、宮廷府を御訪問あり、康徳帝に御親書及び勳章を捧呈せらる
 六月 八日 南京總領事館にて書記生藏本英明失踪事件起る○廣島文理大學に紛糾事件起る
 六月 九日 實業家伊澤平左衛門歿す年七十三
 六月 十日 ボグラニチナヤ日本領事館開館す○農學博士大屋靈城歿す年四十五
 六月十一日 白耳義特派大使タイス退京す
 六月十二日 廣島文理大學の紛糾解決す
 六月十三日 南京郊外孝陵にて藏本英明書記生無事發見さる
 六月十四日 獨逸首相ヒトラー、伊太利首相ムソリニとヴェニスにて會見す
 六月十五日 藤澤幾之輔、清水澄を樞密顧問官に、二上兵治を行政裁判所長官に村上恭一を

思想局官制公布

秩父宮御渡滿

東郷平八郎の國葬

今上天皇——昭和九年

古在由直歿す

六月十八日 樞密院書記官長とす
御名代秩父宮雍仁親王御歸京あり、參内復命せらる○農學博士古在由直歿す年七十一米穀の貯蔵に就いて

阪神急行開通

六月十九日 日米通商協議會の發會式を東京に行ふ○大阪防空飛行場成る
六月二十日 内地、臺灣間の無線電話開通す○大阪、神戸間の急行電車開通す○陸軍中將吉田平太郎逝去年六十八

六月廿一日 日本・エストニア暫定通商取極成る○暹羅公使ブラ・ミトラカム・ラクサ參内して信任狀を捧呈す○日米親善の民間特使松方乙彦歸朝す

六月廿二日 楠本長三郎を大阪帝國大學總長と爲す
六月廿三日 衆議院議員選舉法を改正公布す

内藤湖南歿す

六月廿四日 山陰の名利皆成院炎上す
六月廿六日 文學博士内藤湖南歿す年六十九支那論、室町時代の研究、日本文化史研究、新支那論、研究小録、讀史叢錄、燕山楚水、關西文運論

六月廿七日 石油業法施行令を公布す○滿洲國政府は國防費用九百萬圓の分擔支出を聲明す
六月廿八日 日支通商問題解決す○陸軍中將建川美次を第十師團長とす○英國特命全權大使

田島錦治歿す

サー・ロバート・ヘンリー・クライブ參内して信任狀捧呈す○法學博士田島錦治歿す年六十八日本現時の社會問題、最近財政學、最近經濟論、財政學經濟原論、經濟と道德、勞賃と利潤、商業の發達を論ず、鐵道國有及官業論、經濟學教科書、日本勞働者保護問題

六月廿九日 天皇、陸軍士官學校に行幸あり
六月三十日 朝鮮濟州島沖にて驅逐艦深雪、電の兩艦衝突大破し死者四名を生ず○獨逸國家

齋藤内閣總辭職

警察隊は突撃隊本部を占領し總司令レーム、前首相シユライヘル將軍を射殺す
七月 一日 公刊明治天皇御紀編修委員會規程を定む○北平、奉天間の滿支直通列車開通す
七月 二日 洋畫家三岸好太郎歿す年三十三
七月 三日 内閣總理大臣齋藤實辭表を捧呈す○小山松吉、黑崎定三、小幡酉吉、宇佐美勝夫、有賀光豐、關一、仁井田益太郎、佐藤鐵太郎、土方久徵、松井茂、辜顯榮、宮尾舜治を貴族院議員と爲す

七月 四日 元老西園寺公望、興津より上京して御下問に奉答す○海軍大將岡田啓介に後繼内閣組織の命下る

七月 五日 大藏省疑獄事件に關し前商相中島久萬吉は召喚され、正力松太郎は收容さる

七月 七日 政友會總裁鈴木喜三郎は入閣援助拒絶を岡田啓介に回答す
七月 八日 岡田啓介を内閣總理大臣兼拓務大臣に後藤文夫を内務大臣に、藤井眞信を大藏大臣に、小原直を司法大臣に、松田源治を文部大臣に、山崎達之輔を農林大臣に、床次竹二郎を遞信大臣に、内田信也を鐵道大臣と爲す、外務大臣廣田弘毅

陸軍大臣林銑十郎、海軍大臣大角岑生留任す○河田烈を内閣書記官長と爲す○政友會は床次竹二郎、内田信也、山崎達之輔を除名す

七月 十日 赤木朝治を社會局長官に、金森徳次郎を法制局長官に、津島壽一を大藏次官に、長瀬貞一を農林次官に、丹羽七郎を内務次官に、廣澤俊樹を警保局長と爲す○樞密顧問官水町袈裟六逝去年七十一

岡田内閣成る

日印新條約
成る

七月十一日 文學博士忽滑谷快天歿す年六十八 日々の信仰及工夫、禪の妙味、宇宙美觀、禪學講話、正信問答、達學と闡明、朝鮮禪教史、禪學思想史、禪學批判論、怪傑マホメツト

七月十二日 日印新通商條約の正式調印成る

七月十三日 金山季逸を司法次官とす

七月十四日 日米學生會議の發會式を東京日比谷公會堂に行ふ

七月十五日 皇后、那須に行啓あり

七月十六日 米國桑港に大罷業事件起る

七月十七日 松平慶民を式部長官に、林權助を樞密顧問官と爲す○陸軍中將廣瀨猛逝去年五十三

七月十八日 第二回汎太平洋佛教青年大會を東京築地本願寺に開く○代議士平野桑四郎歿す年七十一

七月十九日 井阪豊光を外務政務次官に、大森佳一を内務政務次官に、橋本實斐を參與官に、矢吹省三を大藏政務次官に、豊田收を參與官に、原夫次郎を司法政務次官に、舟橋清賢を參與官に、添田敬一郎を文部政務次官に、山枅儀重を參與官に、守屋榮夫を農林政務次官に、森肇を參與官に、勝正憲を商工政務次官に、高橋守平を參與官に、青木精一を逓信政務次官に、平野光雄を參與官に、樋口典常を鐵道政務次官に、兼田秀雄を參與官に、田中武雄を拓務政務次官に、手代木隆吉を參與官に、窪井義道を海軍參與官と爲す

七月二十日 首相岡田啓介、中正公明を指導精神とする十大政綱を發表す

中島元商相
收容さる

七月廿一日 大藏省疑獄事件に關し元商相中島久萬吉、市ヶ谷刑務所に收容さる○第二回汎太平洋佛教青年大會終る○言語學者山田嘉吉歿す年七十 社會學概論、通俗染色學講和

七月廿二日 小説家松崎天民歿す年五十七 新聞記者修業、四十男の惱み、倫落の女、同棲十三年、戀と名と金と、女八人、人生探訪、旅行氣分、新編漢詩自由

七月廿三日 靜岡縣田方郡に農民騷擾事件起る○檢事黒田越郎歿す年四十三

七月廿四日 佐野正次を專賣局長官とす

七月廿五日 蘭領印度政府は日本陶磁器の輸入制限令を發す○全國官吏に官紀振肅を嚴達す

○埃國に反亂起り首相ドルフス暗殺さる

七月廿六日 日本・土耳其間の交換貿易暫定協定の調印成る○美術家久米桂一郎歿す年六十九

七月廿七日 法學博士長島鷺太郎歿す年六十七 強制執行法論、民事訴訟法講義、監獄改良と刑法改正、娼妓の自由廢業

七月廿八日 池貝鐵工所長池貝庄太郎歿す年六十六

七月三十日 元商相中島久萬吉、起訴さる○醫學博士佐藤敏夫歿す年六十

七月卅一日 首相岡田啓介は帝國政府の對外方針を宣明す○アフガニスタン、コロンビア兩國に日本公使館を設置す

八月 一日 日滿無線電話開通式を東京及び新京に行ふ○陸軍中將稔彦王を第四師團長に、陸軍大將松井石根、川島義之を軍事參議官に、中將植田謙吉を朝鮮軍司令官に、古莊幹郎を第十一師團長に、杉山元を參謀次長に、橋本虎之助を陸軍次官と爲す○陸軍少將福田袈裟雄、山崎定義、高橋貞夫、中島三郎、黒須辰之助、山田

日滿無線電
話開通式

獨逸大統領
逝く

八月 二日 乙二を中將と爲す○貴族院議長近衛文麿歸朝す○文學者西川勉歿す年四十一
母を尋ねて三千里、暴力考
男爵中島久萬吉の華族禮遇を停止す○獨逸大統領ヒンデンブルグ元帥逝く年七十八

八月 三日 喜安健次郎を鐵道次官と爲す

八月 四日 農林省、米百萬石拂下げを發表す○岩平嘉雄を特命全權公使と爲しコロンビア國に、北田正元を特命全權公使と爲しアフガニスタン國に駐劄せしむ

八月 六日 天皇、那須に行幸あり

八月 九日 米國政府は銀國有を公布す

八月 十日 三邊長治を文部次官と爲す○帝都教育、疑獄事件の豫審終結す○聖路加病院長アール・ビー・トイスラ逝く年五十九

八月 十二日 北鐵讓渡に關する露滿交渉遂に決裂す

八月 十四日 支那國民政府は外國銀貨の輸入禁止を發表す

八月 十八日 伯爵大村純雄逝去年八十四

八月 十九日 獨逸首相ヒトラー、大統領に當選す

八月 廿一日 塚原政次を廣島文理科大學長と爲す○大藏省疑獄事件に關し前鐵相三土忠造召喚さる

八月 廿三日 映畫監督野村芳亭歿す年五十五

血盟團事件
求刑

八月 廿八日 血盟團事件の井上日召、古内榮司、小沼正、菱沼五郎に死刑、四元義隆に無期懲役、池袋正飢郎に十五年、久木田祐弘、須田太郎、田中邦雄、田倉利之に十年、森憲二、黒澤大二に八年、伊東廣に七年、星子毅に六年を論告求刑あり

米穀對策調
査會

八月 三十日 米穀對策調查會官制を公布す

八月 卅一日 ハルピン、新京間に於て國際旅客列車、匪賊に襲撃せられ邦人即死十名、重輕傷者十二名を生ず

九月 一日 畫家竹久夢二歿す年五十一 春、戀愛物語、露路の細道、三味線、春の夢、夢二畫集、雙雪、岬

九月 二日 東京市電の整理案發表さる○大浪人田中舍身歿す年七十三

九月 三日 陸軍中將白井二郎逝去年六十八

九月 五日 東京市電従業員一萬一千名、整理案に反對して總罷業を執行す

九月 九日 石川縣大聖寺町大火あり五百戸焼く

九月 十日 大阪朝日新聞社は日支聯絡北平訪問飛行に成功す

九月 十一日 川柳井上劍花坊歿す年六十五

九月 十二日 陸軍大將大迫尙道薨す年八十一

九月 十三日 前鐵相三土忠造、遂に偽證罪として起訴收容さる

九月 十四日 陸軍中將西田恒夫逝去年五十七

九月 十五日 警視總監藤沼庄平は東京市電罷業に關し強制調停を發令す

九月 十六日 東京市電罷業團爭議打切を宣言す

三土前鐵相
收容

市電大罷業
起る

文藝家慰靈祭を行ふ

九月十七日 ブラジル特命全權大使ソウザ参内して信任状を捧呈す
九月十八日 賀陽宮恒憲王、歐米巡遊より歸朝せらるる○前貴族院議員佐々木志賀二逝去年五十二○實業家西野藤助歿す年五十七

九月十九日 文藝家慰靈祭を日比谷公會堂に行ふ○美學者乙骨三郎歿す年五十四
九月二十日 ロンドン軍縮豫備交渉帝國代表山本五十六少將東京を出發す○伯爵土方久敬(入露中)に爵位の返上を命ぜらる

關西大暴風

九月廿一日 關西各地に大暴風あり、大阪、京都、岡山、滋賀、兵庫、岐阜、奈良、和歌山の各府縣の被害最も甚々しく死者二千四百九十九名、傷者八千三百九十九名、行方不明五百六十八名、全潰家屋三萬四千五百七十六戸、流失家屋二千三百四戸殊に小學校の倒潰は二百八十九校に達す○東海道線瀬田川鐵橋附近に於て暴風のため急行列車顛覆し死者九名、重傷廿八名、輕傷百四十三名を生ず○經濟學者二木保幾歿す年四十三

九月廿二日 濱松飛行聯隊の重爆撃機遭難し込谷和之少佐以下四名殉死す

九月廿四日 貴族院議員木村清四郎逝去年七十四

九月廿五日 澤田節藏を特命全權大使と爲しブラジルに駐劄せしむ○工學博士孕石元照歿す年六十六

乃木元智爵位を返上

九月廿六日 伯爵乃木元智、爵位を返上す

九月廿八日 教育家田村寛貞歿す年五十二ハンスクツクの音楽美論

斯波忠三郎逝く

九月廿九日 二府十八縣の風水害罹災民に内帑金四十四萬餘圓を下賜せらる

十月 一日 丹那隧道の公式運轉を開始す

十月 三日 英國産業聯盟バーンビー一行退京す○航空界の恩人斯波忠三郎逝去年六十三○工學博士今岡純一郎歿す年六十一

十月 四日 新聞記者櫻井轍三歿す六十二

十月 五日 神武天皇東遷記念二千六百年記念大祭を宮崎市に行ふ○米國アリゾナ州に排日問題起る

アリゾナ排日問題

十月 六日 蒙古齊王入京す○落語家桂春團治歿す年五十七

十月 七日 東京市電従業員再び總罷業に入る

十月 九日 ユーゴースラヴィア國王アレキサンダー一世、佛國マルセイユに於に暗殺され全歐を震駭す

高村光雲歿す

十月 十日 彫刻家高村光雲歿す年八十三光雲 古談

十月十二日 在滿機關問題重大化す

十月十三日 東京市電大罷業事件解決す

十月十五日 佛國政治家ポアンカレ逝去年七十五

十月十六日 皇后、青山憲法記念館に行啓あり、赤十字社總會に臨み給ふ○東京、湯島聖堂の再建成る○俳優片岡仁左衛門歿す年七十八

十月十七日 政府は在滿機關改革の原案斷行に決し聲明書を發表す○在滿機關問題に關し關

湯島聖堂成る

在滿機關問題起る

十月十八日 東廳の局課長等遂に總辭職を執行す
ベルシヤ特命全權公使ミルザ・バゲール・ハーン・アジミ參内して信任狀を捧呈す
○關東廳全員總辭職を行ふ
○貴族院議員大山綱昌逝去年八十二

十月十九日 特命全權公使堀田正昭を瑞西に駐劄せしむ
○全滿洲の巡查五千名總辭職に決す
○評論家細井肇歿す年四十九
女王閔妃、漢城の風雲と名士、朝鮮文化史論、政争と黨弊、閔族罪惡史、支那を觀て、内鮮人の本務、鮮滿の經營、朝鮮文藝作集、朝鮮問題の歸趨、黎明の朝鮮、大院父王

十月二十日 赤十字國際會議を芝公園赤十字社本部大講堂に開く
○吉田茂を内閣書記官長と爲す

日英豫備會議を開く

十月廿二日 ロンドンにて第一次日英豫備會議を開く
十月廿四日 陸軍軍醫總監合田平逝去年五十九
十月廿五日 兒玉秀雄を拓務大臣と爲す
十月廿六日 小栗一雄を警視總監に、櫻井兵五郎を拓務政務次官と爲す

十月廿七日 滿洲國實業部大臣張燕卿入京す
○教育家今井恒郎歿す年七十
應用論理學、哲學楷梯

十月廿八日 政論家鶴崎鷺城歿す年六十二
大養、殺傳

十一月 二日 米國野球團ベーブ・ルース一行來朝す

江見水蔭歿す

十一月 三日 吳航空隊成る
○第一回全日本學生航空選手權大會を羽田飛行場に開く
○小説家江見水蔭歿す年六十六
軍裝せる觀兵式、海賊大王、雲がくれ、鹿島灘、寒潮暖潮、海龍窟、水の聲、船大船頭大將、初霞、浮繪笠、ボスト物語、盆燈籠、女馬賊、劍客、わかれ霜、斷絃、畫師の妻、一夜の宿、權太栗毛、汽車の大賊、雪松、漁村の柳、猿曳、海底の鐘、伽羅繪姿、兜の星影、戀、避暑の友、幼年劍舞、藤戸渡、琴、十人斬

乾新兵衛歿す

十一月 四日 旭將軍、夏服士官、初音姫、蝶の舞、電光石火、木賊山の古館、朝顔、水雷艇、遺言の公認、水車、大海戰、霧姫、探検女王、飛ぶ人、宮中の人、水蔭叢書
實業家乾新兵衛歿す年七十三

十一月 五日 獨逸語學者尺秀三郎歿す年七十三
新實用教育、學教育原理
○政論家樺田民藏歿す年五十

十一月 六日 天皇、海軍大學校に行幸あり
○子爵青山忠敏歿す年廿五

十一月 七日 東北地方の冷害凶作救恤のため内帑金五十萬圓を下賜さる

十一月 八日 俳優尾上梅幸歿す年六十五
吹雪の夜

十一月 九日 五・一五事件從犯の大川周明に禁錮七年、頭山秀三に禁錮四年、本間憲一郎に禁錮五年の控訴判決あり
○哲學博士石坂正信歿す年七十五

十一月 十日 天皇、前橋市に行幸あり
○理工玩具の先驅者藤五代策歿す年五十九

十一月 十三日 石油專賣法を公布す

十一月 十四日 天皇、高崎市外乗附練兵場に於て大觀兵式を行ひ給ふ

十一月 十五日 天皇、赤城山に登り給ふ
○海軍大將末次信正を横須賀鎮守府司令長官に、永野修身を軍事參議官に、中將高橋三吉を聯合艦隊司令長官兼第一艦隊司令長官に、米内光政を第二艦隊司令長官に、今村信次郎を佐世保鎮守府司令長官に百

武源吾を第三艦隊司令長官とす
○海軍少將津田靜枝、後藤章、小林省三郎、井上繼松、吉田善吾、山本五十六、前原謙治、和田信房、大野寬、島田繁太郎上

田宗重、鈴木義一、野邊田重興、新山良幸、有馬寬、坂野常善、在塚喜友を中將とす
○上野驛構内にて省線電車衝突し重輕傷三十二名を出す

石油專賣法を公布す

石油專賣法公布

十一月 十五日 石油專賣法を公布す

五私鐵疑獄事件判決

十一月十六日 天皇、桐生市、足利市に行幸あり
十一月十七日 東京控訴院にて五私鐵疑獄事件の小川平吉、春日俊文に懲役二年、賣動事件の天岡直嘉に二年、合同毛織事件の藤田謙一に三ヶ月の判決あり
十一月十八日 天皇、還幸あり

十一月十九日 社會運動家田所輝明歿す年三十五

十一月二十日 天皇、横須賀に行幸あり、巡洋艦鈴谷の進水式を覽給ふ

十一月廿一日 國語審議會を設置す○文學博士和田萬吉歿す年七十 江戶文學、馬琴日記、謡曲物語、國語大辭典、謡曲撰釋、圖書館管理法大綱

十一月廿二日 東京地方裁判所に於て血盟團事件の井上日召、菱沼五郎、小沼正を無期懲役に古内榮司、四元義隆を十五年、池袋正飢郎を八年、久木田祐弘、須田太郎、田中邦雄、田倉利之を六年、星子毅、森憲二を四年、伊藤廣を三年の判決あり

十一月廿三日 宮中顧問官高橋其三逝去去年五十七

十一月廿四日 明年度の總豫算額廿一億九千萬圓と決定す○政友、民政兩黨の提携成る

十一月廿五日 長崎縣松島炭礦に於て浸水のため五十四名溺死す

十一月廿六日 政友、民政兩黨は黨派的幣風を排し、國難打開に協力する旨の共同聲明をなす

○大藏大臣藤井眞信、辭表を提出す

十一月廿七日 第六十六回帝國議會召集す○高橋是清を大藏大臣となす○政友會は高橋是清と別離を聲明す○河田烈、松本學を貴族院議員となす○文學博士沼田頼輔歿す年六十八 日本紋章學 大岡越前守

高橋是清蔵相就任

十一月廿七日 第六十六回帝國議會召集す○高橋是清を大藏大臣となす○政友會は高橋是清と別離を聲明す○河田烈、松本學を貴族院議員となす○文學博士沼田頼輔歿す年六十八 日本紋章學 大岡越前守

政民兩黨提携成る

十一月廿六日 政友、民政兩黨は黨派的幣風を排し、國難打開に協力する旨の共同聲明をなす

○大藏大臣藤井眞信、辭表を提出す

十一月廿七日 第六十六回帝國議會召集す○高橋是清を大藏大臣となす○政友會は高橋是清と別離を聲明す○河田烈、松本學を貴族院議員となす○文學博士沼田頼輔歿す年六十八 日本紋章學 大岡越前守

沼田頼輔歿す

十一月廿八日 天皇、親臨して帝國議會の開院式を行ひ給ふ○陸軍中將西義一、植田謙吉を大將となす

十一月廿九日 天皇、陸軍大學校に行幸あり○所澤、狹山飛行場を開設す

十一月三十日 炭礦王安川敬一郎逝去去年八十六○經濟學博士高城仙次郎歿す年五十四 利子歩合論、物價問題、獨逸戰後の財政と金融

十二月 二日 獨逸文學者林久男歿す年五十三 妙な芝居、影、毒風、亡靈、活ける屍、狼火、驚、傀儡師、ギルヘルム・マイスタア、生まるるべき哀歌、アルペンの大自然

十二月 三日 橋本關雲、安田靱彦、菊池契月、藤島武二、岡田三郎助、和田英作、山崎朝雲

板谷波山、香取秀眞、清水南山を帝室技藝員となす

十二月 四日 帝國議會會期三日間延長の詔書下る

十二月 五日 (衆)豫算總會に於て政友會代議士東武は審議を中止する旨の爆彈的發言をなし政局に俄然波瀾起る

十二月 六日 皇道日月團盟主穴井元喜を檢舉す

十二月 七日 更に衆議員の會期二日間延期を命ぜらる○中島鐵平を專賣局長官とす

十二月 八日 日米國際無線電話成る○實業家神田鐳藏歿す年六十三

十二月 十日 陸軍大將南次郎を關東軍司令官兼特命全權大使關東長官とす○陸軍少將深澤友彦を中將とす

十二月 十一日 特命全權公使德川家正を大使となす○特命全權大使武者小路公共を獨逸に、同

德川家正をトルコに駐劄せしむ○廣田傳藏等四十二名に係る帝都教育疑獄の第

線電話成る

日米國際無線電話成る

秋田清脫黨

十二月十二日 衆議院議長秋田清、政友會脫黨す

十二月十三日 衆議院議長秋田清罷む

十二月十四日 東北振興調査會官制を定む

防備戰隊令公布

十二月十五日 防備戰隊令を公布す○政友會九州大會を宮崎市に開く○男爵村上隆吉歿す年五十八

十二月十六日 代議士藤井達也歿す年四十七

十二月十九日 樞密院本會議を開き、華府條約廢棄可決す○關東軍司令官南次郎、東京を出發赴任す○代議士清水市太郎歿す年七十

十二月二十日 元駐米大使埴原正直逝去年五十九

國語審議會官制公布

十二月廿二日 國語審議會官制を公布す○茨城新政俱樂部の發會式を行ふ

十二月廿四日 第六十七回帝國議會召集す○(衆)濱田國松、議長に當選す○長與又郎を東京帝國大學總長となす

對滿事務局官制公布

十二月廿六日 天皇、開院式に行幸あり○對滿事務局官制を公布す○陸相林銑十郎を對滿事務局總裁に、長岡隆一郎を關東局總長とす

十二月廿七日 元商相中島久萬吉、前鐵相三土忠造に係る帝國人絹疑獄事件の豫審終結す

十二月廿八日 日土貿易協定を公布す○國際法學者安達峰一郎歿す年六十六

十二月廿九日 ワシントン海軍條約廢棄を米國政府に通告す

(第六回配本)

昭和十年六月十九日 印刷
昭和十年六月廿三日 發行

國史大年表第六卷



10. 6. 19

著者 日置 昌一
發行者 下中 彌三郎
印刷者 關口 一男
東京市日本橋區吳服橋三ノ五
東京市日本橋區吳服橋三ノ五

發行所

東京市日本橋區吳服橋三ノ五
振替東京二九六三九番

株式會社

平凡社

電話日本橋 二二二 五五五 九八七 番番番

本製波湧・刷印社會式株刷印同共

六
作
列
行
第
六
十
行
三
十

卅3057

永正弘建文弘文正正康建寶寬仁延曆嘉文天
任應安治永長應元嘉元長治元治應仁禎曆福

建正興延建元元嘉正元元文正應延德嘉乾正
德平國元武弘德曆中享應保和長慶治元元安

嘉至永康永應貞康延文觀貞康曆建正
慶德德曆和安治安文和應和永應武慶

（北朝）
元弘天文
中和授中

寶永
第一卷
永弘天享大永文明
祿治文祿永正龜應

正德
慶正寬元慶文天元
安保永和長祿正龜

享保
元貞天延寬萬明承
祿享和寶文治曆應

第一卷
永正應明
享長永德明德應

長康享寶文嘉
祿正德德安吉

延長文應文寬
德享明仁正正

第七卷
索引·系譜·諸表
自昭正九年

第六卷
自明治二十四年
至明治四十四年

第五卷
自明治二十三年
至明治三十四年

第四卷
自明治二十五年
至明治三十八年

安明寶寬延寬元
永和曆延享保文

弘天文文享寬天
化保政化和政明

慶元文萬安嘉
應治久延政永

履仁應仲成景垂崇開孝孝孝孝懿安綏神
中德神哀務行仁神化元靈安昭德寧靖武

舒推崇用敏欽宣安繼武仁顯清雄安允反
明古峻明達明化閑體烈賢宗寧略康恭正

感天天神養靈和慶大朱白弘天齊
寶平平龜老龜銅雲寶鳥鳳文智明

第一卷
自紀元
至紀元二五
一元

貞天齊仁嘉承天弘大延天寶景神神天寶天勝天
觀安衡壽祥和長仁同曆應龜雲護護平字平寶平

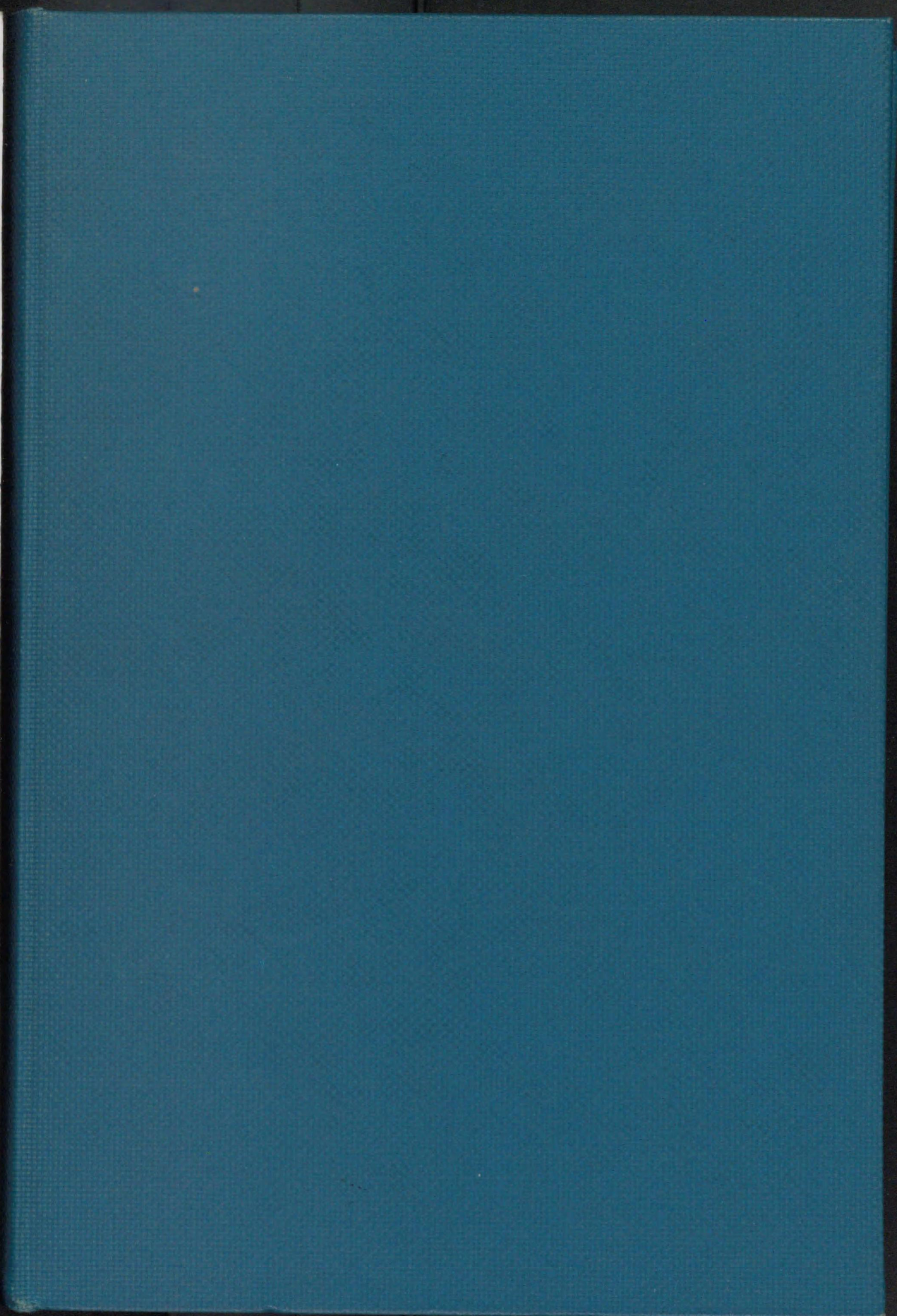
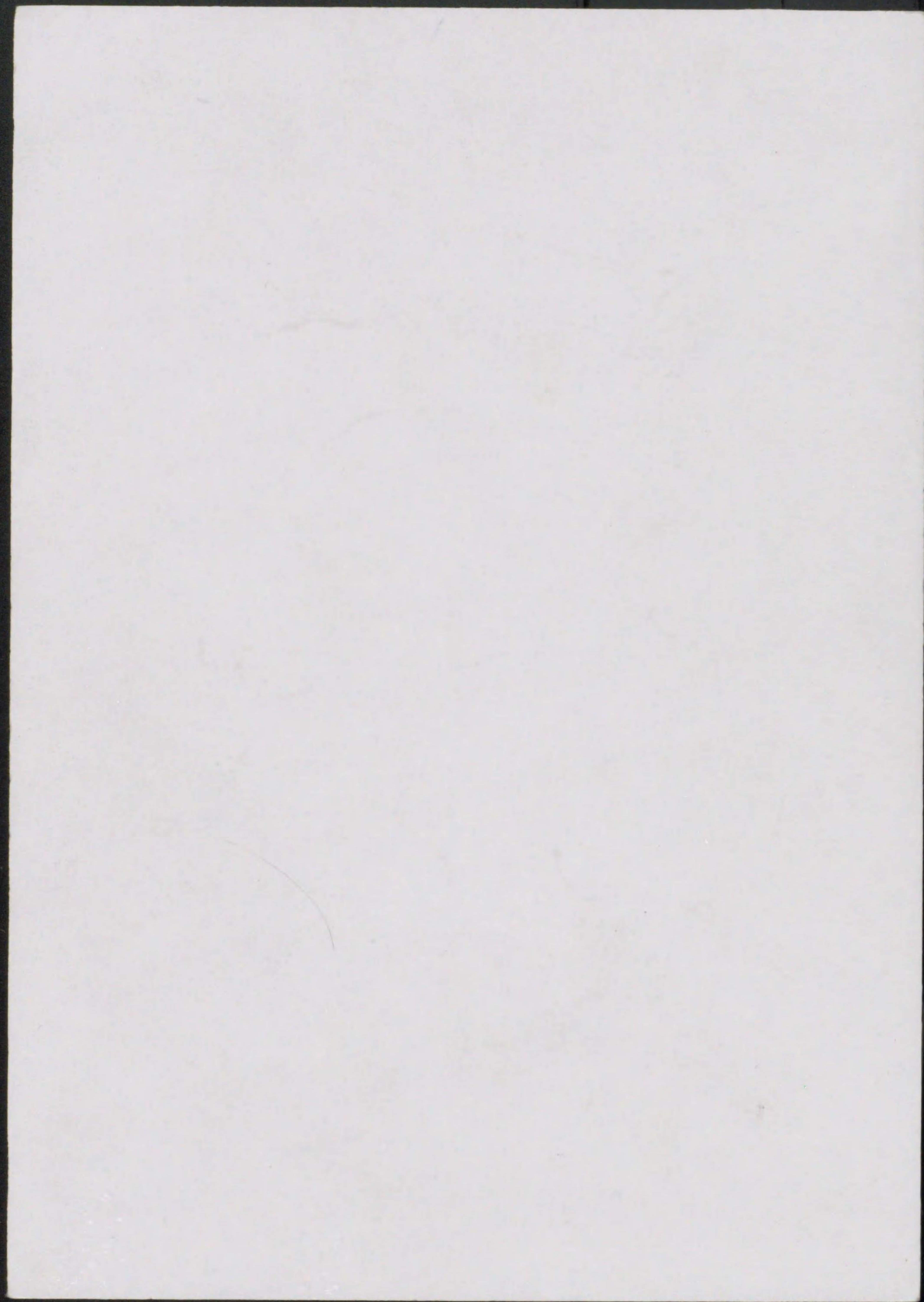
寬永天貞天天安康應天天天承延延昌寬仁元
和觀元元延祿和保和德曆慶平長喜泰平和慶

延治康天永寬長長長萬治寬長寬長長正永永
久曆平喜承德久曆元壽安仁和弘保德曆祚延

天大天保元永天天嘉長康承永嘉寬應永承承
承治治安永久永仁承治和德長保治德保曆保

治安承嘉仁永長應永平保久仁久天康永保長
承元安應安萬寬保曆治元壽平安養治治延承

貞寬安嘉元貞承建建承建元建正建文元壽養
永喜貞祿仁應久保曆元永久仁治久治曆永和

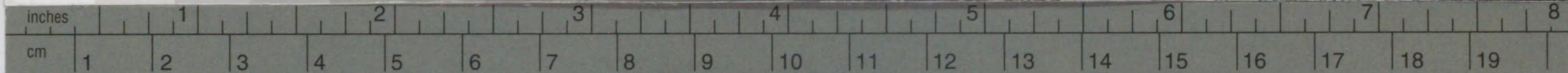


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

